「東名ジャンクション（仮称）」
殿山横穴墓群に関する活用検討会
検討会の記録

平成 29 年 1 月 24 日

目　次

第１章　検討会のとりまとめ
1　とりまとめまでの経緯 ･･･2

2　活用の方向性 ･･･4

3　活用の具体化にあたって ･･7

第２章　検討会の配付資料と議事概要
1　第１回（平成 28 年 7 月 14 日） ･･････････････････････････････････12

2　議事概要（第１回） ･･62

3　第２回（平成 28 年 11 月 17 日） ･･････････････････････････････････68

4　議事概要（第２回） ･･114

5　第３回（平成 29 年 1 月 24 日） ･･････････････････････････････････121

6　議事概要（第３回） ･･138

第３章　関連資料
1　見学会での配付資料（平成 27 年 9 月 26 日） ･･････････････････････144

2　記者発表資料（平成 27 年 11 月 17 日） ･･････････････････････････147

3　ホームページでの情報提供 ･･････････････････････････････････････151

4　検討会の開催周知 ･･175

5　区のお知らせ「せたがや」（抜粋）（平成 28 年 10 月 25 日号） ･････179

6　区のお知らせ「せたがや」（抜粋）（平成 28 年 12 月 25 日号） ･････181

7　活用アイディア募集の周知 ･･････････････････････････････････････183

8　検討会等の様子（写真） ･･187

第１章

検討会のとりまとめ

1　とりまとめまでの経緯

東京外かく環状道路は、関越道から東名高速までの約 16㎞ について、国土交通省、東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社が、住民の理解と協力を得ながら、事業を推進している。

こうした中、東名ジャンクション（仮称）予定地では、平成 27 年 6 月に 2 基の横穴墓、同年 7 月に 15 基の横穴墓が相次いで出土し、世田谷区教育委員会と東京都教育委員会の指導に基づき、それぞれ発掘調査された。

同年 10 月 20 日に東京都教育委員会は、外環事業者に対し、発掘調査終了、調査地の引き渡し及び工事に着手して差し支えない旨を通知し、外環事業者は、工事を再開している。

一方、地域住民などから発見された殿山横穴墓の保存などを求める要望や殿山横穴墓群として、地域の街づくりのシンボルにすることを求める陳情が世田谷区や世田谷区議会に出された。また、世田谷区は、殿山横穴墓群を地域の教育的・文化的資源として活用したいと外環事業者に要望した。

こうした経緯を踏まえ、有識者、区民、世田谷区、外環事業者を委員とした「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会を設置し、外環事業者が取得した横穴墓の三次元データなどを含む殿山横穴墓群に関する活用の方向性を検討することとなった。

本検討会においては、まず、外環道事業のこれまでの地域との話し合いによる線形変更の経緯や追加買収による地元の方々への新たな負担を鑑みると、再度線形変更することは現実的でないことから、横穴墓群の現地保存が難しいことを確認した。

また、横穴墓群の移設や実物大レプリカの製作は、水分がなくなると脆くなるという土の性質、更に横穴墓は崖面に掘り込んで作られる点に特徴があることから、現物の土を用いた実物大レプリカではなく、3Dデータ、写真、映像などの活用を検討することが望ましいことを確認した。

その後、区民から活用アイディアを募集するとともに、具体的な活用事例なども踏まえながら議論を重ね、3 回の検討会の中で、6 つの活用の方向性をとりまとめた。

《東名ジャンクション（仮称）》

《殿山横穴墓群の出土位置》

2　活用の方向性

外環事業の進展に伴い発見された殿山横穴墓そのものは失われてしまったが、横穴墓群が存在したという事実や出土品は、この地域の貴重な財産であることから、この歴史や財産を守り、文化財としての価値を高めていくことが必要である。また、地域の歴史や文化を示す教育的な財産としてのみならず、地域の活性化などに繋がる地域の人にとっての財産として、しっかりと後世に伝えていくことが何より重要である。

そのためには、発掘調査記録の公表に加え事業者が取得した３Ｄデータなどとともに、出土品を適切に保存・管理することが必要である。

その上で、殿山横穴墓群の発見を契機として、地域住民の郷土愛の涵養や地域コミュニティの活性化に寄与するような活用を図ることが望まれる。

検討会では、区民から募集した活用アイディアも採り入れながら、次の６つの活用の方向性をとりまとめた。今後、世田谷区と外環事業者においては、発掘調査記録や出土品などを後世に伝えられるよう、適切に保存・管理・公開するとともに、とりまとめた６つの方向性をもとに、積極的な活用を図られたい。

《活用の方向性 1》
遺跡の伝承

《活用の方向性 2》
出土品の展示

《活用の方向性 3》
3ＤデータとＩＣＴの有効利用
注）ICT：情報通信技術

《活用の方向性 4》
教育資料の提供

《活用の方向性 5》
外環(周辺)施設などとの連携

《活用の方向性 6》
地域の魅力の発信

(1) 遺跡の伝承

殿山横穴墓群が存在したという事実や出土品は、地域の歴史や文化を後世に伝える貴重な財産である。

平成 27 年 9 月 25 日に実施された殿山横穴墓群の一般見学会に、専門家だけでなく子どもから大人までの 607 名が参加したことは、区民などの関心が非常に高いことを物語っている。

こうしたことから、地域住民が殿山横穴墓群を身近に感じることができるように、遺跡の銘盤や案内板を発掘場所が見える近傍に設置するなど、訪れた者が安全かつ自由にアクセスできる場所に、殿山横穴墓群がこの地域に存在したことを明示することが重要である。

(2) 出土品の展示

出土品の実物は、適切に温度や湿度管理ができ、セキュリティが確保された博物館施設などで展示されるのが一般的である。

そのため、出土品を地域で展示するためには、そのレプリカや写真などを用いて、わかりやすく詳しい解説を加えるなどの工夫を施した上で、展示することが重要である。

なお、展示する場所については、新規の施設に限定せず、既存施設の利用なども含め、様々な工夫が必要である。

(3) 3DデータとＩＣＴの有効利用

外環事業者が取得した 3Dデータを用いて横穴墓をビジュアル化し、まるでその中にいるような体感ができるという利用の仕方が魅力的である。

また、ＩＣＴを用いて、区が取り組むデジタルミュージアムとの連携や区や外環事業者のホームページでの情報提供などができることが望ましい。

こうしたことから、3DデータとＩＣＴを積極的に用いて、誰もが時と場所を選ばずに、殿山横穴墓群や出土品などの情報を得られるようにすることが重要である。

(4) 教育資料の提供

殿山横穴墓群を通じ、地域の歴史や文化を、次世代を担う子ども達に伝えていくことは、我々の責務である。

そのためには、殿山横穴墓群に加え、周辺の地形、地層や地質、当時の文化などの教育的な内容について、リーフレットやＤＶＤを用いて分かりやすく解説することや、小・中学校で展示することなどにより、様々な学習機会を提供することが大切であり、それにより教育の幅も拡がり、子どもたちの教育的興味を湧かせることができる。

こうしたことを通して、地域の子どもたちが歴史教育や校外学習などの学校教育の中で郷土の地誌を学び、郷土への愛着を育むことが重要である。

(5) 外環（周辺）施設などとの連携

外環事業によって生み出される発掘現場付近の空間を工夫することで、殿山横穴墓群をより身近に感じることができる。

そのためには、外環施設と周辺の空間づくりについては、殿山横穴墓群をモチーフにしたデザインを反映させるなど様々な工夫を施すことが望ましい。

こうしたことを通して、殿山横穴墓群や外環施設などを新たな地域資源に位置付け、周辺にある既存の公共施設や将来の上部空間利用などとも連携させていくことが重要である。

(6) 地域の魅力の発信

外環事業が進められている中、当該地において、約 1,300 年前の歴史が殿山横穴墓群として発見されたという事実は、非常にメッセージ性や発信力が高いものである。

また、外環事業は周辺住民の理解と協力を得ながら進められており、地域の魅力を高める契機となるものである。

こうしたことから、周辺住民に配慮しながらも、歴史と最新技術が交差する場所として外環事業と横穴墓群を合わせて広く区内外にＰＲすること、外環施設などの名称に殿山横穴墓群を用いることや地域のイベントで利用することなど、ソフト面での活用が重要である。

3　活用の具体化にあたって

検討会では、殿山横穴墓群の発見を契機として、地域住民の郷土愛の涵養や地域コミュニティの活性化に寄与するよう６つの活用の方向性をとりまとめた。

世田谷区と外環事業者においては、本とりまとめの趣旨に鑑み、横断的な連携と必要な財源の確保に努められたい。その上で、６つの方向性を踏まえた活用を実現することにより、殿山横穴墓群が存在したという事実や出土品を地域の歴史的・文化的に貴重な財産として、後世に伝えていくよう努められたい。

《殿山横穴墓群の発掘の様子》

《1 号墓玄室の様子》

《出土品（須恵器）の様子》

《参考資料》

(1) 委員名簿

有識者	中野　恒明◎	芝浦工業大学システム理工学部環境システム学科教授
	阿部　伸太○	東京農業大学地域環境科学部造園科学科准教授
	小泉　玲子	昭和女子大学人間文化学部歴史文化学科教授
	砂金　伸治	国立研究開発法人土木研究所つくば中央研究所道路技術研究グループ上席研究員
区民	中川　清史	法人格成城自治会長
	荒川　和茂	喜多見上部自治会長
	八木　孝夫	石井戸会長
世田谷区	桐山　孝義	世田谷区砧総合支所副支所長
	青山　雅夫	世田谷区道路・交通政策部長
	工藤　郁淳	世田谷区教育委員会事務局教育政策部長
外環事業者	佐藤　眞平	国土交通省東京外かく環状国道事務所副所長
	安原　正幸	東日本高速道路株式会社東京外環工事事務所副所長
	野坂　光弘 (岩本　英將)	中日本高速道路株式会社東京工事事務所副所長

◎は座長、○は副座長を表す
かっこ内は前任者を表す

(2) 検討の経過

実施内容	開催日	概要
第 1 回検討会	平成 28 年　7 月 14 日	・検討の方向性について
アイディア募集	平成 28 年　9 月 16 日～ 平成 28 年 10 月　7 日	・活用アイディアの募集 （応募者数：11 名）
第 2 回検討会	平成 28 年 11 月 17 日	・活用について ・とりまとめについて
第 3 回検討会	平成 29 年　1 月 24 日	・とりまとめについて

(3) 委員から発言された活用アイディア例

【遺跡の伝承】
・現地付近に横穴墓群や出土品に関する解説板や銘盤の設置
・周辺の公園内や教育施設内などでの展示

【出土品の展示】
・勾玉や刀などの出土品、写真、映像などの展示
・学術的な比較や解釈などの解説をつけたわかりやすい展示
・民間活力を活用した展示施設の整備

【3DデータとＩＣＴ（情報通信技術）の有効利用】
・3Dデータを活用した映像の作成
・ＩＣＴやデジタルミュージアムでの展示
・殿山横穴墓群や出土品などを解説したコンテンツの作成
・写真などの区や事業者のホームページへの掲載

【教育資料の提供】
・地域の自然、地形、歴史や文化などの学習機会の提供
・殿山横穴墓群や出土品の写真パネルの校外学習コーナーでの展示
・出土品や写真パネルなどの小学校での展示
・学習のためのリーフレット・ＤＶＤなどの作成

【外環（周辺）施設などとの連携】
・周辺にある公共施設との連携
・殿山横穴墓群をモチーフとした話題性や集客性のある関連施設の整備や空間作り
・施設の壁面への表示など横穴墓群の大きさを伝える展示
・立入防止柵などの現地近傍への殿山横穴墓群の写真パネルなどの表示

【地域の魅力の発信】
・外環事業の土木技術のＰＲでの活用
・外環事業の副次的な成果としてリーフレットなどでの紹介
・ジャンクションなど外環施設の名称での使用

第 2 章

検討会の配付資料と議事概要

1　第 1 回(平成 28 年 7 月 14 日)

第１回　「東名ジャンクション（仮称）」
殿山横穴墓群に関する活用検討会

次　第

平成 28 年 7 月 14 日（木）午後 6 時から
喜多見 7 丁目常設会場

１　開会

２　委員及び事務局職員紹介

３　検討会の運営について

４　殿山横穴墓群に関する状況について
（１）現状と位置関係について
①東名ジャンクション（仮称）との位置関係
②これまでの経緯と発見時の状況
③現場の土の性状

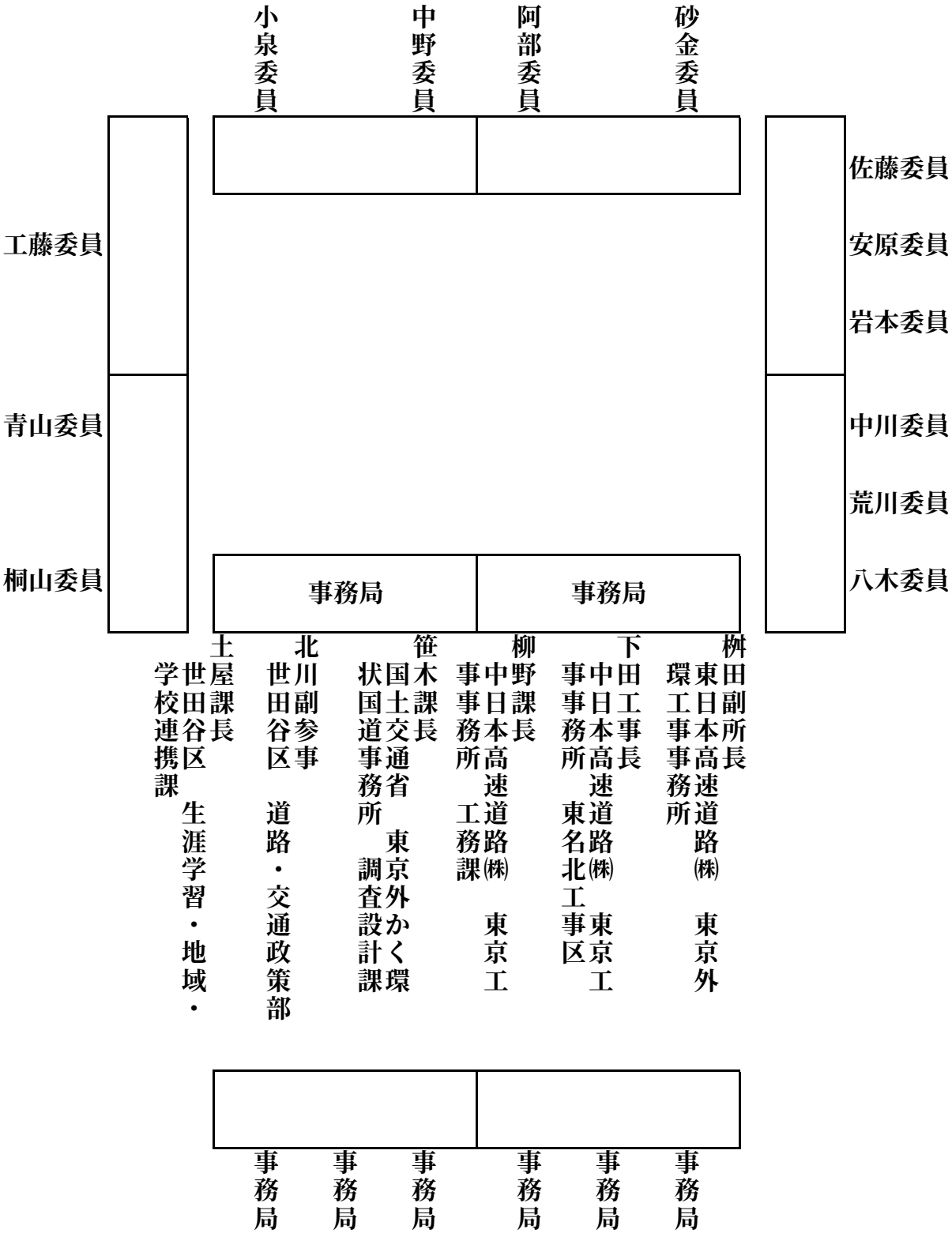
（２）発掘調査の概要について
①調査の概要と成果
②区内の横穴墓群における殿山横穴墓群の位置付け
③取得した 3Dデータ

５　議事
（１）検討の方向性について

（２）その他

６　閉会

第1回　「東名ジャンクション（仮称）」
殿山横穴墓群に関する活用検討会
席次表



第１回「東名ジャンクション（仮称）」

殿山横穴墓群に関する活用検討会

資料一覧

＜資料１＞　「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会委員名簿
＜資料２＞　「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会設立趣意書
＜資料３－１＞　「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会規約（案）
＜資料３－２＞　「「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会」を傍聴される方へ
＜資料４＞　検討会のスケジュール（予定）
＜資料５＞　殿山横穴墓群に関する状況について【スライド】

※当ファイルや本日の資料はお持ち帰りにならなくても構いません。
※次回開催時には、当ファイルに次回の資料を追加し、机上に配布させていただきます。
※当ファイル等をお持ち帰りになる場合は、次回、ご持参くださいますようお願いします。

資料 1

「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会

委員名簿

（敬称略）

有 識 者	なかの つねあき 中野　恒明	芝浦工業大学システム理工学部環境システム学科教授
	あべ しんた 阿部　伸太	東京農業大学地域環境科学部造園科学科准教授
	こいずみ れいこ 小泉　玲子	昭和女子大学人間文化学部歴史文化学科教授
	いさご のぶはる 砂金　伸治	国立研究開発法人土木研究所つくば中央研究所道路技術研究グループ上席研究員
区　　民	なかがわ せいし 中川　清史	法人格成城自治会長
	あらかわ かずしげ 荒川　和茂	喜多見上部自治会長
	やぎ たかお 八木　孝夫	石井戸会長
世田谷区	きりやま たかよし 桐山　孝義	世田谷区砧総合支所副支所長
	あおやま まさお 青山　雅夫	世田谷区道路・交通政策部長
	くどう ふみあつ 工藤　郁淳	世田谷区教育政策部長
事 業 者	さとう しんぺい 佐藤　眞平	国土交通省東京外かく環状国道事務所副所長
	やすはら まさゆき 安原　正幸	東日本高速道路株式会社東京外環工事事務所副所長
	いわもと ひでまさ 岩本　英將	中日本高速道路株式会社東京工事事務所副所長

資料２

「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会

設立趣意書

世　　田　　谷　　区
国土交通省　関東地方整備局　東京外かく環状国道事務所
東日本高速道路株式会社　関東支社　東京外環工事事務所
中日本高速道路株式会社　東京支社　東京工事事務所

東京外かく環状道路は、関越道から東名高速までの約 16㎞について、国土交通省、東日本高速道路(株)、中日本高速道路(株)が、住民の皆様のご理解とご協力をいただきながら、事業を推進している。

平成 27 年 6 月に東名ジャンクション（仮称）予定地で出土した殿山横穴墓群については、同年 10 月 20 日に東京都教育委員会より、発掘調査終了、調査地の引き渡し及び工事を着手して差し支えない旨の通知を受け、工事が進められている。

一方、世田谷区は、殿山横穴墓群を地域の教育的・文化的資源として活用したいと要望している。

こうした経緯を踏まえ、東京外かく環状道路（関越～東名）事業で、事業者が協力し取得した 15 基の三次元データ等を含む殿山横穴墓群に関する活用の方向性について検討することを目的として、有識者、区民、世田谷区、外環事業者を委員とした、本検討会を設置する。

資料３－１

「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会

規約（案）

（名称）

第１条　本検討会は、「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会（以下「検討会」という。）と称する。

（目的）

第２条　検討会は、東名ジャンクション（仮称）予定地で発見された殿山横穴墓群に関する教育的・文化的資源としての活用の方向性について、検討することを目的とする。

（検討会内容）

第３条　検討会は、次に掲げる事項を検討するものとする。

（１）出土した殿山横穴墓群の教育的・文化的資源としての地域への活用の方向性。

（２）その他必要な事項。

（構成）

第４条　検討会の委員及び事務局は、別表に掲げる者とする。

（座長）

第５条　検討会に座長１名、副座長１名を置く。

２　座長は、検討会を代表し、検討会の円滑な進行及び議事を総括する。

３　副座長は、座長を補佐し、座長に事故があるとき、又は座長が欠けたときは、その職務を代理する。

（開催）

第６条　検討会の開催は 3 回程度とし、第 3 条に掲げた事項について、検討結果をとりまとめるものとする。

２　検討会は、必要があると認めるときは、委員以外の者の出席を求め、その意見、説明等を聴くことができる。

３　検討会の開催に当たっては、会議名、日時、場所その他必要な事項を世田谷区道路・交通政策部道路計画課のホームページにて公表する。

（議事の公開）

第７条　検討会は原則として公開とする。ただし、検討会が必要と認めたときは、非公開と

することができる。

２　検討会の議事概要等は検討会後、世田谷区道路・交通政策部道路計画課のホームページにて公表する。

（傍聴）

第８条　検討会を傍聴しようとする者（以下、「傍聴人」）は、検討会開催日の 3 日前までに、住所、氏名その他必要な事項を、検討会ごとに世田谷区道路・交通政策部道路計画課に申込むものとする。

２　傍聴人の人数は、15 人以内とする。ただし、検討会の開催場所に応じて、15 人を超え、または、15 人を割る定員とすることができる。

３　傍聴人は、先着順により決定し、傍聴人に通知する。

（傍聴できない者）

第９条　次の各号のいずれかに該当する者は、検討会を傍聴することができない。

（１）　銃器、棒、その他人に危害を加え、又は迷惑を及ぼすおそれのある物を携帯している者

（２）　拡声器又は無線機の類を携帯している者

（３）　ビラ、プラカード、旗、のぼり等を携帯している者

（４）　はちまき、たすき、ゼッケン又はヘルメットの類を着用及び携帯している者

（５）　酒気を帯びていると思われる者

（６）　異様な服装をした者

（７）　その他、会議を妨害するおそれがあると認められる者

（傍聴人の遵守すべき事項）

第１０条　傍聴人は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

（１）　会議開催中は、傍聴席において静粛に傍聴することとし、拍手その他の方法による可否の表明または発言しないこと。

（２）　会場において、騒ぎ立てる等により進行を妨害しないこと。

（３）　会場において、食事または喫煙をしないこと。

（４）　会議開催中は、写真撮影、録音及び録画をしないこと。

（５）　その他会場の秩序を乱し、又は検討会の支障となる行為をしないこと。

（傍聴人の退場及び入場制限）

第１１条　座長は、傍聴人が前条各号に掲げる事項を遵守せず、検討会の進行上支障があると認めるときは、退場を命ずることができる。

２　座長は、第７条第１項の規定により会議を非公開としたときは、傍聴人を退場させるものとする。

３　傍聴人は、前項又は前々項の規定により、座長から退場を命じられたときは、静粛かつ

速やかに退場しなければならない。

（個人情報等の保護）

第１２条　検討会の出席者及び傍聴人は、検討会で知りえた個人情報及び公表することにより運営に支障があると検討会が認めた情報その他を漏らし、又は無断で使用してはならない。検討会が終了した後も同様とする。

（報道関係者の取扱）

第１３条　報道関係者には、第 8 条の規定にかかわらず、公開の会議を傍聴させなければならない。

２　第 9 条から前条までの規定は、報道関係者に公開の会議を傍聴させる場合に準用する。この場合において、「傍聴人」とあるのは、「報道関係者」、「傍聴席」とあるのは、「報道関係者席」と読み替えるものとする。

（その他）

第１４条　この規約に定めるもののほか、必要な事項は、検討会で協議し、定めるものとする。

資料３－１

別表
委員

有 識 者	中野　恒明	芝浦工業大学システム理工学部環境システム学科教授
	阿部　伸太	東京農業大学地域環境科学部造園科学科准教授
	小泉　玲子	昭和女子大学人間文化学部歴史文化学科教授
	砂金　伸治	国立研究開発法人土木研究所つくば中央研究所道路技術研究グループ上席研究員
区　　民	中川　清史	法人格成城自治会長
	荒川　和茂	喜多見上部自治会長
	八木　孝夫	石井戸会長
世田谷区	桐山　孝義	世田谷区砧総合支所副支所長
	青山　雅夫	世田谷区道路・交通政策部長
	工藤　郁淳	世田谷区教育政策部長
外　環 事業者	佐藤　眞平	国土交通省東京外かく環状国道事務所副所長
	安原　正幸	東日本高速道路株式会社東京外環工事事務所副所長
	岩本　英將	中日本高速道路株式会社東京工事事務所副所長

事務局

世田谷区	道路・交通政策部道路計画課
	教育政策部生涯学習・地域・学校連携課
外　環 事業者	国土交通省東京外かく環状国道事務所
	東日本高速道路株式会社東京外環工事事務所
	中日本高速道路株式会社東京工事事務所

資料３－２

「「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会」を傍聴される方へ

「「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会」（以下、「検討会」という。）を傍聴される方は、検討会規約（案）に定める下記の留意事項及び遵守事項をご理解いただきますようお願いします。

1．以下のいずれかに該当する方は、会場への入場をお断りする場合がありますので、ご留意ください。
- 銃器、棒、その他人に危害を加え、又は迷惑を及ぼすおそれのある物を携帯している者
- 拡声器又は無線機の類を携帯している者
- ビラ、プラカード、旗、のぼり等を携帯している者
- はちまき、たすき、ゼッケン又はヘルメットの類を着用及び携帯している者
- 酒気を帯びていると思われる者
- 異様な服装をした者
- その他、会議を妨害するおそれがあると認められる者

2．傍聴される方は、以下に掲げる事項を遵守いただきますよう、お願いします。なお、会議中、遵守いただけない場合は、会議の円滑な運営上、会場から退出していただくことがあります。
- 会議開催中は、傍聴席において静粛に傍聴することとし、拍手その他の方法による可否の表明または発言しないこと。
- 会場において、騒ぎ立てる等により進行を妨害しないこと。
- 会場において、食事または喫煙をしないこと。
- 会議開催中は、写真撮影、録音及び録画をしないこと。
- その他会場の秩序を乱し、又は検討会の支障となる行為をしないこと。

資料４

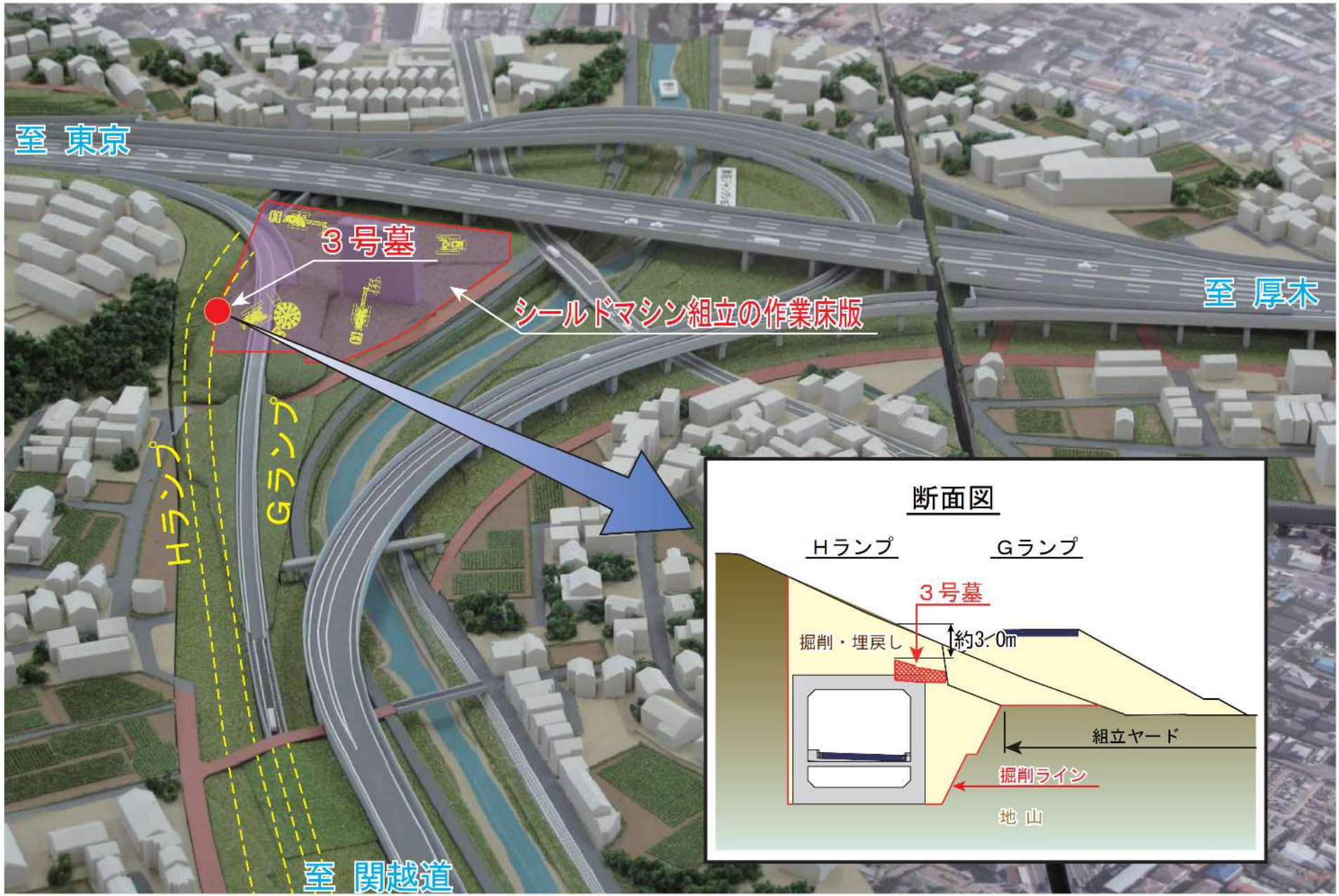
検討会のスケジュール（予定）

平成 28 年	7 月　14 日（木） 18：00～20：00	第 1 回検討会
	11 月　中旬	第 2 回検討会
平成 29 年	1 月　下旬	第 3 回検討会 （検討内容のとりまとめ）

資料５

４　殿山横穴墓群に関する状況について
（1）現状と位置関係について

1．東名ジャンクションのＨランプと3号墓との位置関係

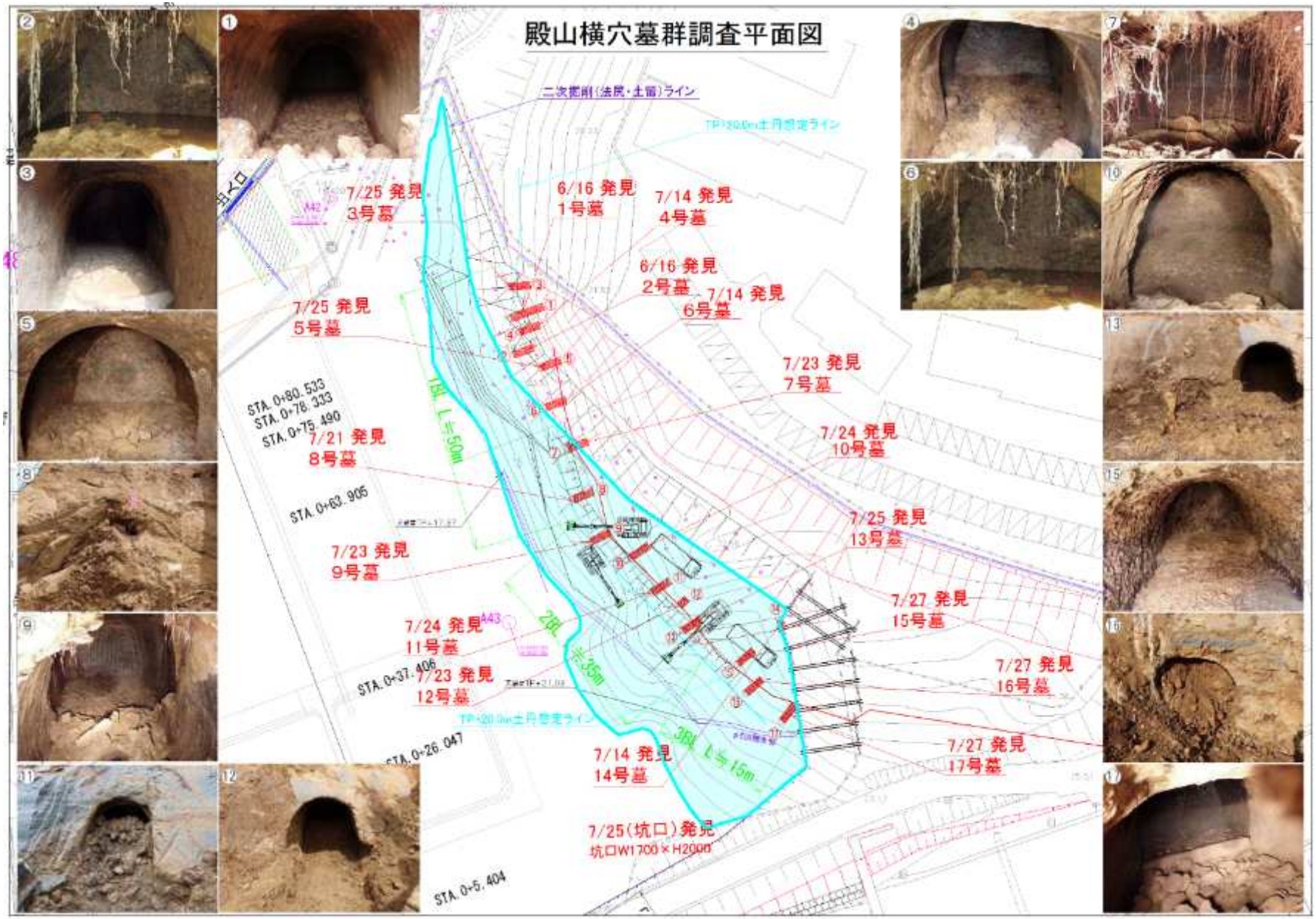


2．東名ジャンクションの現況写真（平成28年6月撮影）

3．殿山横穴墓群　発掘・調査経緯

平成27年6月16日	横穴墓2基発見（1，2号墓）・工事一時中止
平成27年6月22日～6月26日	世田谷区による調査、記録保存
平成27年6月29日	横穴墓発見についてプレス発表
平成27年7月3日	横穴墓現地見学会の実施
平成27年7月10日	工事再開
平成27年7月14日～7月27日	横穴墓１５基（3号墓～１７号墓）発掘
平成27年7月15日	工事一時中止　世田谷区による試掘調査開始
平成27年8月3日	横穴墓15基・本掘調査開始（埋蔵文化財センター）
平成27年8月17日	最北部に位置する「横穴３号墓」直刀(6振）、耳環、水晶切小玉、ガラス小玉、人骨を確認
平成27年9月26日	現地見学会開催（埋蔵文化財センター主催）
平成27年10月20日	東京都教育委員会委員長より調査終了の通知
平成27年10月22日～10月28日	横穴墓内部及び全景の３次元データ取得
平成27年11月18日	工事再開

4．殿山横穴墓群　平面位置図



5．現状写真及び位置図（3号墓）

6．発見時状況写真（3号墓）

７／２５　表土を掘削、土丹層の掘削において
横穴墓の入り口を確認。

7．現地見学会（27/7/3）開催状況

1．見学会開催趣旨

殿山横穴墓群の発掘調査成果を地域住民に公開し、活用することにより、地域の歴史を考える上での資料を提供する。
埋蔵文化財を通じて地域のコミュニティに貢献する。

2．見学内容

殿山横穴墓（1，2号墓）の出土品、発掘調査個所の見学
主催：世田谷区教育委員会文化財係
協力：中日本高速道路株式会社　東京支社　東京工事事務所

3．開催結果

・日　時　：平成27年　7月3日（金）10：00～11：30（雨）
・会　場　：東京外環東名ＪＣＴ（事業地内）東京都世田谷区大蔵6丁目
・参加者数：一般参加者37人　（世田谷区：砧、喜多見、大蔵、成城、給田地区）

4．見学会開催状況

8．現地見学会（27/9/26）開催状況

1．見学会開催趣旨

殿山横穴墓群の発掘調査成果を地域住民に公開し、活用することにより、地域の歴史を考える上での資料を提供する。
埋蔵文化財を通じて地域のコミュニティに貢献する。

2．見学内容

殿山横穴墓群の出土品、発掘調査個所の見学
主催：公益財団法人　東京都スポーツ文化事業団東京都埋蔵文化財センター
協力：中日本高速道路株式会社　東京支社　東京工事事務所

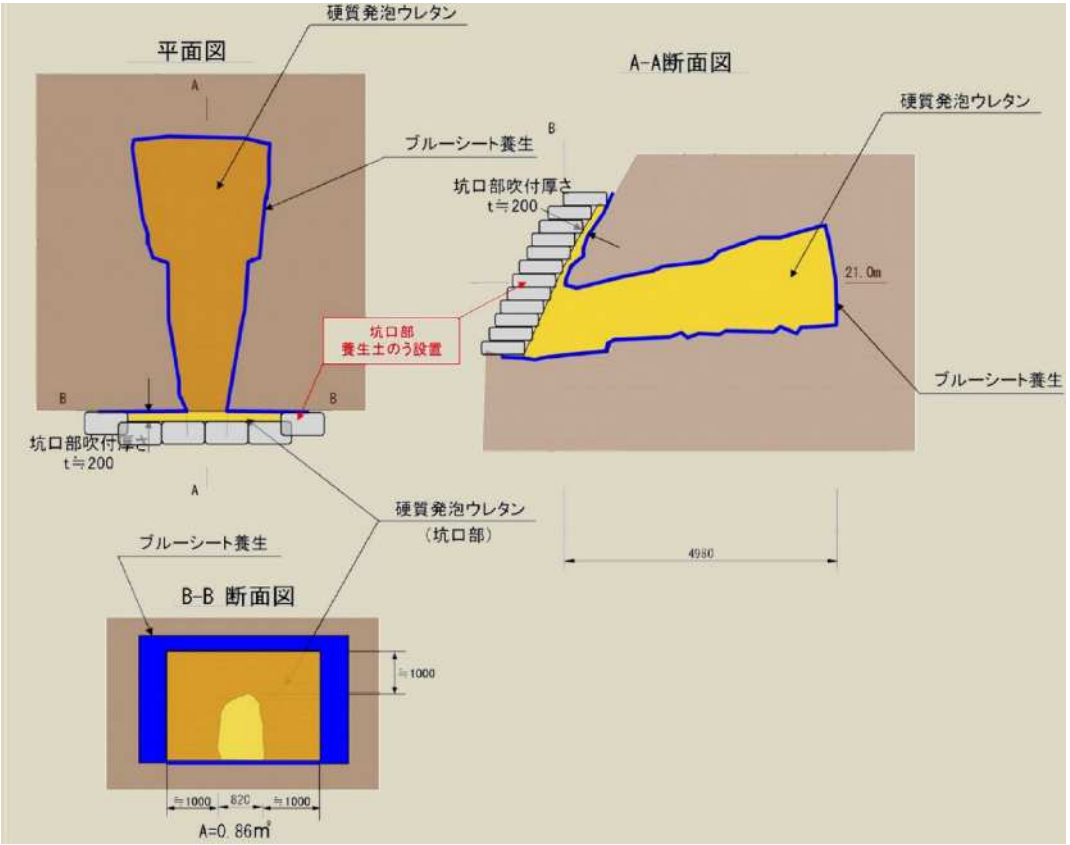
3．開催結果

・日　時　：平成27年　9月26日（土）10：00～16：00（くもり）
・会　場　：東京外環東名ＪＣＴ（事業地内）東京都世田谷区大蔵6丁目
・参加者数：607人（内、子供178人）　マスコミなし

4．見学会開催状況

9．埋戻し状況（3号墓）

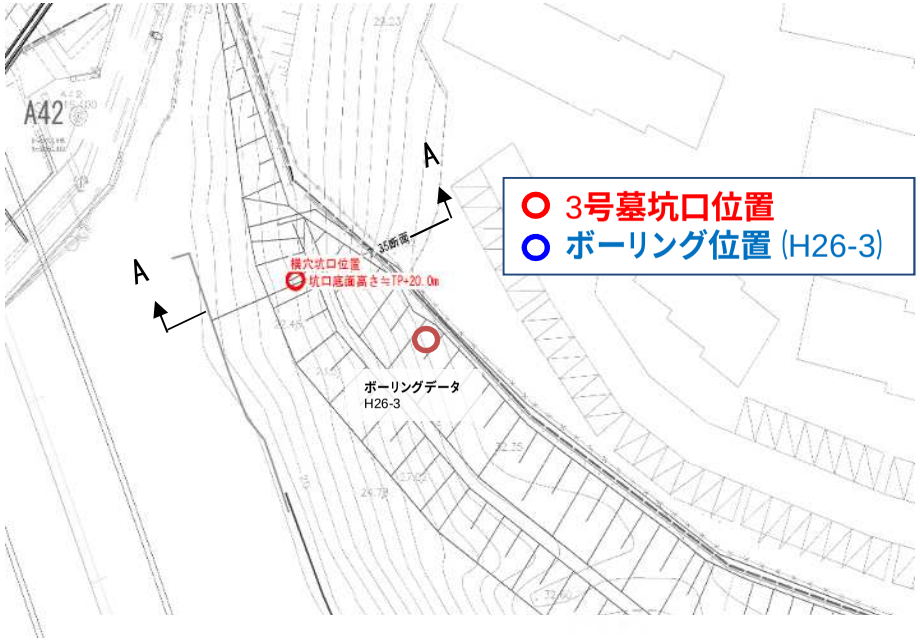
埋戻し状況図

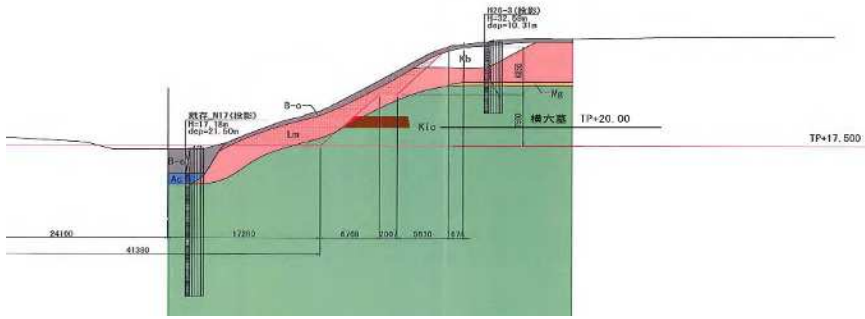


土嚢養生埋戻し状況（3号墓）

10．殿山横穴墓群地質状況

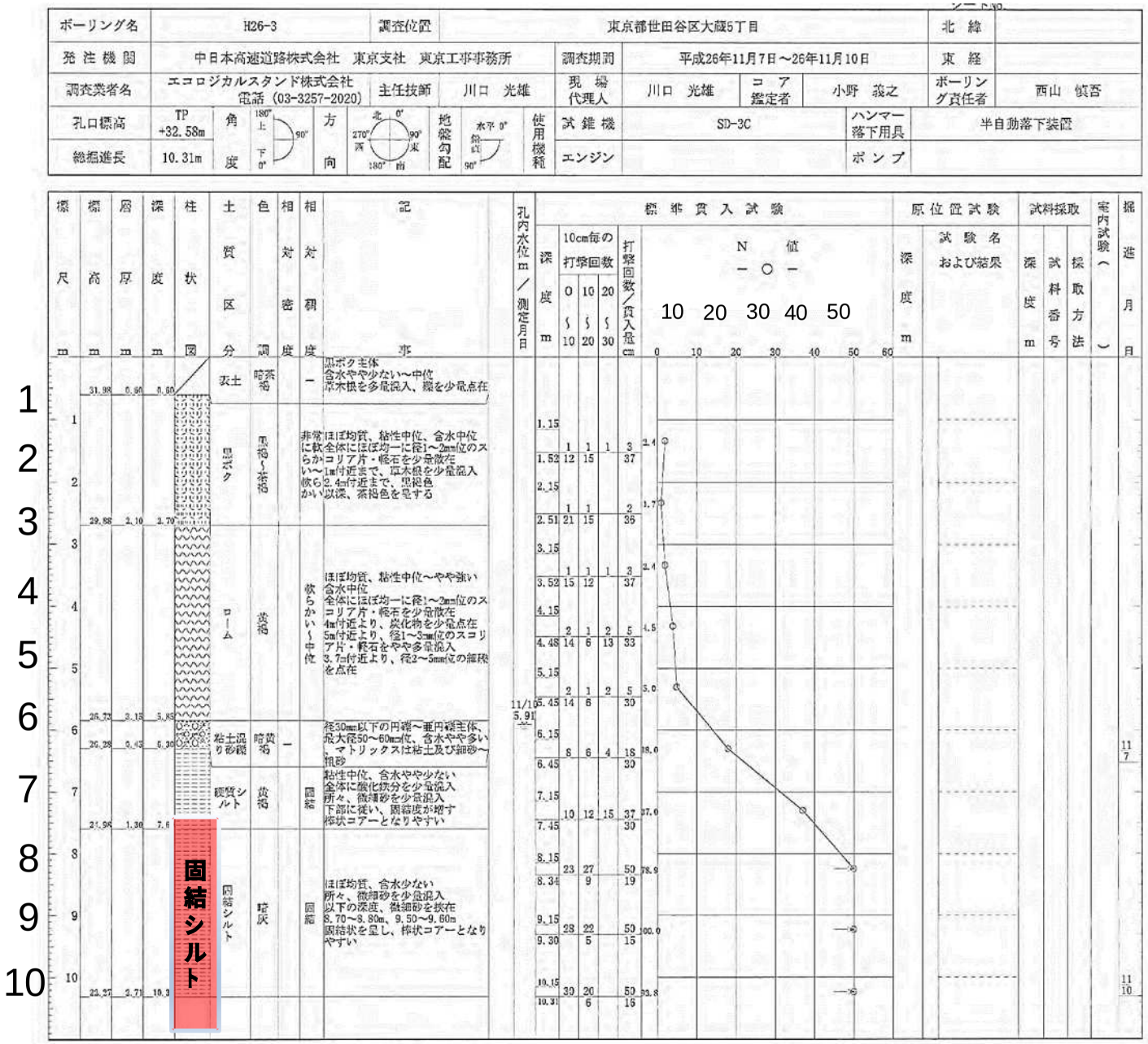
崖線部の地質は表土、関東ローム層で覆われ、約8m以深に固結シルトが堆積している。
上総層群北多摩層の固結シルトはN値50以上の硬い粘性土で、比較的に硬質で、土丹とも呼ばれている。





A ー A
断面

11．崖線部ボーリング調査柱状図

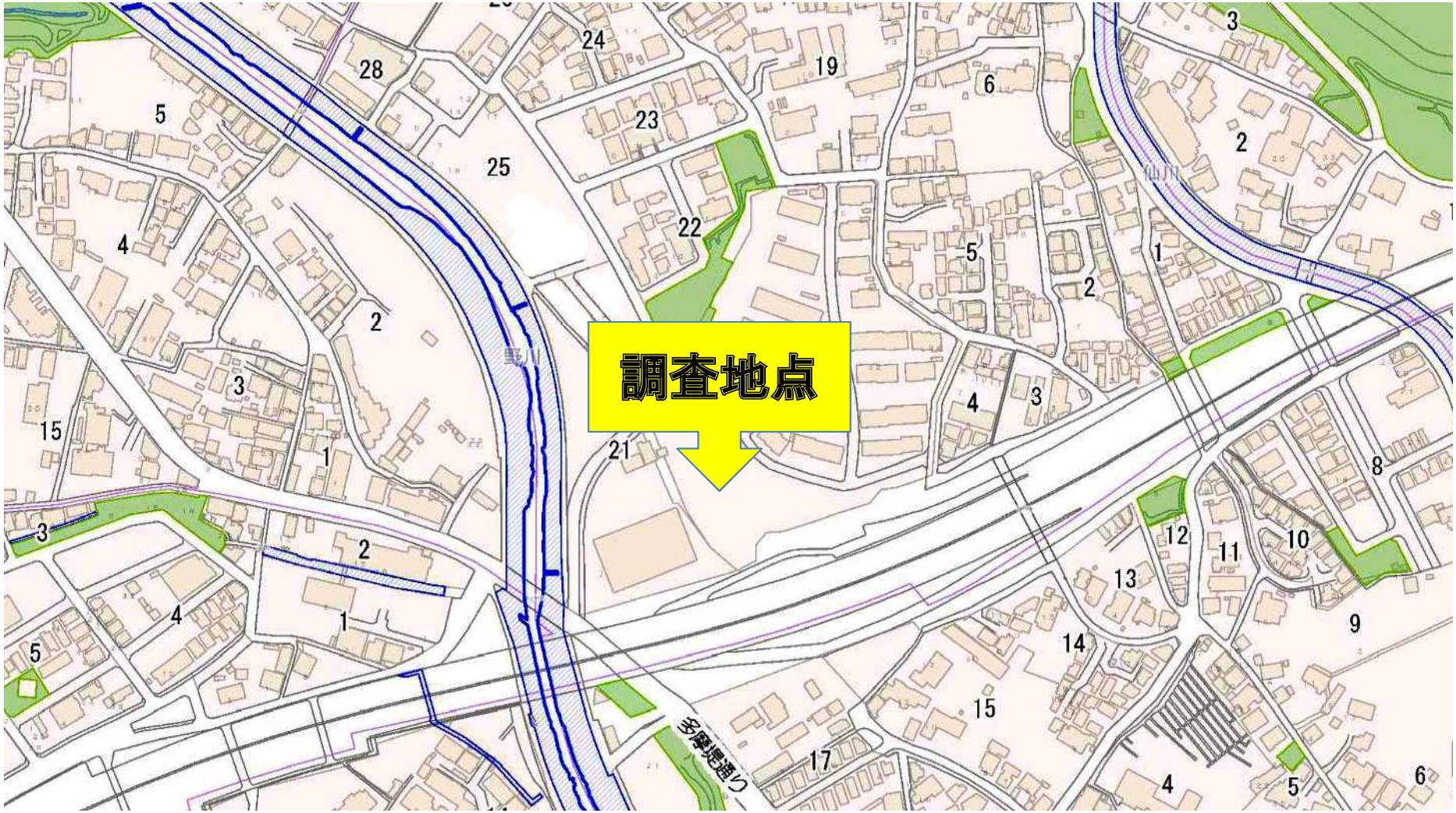


４　殿山横穴墓群に関する状況について
（2）発掘調査の概要について

12．殿山横穴墓群の概要

調査中の殿山横穴墓群　(撮影：東京都埋蔵文化財センター)

13．殿山横穴墓群の位置



14．調査の概要と成果

名　称＝殿山横穴墓群（区遺跡番号332）

所在地＝世田谷区大蔵5丁目20番地先

時　代＝古墳時代後期の6世紀末～7世紀中頃

総　数＝17基（調査範囲内）

副葬品＝須恵器、土師器、鉄刀、鉄刀子、鉄鏃、耳環、玉類など

15．殿山横穴墓群調査　全体図

野川の流れ
(旧　入間川)

台　地

斜面地
(国分寺崖線)

凡　例

◀ 区調査

◀ 都埋文調査

16．出土品・埋葬人骨等一覧

横穴墓番号	鉄刀	刀子	鉄鏃	耳環	鉄片・不明鉄製品	不明銅製品	人骨	勾玉	管玉	棗玉	切小玉	小玉	ガラス小玉	土師器	須恵器
1	1	1	10				1体以上	2	4	3		20	15		1
2							1体以上								
3	7	5	2	4	26	3	2体以上			1	12	1	27		
4	1	1	2		1		2体以上	10	2	1		9	3		1
5															
6															
7	1	1		3			3体以上			7			39		
8		1	1	1											
9		2	2												
10		1			2		1体以上								
11	1	4			20		4体以上								
12															
13	1	1	4	6	3		１体以上						117		
14															
15															
16							2体以上								
17				1			５体							1	1
小　計	12	17	21	15	52	3	22体以上	12	6	12	12	30	201	1	3

（※数字は未確定につき転載不可）

17．１・２号墓の発見状況と３号墓の位置

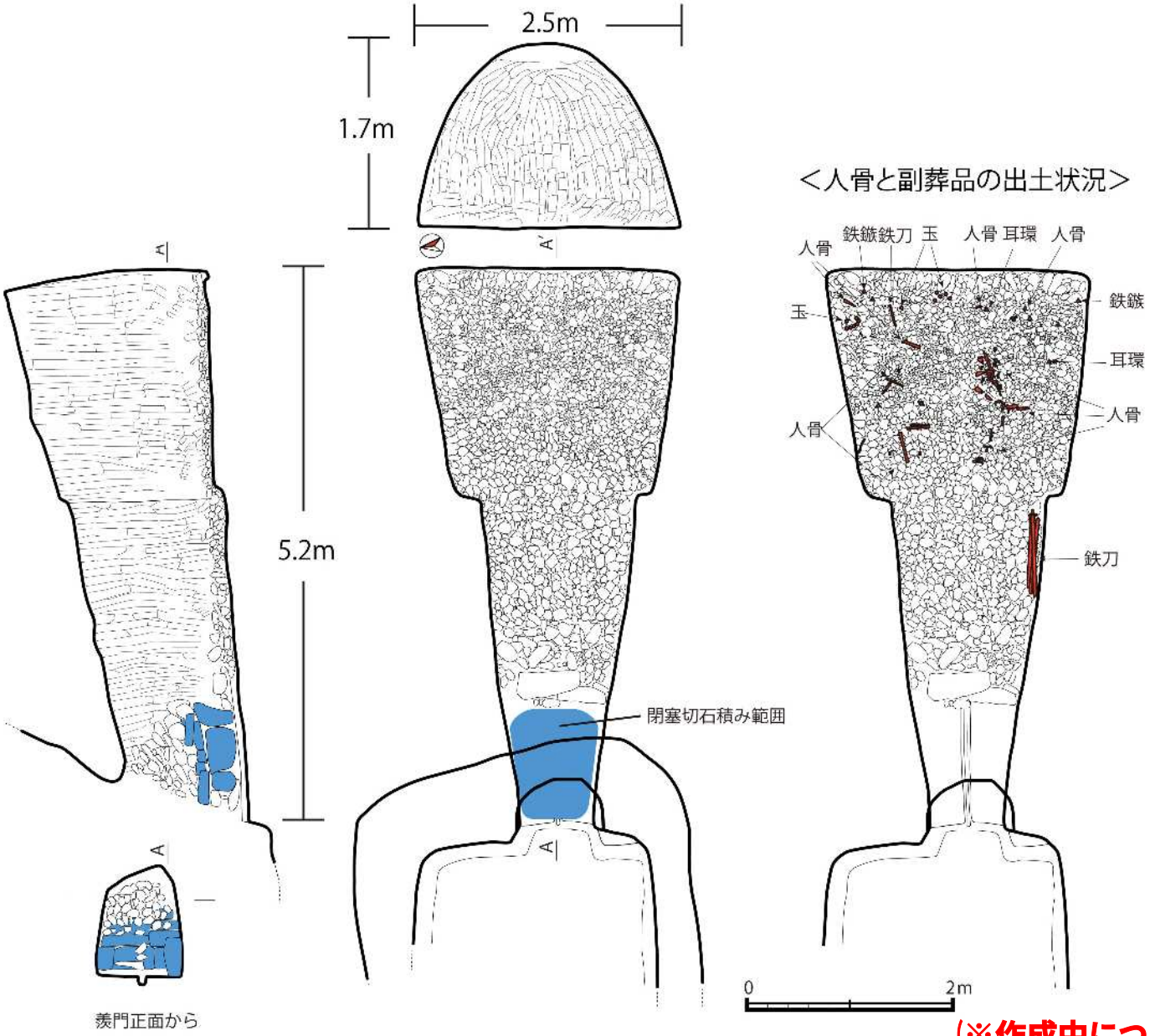
18．１号墓の内部（玄室＝げんしつ）

１号墓の内部（玄室＝げんしつ）

19．須恵器（すえき）の出土状況（１号墓）

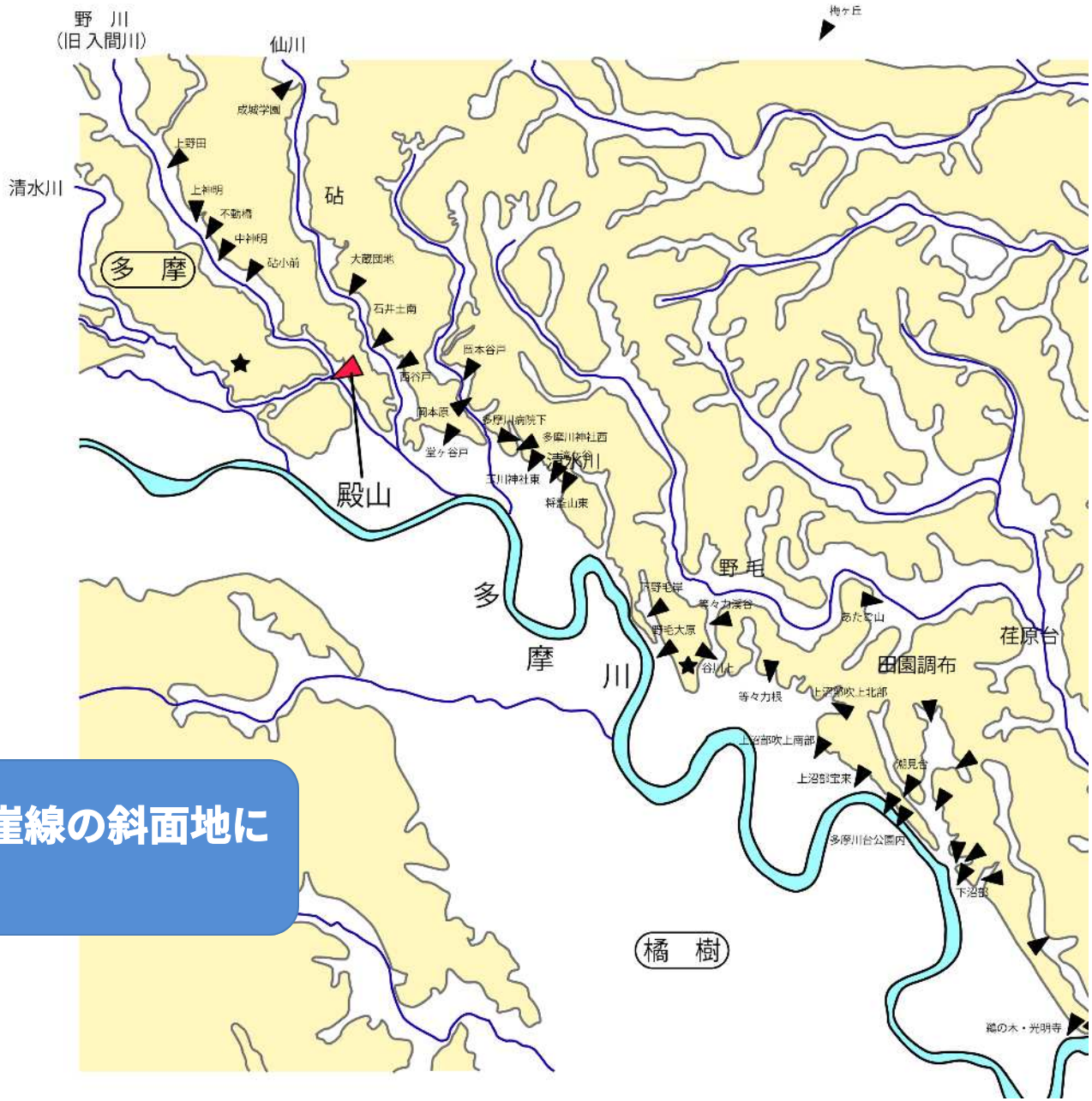
20．玉類の出土状況（１号墓）

21．３号墓の形状と副葬品の出土状況



(※作成中につき転載不可)

22．世田谷を中心とする横穴墓群の分布と殿山横穴墓群の位置



主として国分寺崖線の斜面地に分布している

23．世田谷の横穴墓一覧表

番号	横穴墓群名	所在地（東京都）	横穴数	現存数	主な出土遺物等
8	砧小学校前	世田谷区成城一丁目	4		人骨
20	上神明	〃　成城四丁目	6		人骨
21	成城学園	〃　成城六丁目成城学園大学	3		
31	大蔵団地	〃　大蔵三丁目	7		耳環　人骨
45	西谷戸	〃　大蔵四丁目・岡本三丁目	33	11	土師器　鉄鏃　直刀　刀子　装飾品（玉類他）　赤色顔料　人骨
49	岡本谷戸	〃　岡本一丁目	2		鉄鏃　刀子　鉄製品　人骨　円頭大刀
50	堂ケ谷戸	〃　岡本二丁目	5		
51	岡本原	〃　岡本二丁目	5		
78	梅ケ丘	〃　代田四丁目	1		ガラス製小玉　人骨
109	玉川神社東	〃　瀬田四丁目	2		
110	滝ケ谷	〃　瀬田四丁目	2		人骨
113	玉川病院下	〃　瀬田四丁目	6		鉄鏃　刀子　鹿角装刀子　耳環　人骨
114	玉川神社西	〃　瀬田四丁目	2		人骨
118	谷川上	〃　野毛一丁目	1		人骨
120	あたご山	〃　奥沢一・七丁目	1		人骨
313	野毛大原	〃　野毛二丁目	4		人骨
126	下野毛岸	〃　野毛三丁目	14		須恵器　人骨
130	等々力渓谷〔うち3号墓は都史跡〕	〃　等々力一丁目	3	1	土師器　須恵器　ガラス玉　刀子　耳環　人骨
189	不動橋	〃　成城三丁目	15		人骨
197	石井土南	〃　大蔵四丁目	1		人骨
297	等々力根	〃　等々力一丁目	1		人骨（別に地下式墓1基あり）
190	中神明	〃　成城三丁目	7		土師器　須恵器　刀子　人骨
286	上野田	〃　成城四丁目	2		
332	殿山	〃　大蔵五丁目	17	（1）	鉄刀　鉄鏃　須恵器　土師器　玉類　刀子　人骨
		合計　24カ所	144		基

※　2016年6月13日現在

殿山横穴墓群を含めると、現在までに区内では24カ所で、総数144基の横穴墓が確認されている

24．等々力一丁目　等々力渓谷３号横穴（都史跡）

区内横穴墓の現地保存例

昭和48年発掘
区公園整備にともなう工事で発見され、保存

25．岡本三丁目　西谷戸横穴墓群（一部）

区内最大規模の横穴墓群

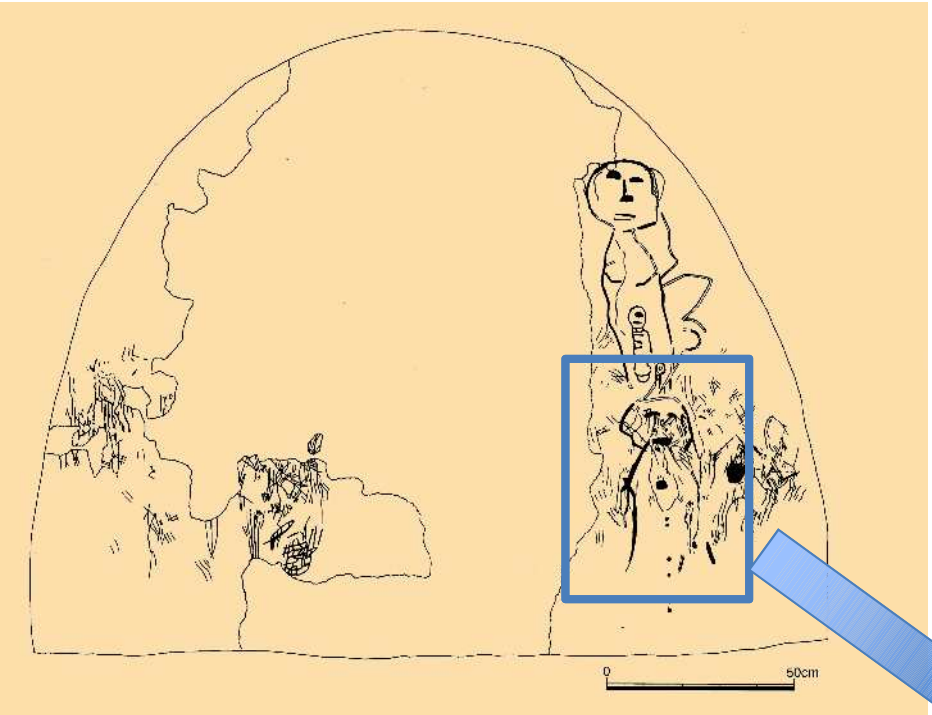
現在までに、総数33基が確認されている

26．成城三丁目　不動橋横穴墓群（一部）

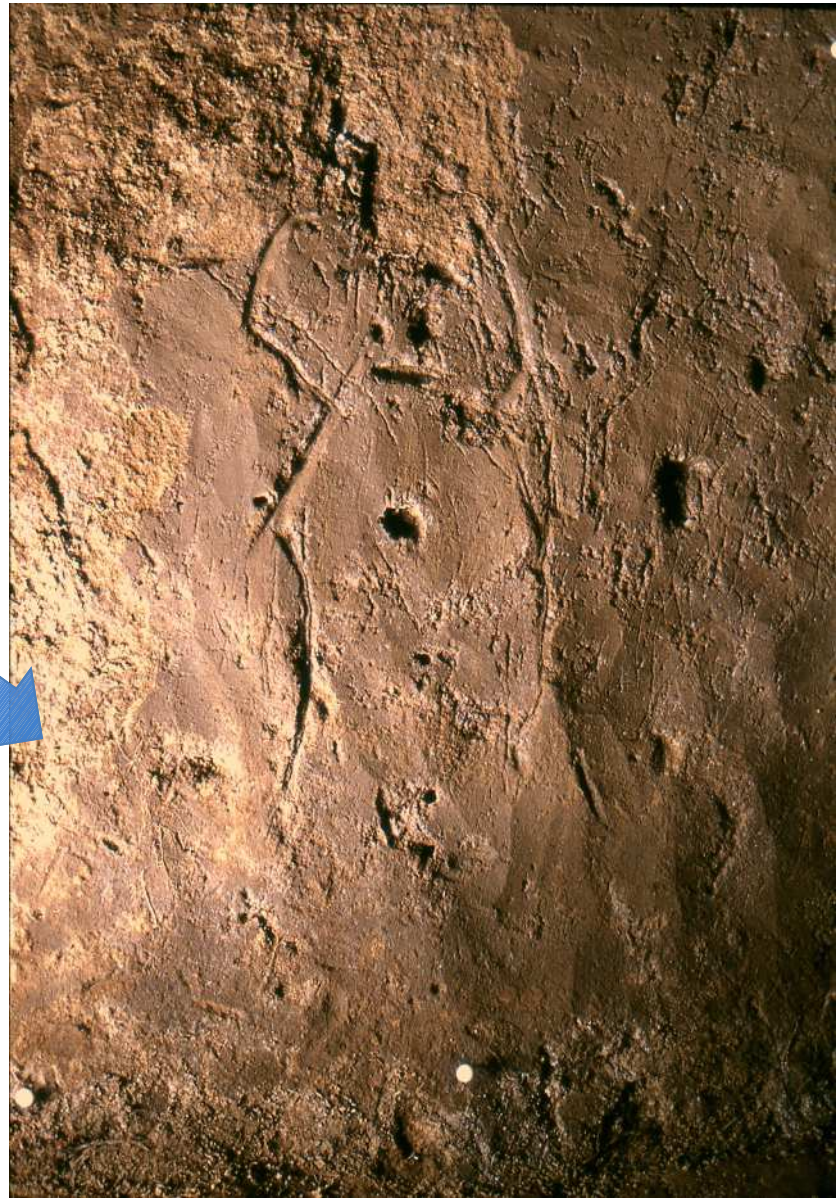
区内横穴墓の部分保存例

集合住宅建設工事に先立つ発掘調査で、13基が出土し、このうち11号墓の線刻壁画を剝離保存した

27．不動橋11号墓の線刻壁画



奥壁線刻全体図



区内横穴墓の現地保存例

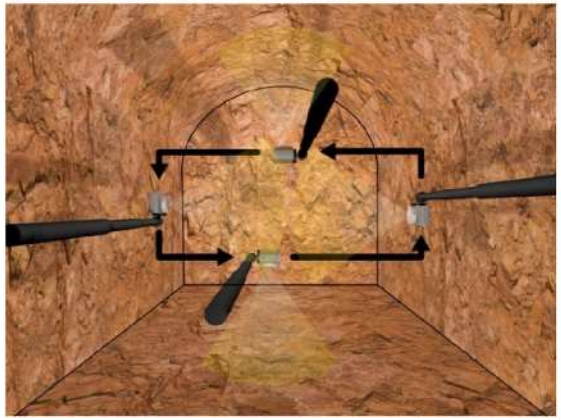
一部を剝離して保存し、
郷土資料館で公開中

28．殿山横穴墓　3D計測データ①

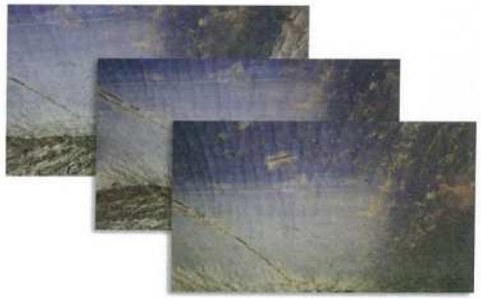
ＳＦＭ画像解析 (Structure from Motion)

３次元形状を復元するため、ミラーレス一眼レフカメラにて１横穴墓あたり４００枚程度の写真撮影を行いＳＦＭ画像解析を実施する。

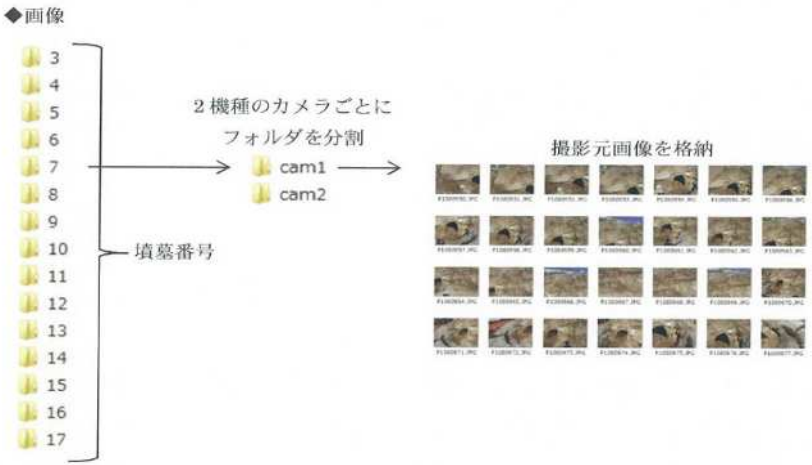
カメラ：　Panasonic　GM1
解像度：　1600 万画素
焦点距離：24mm（35mm 換算）



古墳番号	画像枚数 カメラ１	カメラ２	容量(GB)
3	605		11.89
4	557		4.35
5	359	16	2.99
6	339	21	2.94
7	399	37	3.43
8	221	17	1.95
9	545	36	4.82
10	266	18	2.26
11	347	20	2.92
12	103		0.88
13	413	36	3.57
14	297	17	2.64
15	379	43	3.5
16	481		3.95
17	324	42	2.87
総計	5635	303	55.0



撮影画像：一枚あたり 1600～2000 万画素
画像形式：jpeg



29．殿山横穴墓　3D計測データ②

3Dレーザースキャニング計測データ

横穴墓の実寸形状を3次元で捉えるため、レーザースキャナを使用して3次元計測を実施して3次元データを得る。

FARO 社 FOCUS3D

仕様

距離範囲	0.6-120m
角度範囲	H360°×V300°
測定速度	MAX976000 点/秒
誤差	±2mm@25m
計測時間	概ね 5-15 分
備考	カラーデータ取得

計測回数：24 回

容量：1.80GB

データ形式：FARO 社 fls 形式（バイナリ）

2　議事概要（第 1 回）

「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会

第１回　議事概要

１　日時及び場所

日時：平成 28 年 7 月 14 日（木）18：00～20：00

場所：東京外かく環状国道事務所　喜多見 7 丁目常設会場

２　出席委員（敬称略）

有 識 者：中野恒明、阿部伸太、小泉玲子、砂金伸治

区　　民：中川清史、荒川和茂、八木孝夫

世田谷区：桐山孝義、青山雅夫、工藤郁淳

事 業 者：佐藤眞平、安原正幸、岩本英將

３　傍聴者数

12 名

４　会議の概要

（1）検討会の運営について

検討会の設立趣意書について、事務局より説明した。

検討会の規約について、事務局より説明し、規約が原案どおり了承された。

規約に基づく座長及び副座長の選任について、座長に中野委員、副座長に阿部委員がそれぞれ選任された。

検討会のスケジュール等について、事務局より説明した。

（2）殿山横穴墓群に関する状況について

資料 5 に基づき、殿山横穴墓群の現状と東名ジャンクション（仮称）との位置関係、発掘調査の概要等について、事務局より説明した。主な発言は以下のとおり。

○殿山横穴墓群も下野田遺跡も外環事業で発掘されたものであるので、関連性があるなら、活用について、ともに考えるべきである。

○現在、発掘調査が行われている下野田遺跡の集落跡と殿山横穴墓群との関係については、下野田遺跡の発掘調査は完了していないが殿山横穴墓群と同時期である 6 世紀末から 7 世紀の集落跡は発掘されておらず、4～5 世紀、8 世紀及び 10 世紀の集落跡と考えられている。そのため、下野田遺跡と殿山横穴墓群は、直接関連する集落跡ではないと思われる。

（3）議事について

次第に基づき「検討の方向性」について、議論がなされた。主な発言は以下のとおり。

○現地での横穴墓の保存については、外環道のＨランプが縦断的に東名高速をオーバーパスする計画だったが、地域課題検討会（地域との話し合い、ＰＩ）によって、アンダーパスにした経緯を踏まえると、横穴墓を保存するために計画を戻すことは現実的でない。仮に、平面的に避けようとした場合は、新たな追加買収が必要になり、地元の方々に新たな負担を強いるようなことになるので、現実的ではない。

○国分寺崖線からの眺望や周辺に対する騒音、排気ガス等の問題を考えると、やはりアンダーパスにして良かった。また、これまでのプロセスの中で今の計画になっているので、それを踏まえ、検討する方向だという感触を持っている。

○保存は難しいということと事業者が取得した殿山横穴墓群の 3Dデータや記録をどのように活用するかという意見も結構出ているので、検討の方向性としては、展示や活用の方法だと思う。

○殿山横穴墓群の周辺で横穴墓以外の遺跡が発見される可能性については、現在の工事区域内では調査が完了しているが、工事区域外の崖線部分においては可能性がある。

○取得した 3Dデータを活用して復元するならば、現物の土を再利用してはどうかとの意見があったが、土丹の性質として水分を失うと強度がなくなり、殆どぼろぼろになってしまう。経験上、水を混ぜれば良いということではない。

○現物の土を再利用しての復元は難しいが、ＦＲＰ等の素材を利用すれば形の復元はできるということだが、誰が費用を負担するのか、断面図からすると法面になる外環事業地内のどこに移設するのか今後の課題となる。

○レプリカの製作や遺構などを一部切り取って博物館等に保管・保存するという場合もあるが、横穴墓は崖面のあの位置、あの高さに掘り込んで作られていたことに意味のある遺跡である。仮に保存するのであれば、崖ごと切り取ってどこかに残さない限り、おそらく利用価値がなく、教育的にも学術的にもあまり意味がない。また、費用やスペースなどを考えると、図面や写真などで十分代替できる。

以上を踏まえ、横穴墓そのものの保存、現物の土を再利用しての復元及び外環事業地内へ移設は困難であることから、検討の方向性として、活用方法について議論することとされた。主な発言は以下のとおり。

○出土品も公表するべきだが、仮に 3Dデータを使い体感できるような施設ができる場合に、そうした施設に出土品の現物を置くのは、セキュリティ上適当ではないので、レプリカを作り展示するのが良い。

○横穴墓や古墳などは残されたとしても、中に入れるものはごく僅かであり、世田谷区内で保存されている等々力の 3 号横穴もガラスで塞がれた入口から中を覗くだけである。教育的な利用方法を考えると、3Dデータを活用して器材を使えばまるでその中にいるような体感ができるという利用の仕方が現実的であるし、体感できる点において何より魅力的である。

○国分寺崖線の中における横穴墓群として視点を広げて見ると、教育的・文化的価

値という観点では、資料の中にあるような写真などをつなぎ合わせ、背景などの解説を付け加えることで、それを見た人がそこに思いを馳せることが、教育的見地からの活用である。
また、情報化の時代であるからＩＣＴ（情報通信技術）を活用し、インターネットミュージアムという視点の中で、うまく取り込んでいけると良い。
○外環事業は、地元の方が自分の先祖伝来の土地を提供して進められるわけだから、そこにあった物を、地元で展示できると良い。
○地元で展示するという点は同じ意見である。郷土資料館ではなく、発掘現場の近く、例えば喜多見小学校、上部利用で作られる公園内などが良い。
可能性のある場所を事務局に次回、提供していただき、議論できれば良い。ただし、作った公共施設の維持管理が全国的に課題になっている。
○周辺街づくりや上部空間等の検討の一環として、展示施設を設け、地域の小学校の生徒たちに見せることができると、本当に素晴らしいものになる。
○3Dで作るのとは別の意味で、本物が映像として残されているから、映像は活用して残していくべきだ。
○横穴墓群周辺の地層や地質などの情報に当時の文化面の解説を加えれば、子どもたちの教育的興味だけでなく、学校教育とは少し違った観点での幅も出てくる。
○地盤に興味がある方もいるはず。地層がかなり複雑になっている画像などは寧ろ小学生に見せたい。
○勾玉や刀などの副葬品が殿山横穴墓群だけではなく、他の遺跡でも見つかっていることについて、展示と共に学問的解説があると教育的な価値も上がる。そうしたものを集約し、比較して、説明される博物館などのような場所があると良い。
○横穴墓群や出土品が区内や日本全体でどのような位置付けがあるかを幅広く、解釈を加えて、地域の皆さんが簡単に手に取れるような活用の仕方が１つのキーワードになる。
○世田谷の国分寺崖線だけで 144 基出ていることから、歴史的な部分も比較対照した解説が地元にあると良い。
○古墳時代の横穴墓群があったところに近代的な道路やジャンクションが新たにできるというひとつの歴史を後世に残す方法として、仮称となっているジャンクションの名称に殿山横穴墓群を使うのも良い。
○今回のように道路事業で遺跡が発掘された例は結構多いと思うので、全国でどれくらい活用事例があるか、事務局に次回まで調べていただき、議論できると良い。
○地下鉄の市ヶ谷駅での工事において、江戸城の石垣が出土したため、石垣の一部を駅の構内の別の場所に復元をして、当時の切絵図と現在の地図を重ねて位置を示し、学識者のコメントをパネルにして展示しているケースもある。また、二条駅の工事で発掘された物を駅の構内の展示スペースで展示しているケースもある。箱物がないのが外環事業の特徴だが、今回の検討会でのヒントとしては、発掘された物を何らかの形で展示している事例は多い。
○横穴墓は崖面をくり貫いて作られる物であるので、崖面が非常に発達している国

分寺崖線において多く作られてきたことは、地形的にも当然である。一般の方に、郷土の歴史に興味や関心を持ってもらうため、そうしたことの意味や学術的な比較研究などを噛み砕いて、後世に伝えるための使い方をすれば、今回の遺跡はなくなってはしまうが、価値のあるものになる。

○殿山横穴墓群を作った集落については、現況、想定されている集落は、野川の反対側にある喜多見陣屋遺跡、清水遺跡などに同時期集落があり、非常に有力な集落であったことからそことの関係で捉えている。また、墓地としての選定条件については、当時の時代からすれば、通常は、利用しづらい土地を墓地にしたと考えられる。

○喜多見や国分寺崖線の歴史を語るうえでは、殿山横穴墓群を作った集落や墓地としての選定条件なども含め展示や情報発信が必要である。

○町おこしや街づくりに繋げられるよう、ハード面や教育面だけに着目するのではなく、例えば横穴墓せんべいなどの活用方法もある。

○外環事業により、町が分断され、どうやって復活し直すかということも課題としてはある。

○例えば小学校 4 年生くらいの地域を知る教育の時間で、横穴墓群を子どもに分かりやすいように解説するといったソフト面での活用もある。

また、等身大の現物の復元は難しいということだが、写真であればプレートへの焼付けや外環のリーフレット等に副次的な成果としてメッセージの一コマを入れると良い。

○写真なども区や外環事業者のホームページで発信するのも良い。全国の色々な人が見られるし、費用は余りかからない。寧ろ事業に対する理解が深まり、地域の方が誇りを持てれば郷土への愛着や小学生の良い勉強にもなる。

○最近、ここに農業公園ができた。農業の復活というか、区内で農業を発信されようとしている時なので、横穴墓とうまく繋げて町おこしをと感じている。

○この検討会の資料等もホームページで公開されるのであれば、活用のアイディアを募集すると良い。

○都市緑地計画学としてみどりの街づくりの観点から考えると、上部利用空間は、例えば、次大夫堀公園や等々力渓谷の横穴墓のように、分断されてしまう地域を繋げる空間になると良い。その中で、副葬品等をこの場所でうまく展示できるような仕掛けがあると、地域が非常に力を持ってくる。例えば横穴墓をモチーフにした壁面や空間作りをすれば、非常に魅力的なオープンスペース、みどりの空間になる。

それから、維持管理を考えると、例えば豊島区立南池袋公園のように、利用料ではなく収益をあげる仕掛けをセットで考えるのも大事になる。その際に、様々なセクションのお金を使いながらやっていくと、非常に質の高い空間になる。そうすることで、子どもたちの地域に対する愛着やプライドにも繋がる。

○いわゆる箱物は新しく作ると当然お金がかかるのだから、外環事業で建設が決まっている約 30mの換気塔に横穴墓に関連するデザインや構造を取り入れれば、

新たにお金をかける必要がない。

○首都高速の大橋ジャンクションにある天空庭園は、作った構造物の上部がいつの間にか観光地になった。そういった発想を検討する価値がある。

○ＩＣＴ（情報通信技術）の世界では大きさの感覚を伝えることには限界がある。立体模型など何か建設することに限らず、横穴墓の断面図を周辺施設の壁面等に表示すれば、大きさの感覚は伝えられる。そうした工夫も必要だ。

○実際、シアターで立体眼鏡をかけて立体画像を見た際、感激したことがある。綿密に調査された3Dデータを利用して、バーチャルな世界で体験する活用方法は、費用の面で課題があるが、教育的な観点から十分可能性がある。

○このジャンクション内に横穴墓があったとわかるようにランプに15基の横穴墓を表示できると良い。そうすれば名物なジャンクションになり見物人が来る気もする。

○屋外でもタイルにプリントできる技術がある。屋外展示なら維持費もかからないので、展示の仕方としては良い。

○このジャンクションは西から来た車にとって東京のゲートウェイになるという観点からすれば、日本の高速道路網の中で非常に大事なものである。その意味では外環事業において横穴墓群を有効に活用することは、外環事業者にとっても非常に発信力のある事業となる。

また、東京の都市の国際競争力を高めるという点で、2020 年に向けて都市インフラを整備する際に、それ以降のスタンダードになるよう、外環事業の進め方を考えることは大事である。

○換気塔は最新の設備である一方、脈々と受け継がれてきた伝統のような物がある中で、それらを絡めて展示するような発想は重要である。その際に土の性状などの要素を入れると、教育的な活用という点ではなお良い。

○外環事業は技術的に価値のある工事なので、地盤データなど計測したデータやトンネルを掘る技術などももう少し市民にアピールすると良い。1,500 年前の歴史と今の技術が交差する場所として、関連施設への表示や記念碑などによって、遺跡だけでなく現代の土木史、土木技術をアピールするアイディアを事業者から出すと良い。

以上の発言を踏まえ、第2回以降でとりまとめに向けて議論することとされた。

（4）その他

第2回（11月中旬予定）及び第3回（1月下旬予定）の日程について、事務局より連絡した。

3　第2回(平成28年11月17日)

第 2 回　「東名ジャンクション（仮称）」
殿山横穴墓群に関する活用検討会

次　第

平成 28 年 11 月 17 日（木）午後 3 時から
喜多見 7 丁目常設会場

1　開会

2　第 1 回の振り返り

3　活用について
　（1）応募されたアイディアの紹介

　（2）活用事例等の紹介

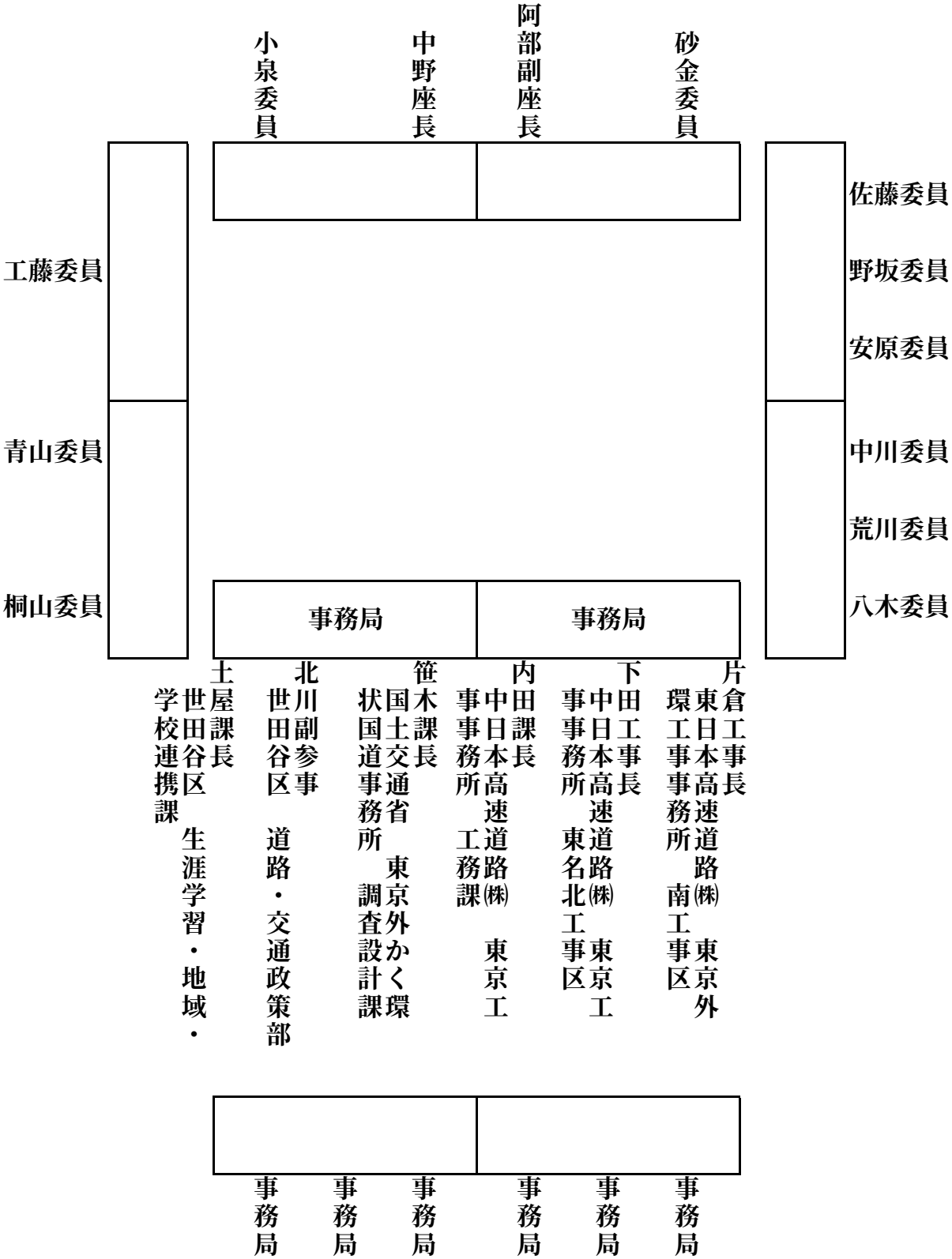
4　議事
　（1）活用に関する検討

　（2）とりまとめに関する検討

　（3）その他

5　閉会

第2回　「東名ジャンクション（仮称）」
殿山横穴墓群に関する活用検討会
席次表



第２回「東名ジャンクション（仮称）」

殿山横穴墓群に関する活用検討会

資料一覧

＜資料１＞　「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会委員名簿
＜資料２＞　「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会規約
＜資料３＞　第1回検討会における活用に関する主な発言（抜粋）
＜資料４＞　殿山横穴墓群に関する活用アイディア
＜資料５＞　検討のための活用事例
＜資料６＞　検討会のスケジュール（予定）
＜参考資料１＞　検討のための参考図
＜参考資料２＞　「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会とりまとめ（イメージ）

※当ファイルや本日の資料はお持ち帰りにならなくても構いません。
※次回開催時には、当ファイルに次回の資料を追加し、机上に配布させていただきます。
※当ファイル等をお持ち帰りになる場合は、次回、ご持参くださいますようお願いします。

資料 1

「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会

委員名簿

（敬称略）

有 識 者	なかの つねあき 中野　恒明	芝浦工業大学システム理工学部環境システム学科教授
	あべ しんた 阿部　伸太	東京農業大学地域環境科学部造園科学科准教授
	こいずみ れいこ 小泉　玲子	昭和女子大学人間文化学部歴史文化学科教授
	いさご のぶはる 砂金　伸治	国立研究開発法人土木研究所つくば中央研究所道路技術研究グループ上席研究員
区　　民	なかがわ せいし 中川　清史	法人格成城自治会長
	あらかわ かずしげ 荒川　和茂	喜多見上部自治会長
	やぎ たかお 八木　孝夫	石井戸会長
世田谷区	きりやま たかよし 桐山　孝義	世田谷区砧総合支所副支所長
	あおやま まさお 青山　雅夫	世田谷区道路・交通政策部長
	くどう ふみあつ 工藤　郁淳	世田谷区教育政策部長
事 業 者	さとう しんぺい 佐藤　眞平	国土交通省東京外かく環状国道事務所副所長
	やすはら まさゆき 安原　正幸	東日本高速道路株式会社東京外環工事事務所副所長
	のさか みつひろ 野坂　光弘	中日本高速道路株式会社東京工事事務所副所長

資料 2

「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会

規約

（名称）

第１条　本検討会は、「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会（以下「検討会」という。）と称する。

（目的）

第２条　検討会は、東名ジャンクション（仮称）予定地で発見された殿山横穴墓群に関する教育的・文化的資源としての活用の方向性について、検討することを目的とする。

（検討会内容）

第３条　検討会は、次に掲げる事項を検討するものとする。

（１）出土した殿山横穴墓群の教育的・文化的資源としての地域への活用の方向性。

（２）その他必要な事項。

（構成）

第４条　検討会の委員及び事務局は、別表に掲げる者とする。

（座長）

第５条　検討会に座長１名、副座長１名を置く。

２　座長は、検討会を代表し、検討会の円滑な進行及び議事を総括する。

３　副座長は、座長を補佐し、座長に事故があるとき、又は座長が欠けたときは、その職務を代理する。

（開催）

第６条　検討会の開催は 3 回程度とし、第 3 条に掲げた事項について、検討結果をとりまとめるものとする。

２　検討会は、必要があると認めるときは、委員以外の者の出席を求め、その意見、説明等を聴くことができる。

３　検討会の開催に当たっては、会議名、日時、場所その他必要な事項を世田谷区道路・交通政策部道路計画課のホームページにて公表する。

（議事の公開）

第７条　検討会は原則として公開とする。ただし、検討会が必要と認めたときは、非公開と

することができる。
２　検討会の議事概要等は検討会後、世田谷区道路・交通政策部道路計画課のホームページにて公表する。

（傍聴）
第８条　検討会を傍聴しようとする者（以下、「傍聴人」）は、検討会開催日の 3 日前までに、住所、氏名その他必要な事項を、検討会ごとに世田谷区道路・交通政策部道路計画課に申込むものとする。
２　傍聴人の人数は、15 人以内とする。ただし、検討会の開催場所に応じて、15 人を超え、または、15 人を割る定員とすることができる。
３　傍聴人は、先着順により決定し、傍聴人に通知する。

（傍聴できない者）
第９条　次の各号のいずれかに該当する者は、検討会を傍聴することができない。
（１）　銃器、棒、その他人に危害を加え、又は迷惑を及ぼすおそれのある物を携帯している者
（２）　拡声器又は無線機の類を携帯している者
（３）　ビラ、プラカード、旗、のぼり等を携帯している者
（４）　はちまき、たすき、ゼッケン又はヘルメットの類を着用及び携帯している者
（５）　酒気を帯びていると思われる者
（６）　異様な服装をした者
（７）　その他、会議を妨害するおそれがあると認められる者

（傍聴人の遵守すべき事項）
第１０条　傍聴人は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。
（１）　会議開催中は、傍聴席において静粛に傍聴することとし、拍手その他の方法による可否の表明または発言しないこと。
（２）　会場において、騒ぎ立てる等により進行を妨害しないこと。
（３）　会場において、食事または喫煙をしないこと。
（４）　会議開催中は、写真撮影、録音及び録画をしないこと。
（５）　その他会場の秩序を乱し、又は検討会の支障となる行為をしないこと。

（傍聴人の退場及び入場制限）
第１１条　座長は、傍聴人が前条各号に掲げる事項を遵守せず、検討会の進行上支障があると認めるときは、退場を命ずることができる。
２　座長は、第７条第１項の規定により会議を非公開としたときは、傍聴人を退場させるものとする。
３　傍聴人は、前項又は前々項の規定により、座長から退場を命じられたときは、静粛かつ

速やかに退場しなければならない。

（個人情報等の保護）

第１２条　検討会の出席者及び傍聴人は、検討会で知りえた個人情報及び公表することにより運営に支障があると検討会が認めた情報その他を漏らし、又は無断で使用してはならない。検討会が終了した後も同様とする。

（報道関係者の取扱）

第１３条　報道関係者には、第 8 条の規定にかかわらず、公開の会議を傍聴させなければならない。

２　第 9 条から前条までの規定は、報道関係者に公開の会議を傍聴させる場合に準用する。この場合において、「傍聴人」とあるのは、「報道関係者」、「傍聴席」とあるのは、「報道関係者席」と読み替えるものとする。

（その他）

第１４条　この規約に定めるもののほか、必要な事項は、検討会で協議し、定めるものとする。

資料 2

別表
委員

有 識 者	中野　恒明◎	芝浦工業大学システム理工学部環境システム学科教授
	阿部　伸太○	東京農業大学地域環境科学部造園科学科准教授
	小泉　玲子	昭和女子大学人間文化学部歴史文化学科教授
	砂金　伸治	国立研究開発法人土木研究所つくば中央研究所道路技術研究グループ上席研究員
区　　民	中川　清史	法人格成城自治会長
	荒川　和茂	喜多見上部自治会長
	八木　孝夫	石井戸会長
世田谷区	桐山　孝義	世田谷区砧総合支所副支所長
	青山　雅夫	世田谷区道路・交通政策部長
	工藤　郁淳	世田谷区教育政策部長
外　環 事業者	佐藤　眞平	国土交通省東京外かく環状国道事務所副所長
	安原　正幸	東日本高速道路株式会社東京外環工事事務所副所長
	野坂　光弘	中日本高速道路株式会社東京工事事務所副所長

◎は座長、○は副座長を表す

事務局

世田谷区	道路・交通政策部道路計画課
	教育政策部生涯学習・地域・学校連携課
外　環 事業者	国土交通省東京外かく環状国道事務所
	東日本高速道路株式会社東京外環工事事務所
	中日本高速道路株式会社東京工事事務所

資料 3

第 1 回検討会における活用に関する主な発言（抜粋）

◎教育的・文化的な活用に関する発言

○現地での活用

・「国分寺崖線の中における横穴墓群」について、写真や背景などの解説を付け加え、それを見た人がそこに思いを馳せることができるような活用がよい。
・郷土の歴史に興味や関心を持ってもらうため、国分寺崖線に横穴墓が多く作られる意味や学術的な比較研究などを噛み砕いて後世に伝えるような活用をすれば、価値が出てくる。
・喜多見や国分寺崖線の歴史を語るうえでは、横穴墓群に関連する集落などの解説も含め展示や情報発信が必要である。

○出土品の活用

・出土品も公表するべきだが、セキュリティ上、レプリカが良い。
・勾玉や刀などの副葬品が他の遺跡でも見つかることなどを集約し、比較して、説明される博物館などがあると良い。

○3Dデータの活用

・3Dで体感ができるという利用の仕方が現実的かつ魅力的である。
・立体眼鏡をかけてバーチャルな世界で体験する活用方法は、教育的な観点からも十分可能性がある。

○教材としての活用

・ＩＣＴを活用し、インターネットミュージアムに取り込むと良い。
・ＩＣＴの世界では大きさの感覚を伝えることには限界があるため、横穴墓群の大きさの感覚を伝える工夫も必要だ。
・写真なども区や外環事業者のホームページで発信するのも良い。地域の方が誇りを持てれば郷土への愛着や小学生の良い勉強にもなる。
・小学生の地域を知る教育の時間などにおけるソフト面での活用もある。
・換気塔は最新の設備である一方、脈々と受け継がれてきた伝統のような物がある中で、それらを絡めて展示するような発想は重要である。その際に土の性状などの要素を入れると、教育的な活用という点ではなお良い。

◎地域のための活用に関する発言

○地域での展示解説などの活用

・外環事業への土地提供者を慮って、地元で展示することも考えたい。
・郷土資料館ではなく、例えば喜多見小学校、上部利用で作られる公園内など地元で展

示するのが良い。
・周辺街づくりや上部空間等の検討の一環として、展示施設を設け、地域の小学生に見せられると良い。
・区内の国分寺崖線にあった 144 基を比較対照した解説などが地元にあると良い。
・横穴墓群や出土品の区内や日本全体での位置付けを幅広く、解釈を加えて、地域の皆さんが簡単に手に取れるように活用する。

○地域振興としての活用
・横穴墓群周辺の地層や地質などの情報に当時の文化面の解説を加えれば、子どもたちの教育的興味だけでなく、学校教育とは少し違った観点での幅も出てくる。
・例えば横穴墓せんべいや幟のように、町おこしなどに繋げる活用方法もある。
・最近、周辺に農業公園ができた。横穴墓とうまく繋げて町おこしをと感じている。
・都市緑地計画学的なみどりの街づくりの観点から、外環の上部利用空間は例えば横穴墓をモチーフにした壁面や空間作りにより、分断される地域を繋げる空間になると良い。その際、維持管理を考え、収益をあげる仕掛けをセットで考えるのも大事になる。
・ランプなどに横穴墓を表示すれば、名物なジャンクションになり集客に繋がる。

◎その他の活用に関する発言

○施設整備に付随させる活用
・外環事業で建設が決まっている施設などに横穴墓に関連するデザインなどを取り入れることで、追加の施設整備の費用を抑えられる。
・大橋ジャンクションの天空庭園などの発想を検討する価値がある。
・このジャンクション内に横穴墓があったとわかるように、ランプの壁面等に 15 基の横穴墓をプリントして表示できると良い。維持費も不要なので展示の仕方としては良い。
・発掘された物を何らかの形でその場で展示する例が多い。

○ソフト面での活用
・歴史を後世に残すため、ジャンクションの名称に殿山横穴墓群を使うと良い。
・外環供用後のリーフレット等に副次的な成果として入れると良い。

○事業のＰＲへの活用
・このジャンクションが東京のゲートウェイになるという観点から、外環事業において横穴墓群を有効に活用することで、非常に発信力のある事業となる。
・外環事業は技術的に価値のある工事だということをもう少し市民にアピールすると良い。遺跡だけでなく現代の土木史、土木技術をアピールするアイディアを事業者から出すと良い。

資料 4

殿山横穴墓群に関する活用アイディア

1　活用アイディア募集の概要

（1）募集内容

殿山横穴墓群（副葬品を含む）の教育的・文化的資源としての活用アイディア

（2）募集期間

平成 28 年 9 月 16 日（金）から 10 月 7 日（金）【3 週間】

（3）応募方法

郵送、ファクシミリまたは持参

（4）周知方法

別紙「お知らせ」のとおり周知する。

・世田谷区ホームページに掲載

・成城、喜多見及び砧まちづくりセンター管内の区広報板に掲示

・当該地周辺の区公共施設に設置　（砧総合支所街づくり課、成城・喜多見及び砧まちづくりセンター、小・中学校など）

・当該地周辺の町会・自治会の掲示板に掲示依頼

（5）応募者数

11 名

2　応募された主な活用アイディア

(1) 教育的・文化的な活用

・横穴墓を作成した技術力を見学者が実感できるよう、3Dデータを活用するなどして、模型を作成し、地元に展示する。

・出土資料、写真（横穴墓群の全体、古墳から見た喜多見地区）と古墳内部の 3D映像を見学できるような資料館や資料室を整備する。

・横穴墓群や出土品は風化してしまうので説明・解説物が必要。

・横穴墓、出土品、周辺の住居跡、見学会の様子、過去の原風景との比較や 3 次元データ（映像）を写真パネルにして展示する。

・横穴墓群の場所的・時代的位置付けがわかるような施設を整備する。

・教育センター内の郷土学習室で区内の横穴墓群をＤＶＤや 3Dの

映像で紹介し、副葬品の解説をするなど世田谷の昔をまとめて学べる場所とする。

・小学生などを対象に、当時の生活を表現した校外学習コーナーを設ける。

・区内の小・中学校の教材として活用し、市民へ開放する。

(2) 地域のための活用

・ジャンクション内に展示施設を整備し、横穴墓全様を示す写真パネル、発掘品、実物大の 3 号墓のレプリカを展示する。

・民家園に歴史コーナーを設置し横穴墓群時代の歴史的な背景と当時の暮らしなどを展示する。

・田直公園を含め殿山遺跡公園として整備し、殿山横穴墓群の実物大模型を作成して、住居跡と一緒に展示する。

・少なくとも一基は現場保存をして、外側から古墳内部が俯瞰できるように、通路を含めて整備する。

・地域交流や学びの場とするため、オープンカフェを併設したミニミュージアムを整備する。

・道の駅を整備し、展示スペースを設ける。

・未来の住環境の向上にも寄与する緑の空間とともに、展示する。

(3)その他の活用

・東名高速道路や外環道のランプの壁面に横穴墓群の全様がわかる写真パネル等を設置する。

・ジャンクションの名称を「殿山（トネヤマ)」、「大蔵殿山（トネヤマ)」または「殿山（トネヤマ）遺跡」とする。

資料４

３　応募された活用アイディアの一覧

【一覧作成要領】

・ご応募いただいた原文のとおり転載する。

・活用アイディアについて、網掛けする。

	活用アイディア
1	①ランプの盛土の一部に、コンクリート製の建物を作り、その内部に横穴墓全様を示すパネル、発掘品、実物大の３号墓のレプリカを設ける。 ②ランプ盛土の利用が難しい場合は、東名ＪＣＴ上部利用エリア内に設ける。（内容は①と同じ） ③ランプを走行する車両内から見えるように、ランプの壁面に横穴墓群全様がわかるパネル又は電光表示する。 ④東名高速道路の壁面に巨大な横穴墓群のパネルを設置する。（予算はＮＥＸＣＯ） ⑤街づくり課で、東名ＪＣＴ上部利用をいろいろ検討してきたので、是非、街づくり課もメンバーに加えてください。
2	①民家園に歴史コーナーを設置し、今回、発見された横穴墓群時代の歴史背景と当時の暮らしなどを展示する。
3	①世田谷区立教育センターの郷土学習室に展示する。発掘現場からは遠くなるが、世田谷の昔をまとめて学べる場所とする。 横穴墓群：ＤＶＤまたは３Ｄのビジョンで紹介する 副 葬 品：世田谷区全体から集めて統一的な解説をする。 ②外環道の蓋かけ部分の利用方法のひとつとして、人集めが期待できるミニミュージアムを設置する。オープンカフェと併設することにより、来場者が周辺の緑に囲まれた中でくつろぎながら学び楽しむことができるようにする。同時に地域の交流拠点にする。管理は③と同様。 ③外環道のまわりの街作りのひとつとして、多摩堤通り沿いに「道の駅」を開発して、それに併設するかっこうで展示センターを開く。道の駅を利用する不特定多数の人に訴求する効果があるだろう。管理は道の駅に出店する事業者に委託する。またはシルバー人材センターから派遣してもらう。
4	①殿山（トネヤマ）の名称を定着させるため、外環東名ＪＣ（仮称）を殿山（トネヤマ）ＪＣとする。又は大蔵殿山（トネヤマ）ＪＣとしたらどうですか（提案） ②名称は、殿山（トネヤマ）横穴墓群とする。（地元では、トネヤマと呼んでいる。）

	③殿山横穴墓群の 3Dデータを活用し、地元（東名ＪＣ換気施設管理塔内）に模型を設けること。 ④模型の展示場内には、横穴墓からの出土品も展示すること。 ⑤やり鉋で整形した高い技術を見学者に実感してもらうため、保存処置した 1,2 号墓の実物大（合成樹脂製で可・・・色も）を再現して展示してください。 ⑥殿山は、崖線随一の景勝地であった。それに換わる展望台の設置をお願いします。（要望） 事前説明とは異なり大きく崩されてしまった現況では、殿山の完全復元は、望むべくもないため。
5	①常設コーナーを設ける。 ・写真展示、見学会、古い写真があれば当時の原風景との比較等 ・3 次元データ（映像）の公開（横穴墓） ・出土品の展示は無理なので写真で公開（無理でなければ展示コーナー） ②殿山近くの住居跡も発掘している様ですので、 ・①と同様に写真展示、発掘状況写真 ③可能な限り、当時の生活（歴史的な部分も合せ）を表現してみる。 ・小学生などを対象に校外学習コーナーを設ける。
6	①風雨にさらされると失われるので説明・解説物が必要。 ②当該物は記紀の時代らしいが、文字資料はなくとも場所的・時代的位置付けが（つまり 4 次元（4D）的に）わかるような施設があるとよい。特に都と区とに別れないように互いにデータが比べられるようにして下さい。
7	①貴重な古墳は、現地で見る必要がある。 少なくとも一基は現場保存をして、中に入れないまでも外側から古墳内部が俯瞰できるように、通路を含めて整備すること。 ②出土資料、全体写真（喜多見地区から見た全体写真）、現地の古墳から見た喜多見地区写真と古墳内部の 3D映像を見学できるように資料館を整備する。資料館は無理でも、資料室を整備すること。 また、資料館（室）では、その時代の体験が出来るような場の確保、指導員の育成・配置が必要。 ③区内小学校、中学校の教材としての活用、及び市民への開放を考えること。その際に、説明案内できるボランティアを区民から募集し、説明できる人材を育成するための講座を開催すること。
8	①東名ジャンクション（仮称）を殿山（とねやま）遺跡ジャンクション

	とネーミングしてほしい。 遺跡発掘の前、ここは多様な生物、野鳥や昆虫が生息する小山であった。地域の古老は「とねやま」と呼び、水田作業の合間に手を休め、見上げる小山でであったと聴く。江戸時代からすんでいる地域の人々は、この里山を大切にし、副葬品もあらされること無く残っていることから、聖なる禁足地であったに違いない。 ②近年のそういった経緯があること、国分寺崖線の森と湧水の里山の麓、縄文から幾多の時代を経て、人々がいかに暮らしやすい場所であったのかがわかるように、伝えられる方法を考えていただきたい。 ③田直遺跡、下野田遺跡も発掘され、これらは発見された場所にできるだけ即して、展示されるとよい。 ④今後も、ここで暮らしてゆく立場から、未来の住環境の向上にも寄与する、緑の空間とともに、展示できないだろうか？ 暮らしやすかった大地を改変してしまうことに対し、自然や祖先への畏敬の念を忘れず、理念に組み込んでほしい。 ⑤見学会には多くの小学生も訪れた。 教育的利用に際して、見学した小学生に、どんなところに興味を持ったか？感じたことは？疑問は？などのアンケートを実施してはどうか？ ⑥検討会有識者委員に、世田谷区で発掘調査し見学会でも解説をされていた宇奈根考古学資料室の寺田氏をいれてはいかがか？ ⑦「上部空間利用検討ワークショップ」の時点では、遺跡の存在が明らかになっておらず、素案をまとめてからの発掘である。まったくの情報不足であった。素案をまとめることが早すぎたのではないか？再度遺跡の情報とともに、住民と専門家を交えてのワークショップを行うことを希望する。 ⑧議事録が公開されており、ありがたいが、発言者の名前も載せていただきたくお願いいたします。
9	①子供達の教育の場（野外）になる様な施設にして頂きたい。 ②高台の場を利用し、世田谷の展望台などを造りその入り口又は側に花などの（野菜等）含め東京みやげとして売れる場所があれば幸いと思います。
10	①東京には道の駅が一つあるだけ。東京への入口、出口になるこのジャンクションに道の駅を作ってほしい。 ②殿山横穴墓は是非残してほしい。 ③木を植え、展望台を作ってほしい。この高台は多摩川を見下ろすこと

	ができる。富士山、そして喜多見、狛江～六郷辺まで見わたせる。絶景の場所である。そうすれば泣き泣き立ち退いた人達も喜んでくれる事と思います。 ④将来の為に、今出来る事は、やってほしいです。
11	①現在、現地の隣地にある田直し公園を含め殿山遺跡公園として整備してほしい。その際、田直し公園側崖線に、又は南側斜面に殿山横穴墓群の実物大模型を作成展示してほしい。（壁面に製作） 特に南面は東名高速を東京方面に走行時、多摩川を渡る頃から前方にそびえ立つように見え、大変目立つので多面的効果が高いので、世田谷区ひいては東京のＰＲになるような文化的歴史的レベルの高い、良い物にして頂きたい。墓群の壁画のようなイメージが良い。横穴墓群の他にも近くの大蔵地区から発見されている遺跡（住居跡）も一緒に展示できないだろうか？検討をお願いしたい。 ②この地域の歴史館のようなものも併設したい。 どのくらい前の時代から人が住んでいて、どのような生活をしていたか興味深い身近な遺跡から想像される事象を後世にしっかり伝える施設は現地にあっていつでも子どもから老人までが気楽に立ち寄れる施設であってほしい。 ③又何代も前の祖先から引き継がれ大切に守られてきた農地を外環の建設のために収用された農家の思い、外環が建設される前の現地の様子これまでの経過などを後世に伝えるべく、「外環記録館」も一緒に建設されるとありがたい。 ④いま外環が建設されている時、行政に携わる方は、区長さんから現場の職員さんまでこのことを（外環建設のいきさつ、経過を）後世に伝える大きな責任があると考えていますので、しっかり取り組まれてください。

資料5

検討のための活用事例

平成２８年１１月
「東名ジャンクション（仮称）」
殿山横穴墓群に関する活用検討会
（第２回）

遺跡の活用の目的について

○教育的･文化的な活用

○遺跡の文化遺産としての価値を理解し、地域の歴史的･文化的な財産として伝えていく

○歴史教育や地域教育の身近な教材として活用していく

○地域のための活用

○遺跡という地域の文化遺産を通じて地域の活性化を図る

○遺跡をシンボルとしたまちづくりを進める

○教育的・文化的な活用

1. 現地での活用

○事例
(1) 案内板･解説板等の設置
(2) 付近での展示･案内等

2. 出土品の活用

○事例
･郷土資料館での展示･公開
･写真･レプリカ等を活用した展示

3. 3Dデータの活用

○事例
･ＶＲを活用した解説番組の作成･公開

4. 教材としての活用

○事例
･リーフレット･解説シートの作成
･ホームページ等のITCによる情報提供
･動画による解説番組の作成
･学校授業での活用

1－(1)．案内板・解説板等の設置

横穴墓の現地標示とモニュメント（大田区鵜ノ木）

新東名　藤枝PA(上)　遺跡案内板
（寺家前遺跡/衣原古墳群・衣原遺跡・衣原古窯群）

1－(2)．現地での活用

ITガイドとは？

タブレット端末を用いて、遺跡の発掘調査当時の様子などを映像、画像、音声などで解説します。日本語と英語に対応しています。

遺跡内では、縄文時代のVR（ヴァーチャル・リアリティ）体験と、発掘調査時の詳細な解説を受けることができます。
タブレットは各地点と連動しており、遺跡を歩くと様々なVRを楽しむことができます。

遺跡の現地ガイド（青森県三内丸山）

現地でのITを利用した展示・公開

タブレットで大名館鑑賞
朝倉氏遺跡、実証実験開始

福井市の一乗谷朝倉氏遺跡内で、かつての戦国大名の館などがタブレット端末の画面に登場するシステムの実証実験が３日、始まった。端末は１１月２９日までの土、日曜と祝日に観光客に無料で貸し出す。市は「遺跡の魅力を深く知ってもらい、リピーターを増やしたい」と期待している。

市が県の支援を受けて展開する「史跡電脳復原事業」で、来年４月から遺跡一帯の観光案内に本格導入する。一部のコンピューターグラフィックス（ＣＧ）は未完成ながら、大型観光企画「北陸デスティネーションキャンペーン」が始まったことに合わせ、観光の呼び水にしようと実証実験をスタートした。遺跡のシンボル的な存在の「唐門」周辺での案内に役立てる。

唐門や館跡に端末をかざしてスイッチを押すと、案内音声とともに、ＣＧを駆使した建物の画像などが登場。場所によって、実写の山々を背景に館が浮かび上がったり、空中から見下ろした建物群の動画が流れたりと、変化に富んだ往事の姿がデジタル技術で再現される。

実験では５台のタブレット端末を用意、訪れた人たちに貸し出す。早速端末を借りて遺跡を散策した勝山市の男性（６５）は「臨場感があって良かった。ほかの観光地にも導入するといい」と満足そうだった。

市では「今回の実験を踏まえ、使った人の意見も取り入れて改良につなげる」としている。来春の本格導入時には４０台のタブレット端末を準備するという。

遺跡の現地ガイド（福井県朝倉館跡）

2．出土品の活用

野毛大塚古墳出土品の展示

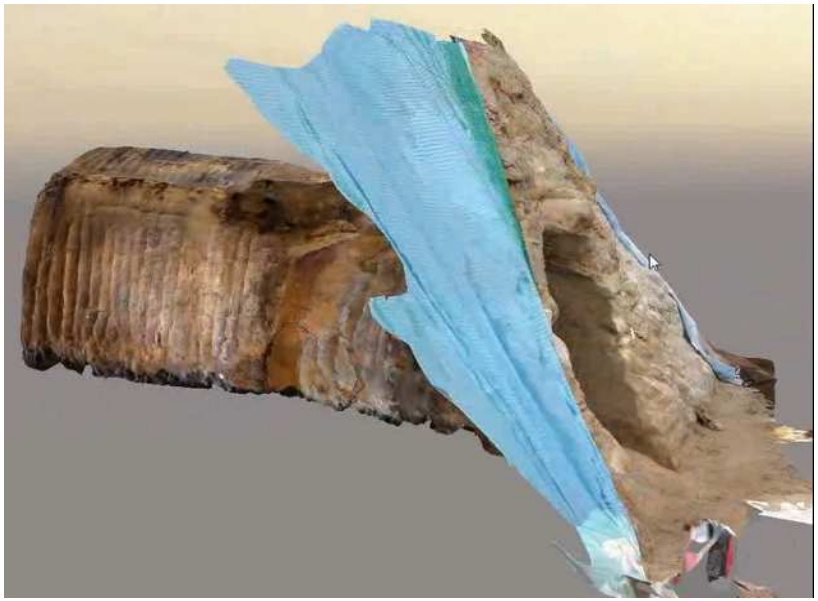
野毛大塚古墳　石棺のレプリカ展示

切り取り保存･レプリカ･出土品等の展示･公開
(世田谷区立郷土資料館)

不動橋横穴墓　壁画の保存･展示

3．3Dデータの活用（1）

3Dデータの活用例（ＳＦＭ画像解析による3次元形状の復元）



3．3Dデータの活用（2）

ホームページによるＶＲの活用例（福岡県小郡市）

小郡バーチャル見聞録 VRパノラマギャラリー

このギャラリーでは、資料空間を、上下左右360度好きな方向に向け仮想体験することができます。

操作方法

- VR パノラマ画像を開き、画面を左クリックしながら上下左右にゆっくり動かして下さい。
- 上下左右360度、見たい方向に動かすことのできるフルパノラマ画像で資料をご覧になれます。
- 音声ナレーションが流れますので、必要のない方は、VR画面上の音声マークをOFFにするか、パソコンのスピーカーをOFFにしてください。

VRパノラマギャラリー

遺跡名 旅籠油屋

フリガナ ハタゴアブラヤ

時代 江戸時代

資料解説 松崎宿にある旅籠油屋は、幕末に建てられた大型の旅籠で、棟を分けた「主屋（オモヤ）」と「座敷（ザシキ）」からなります。主屋には一般の旅人を、座敷には身分の高い賓客（ヒンキャク）を泊めていたようです。西郷隆盛が宿泊したという言い伝えが残っているほか、乃木希典が昼食に立ち寄った記録があります。

VRパノラマギャラリー

遺跡名 花立山穴観音古墳

フリガナ ハナタテヤマアナガンノンコフン

時代 古墳時代

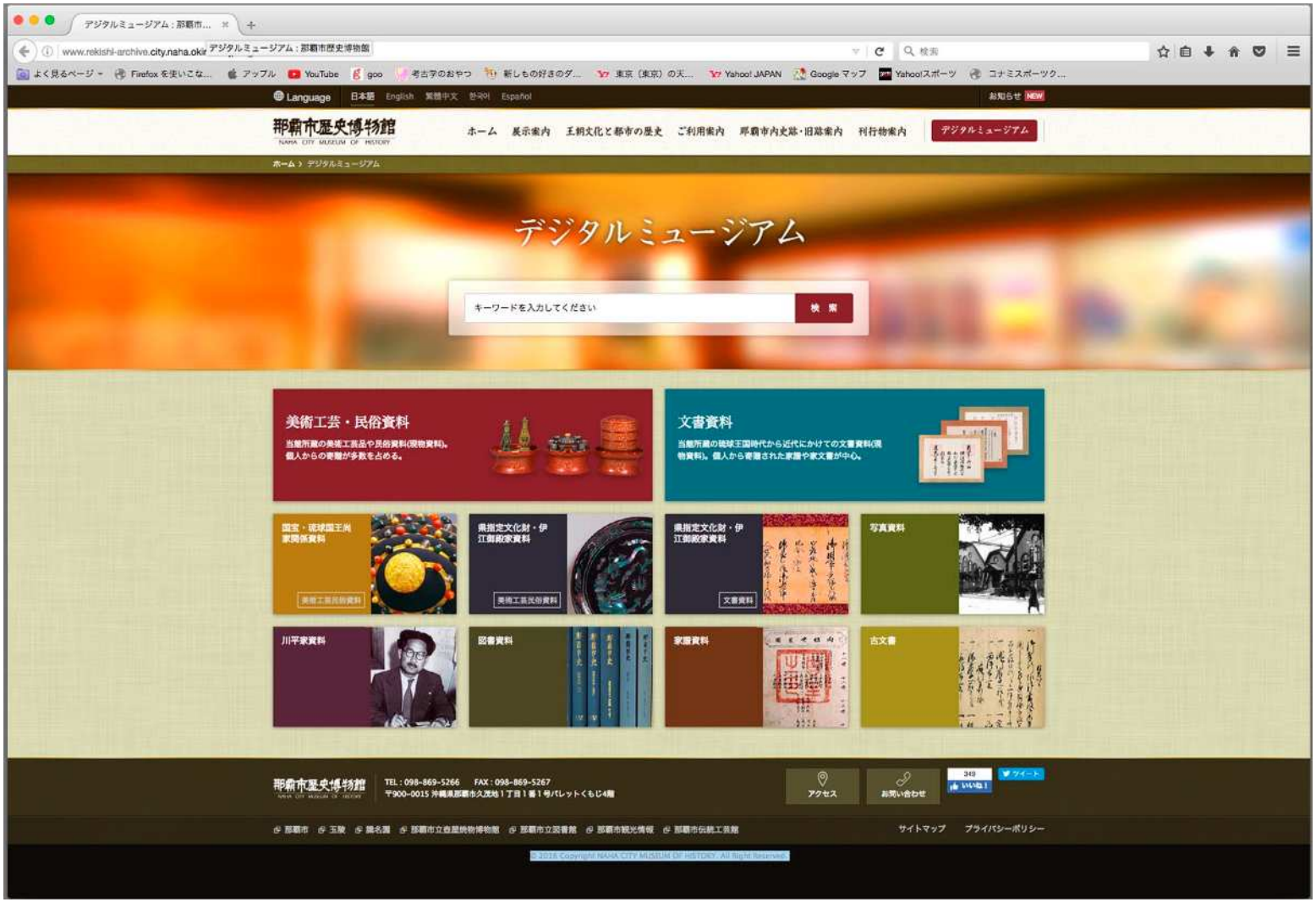
資料解説 花立山穴観音古墳は、300 基を越す花立山古墳群のうちの唯一の前方後円墳です。石室は全長11mの大型のもので、死者を埋葬する玄室（後室）の壁面や袖石などに斜格子を中心とした線刻が見られます。

4−(1). リーフレットの作成

リーフレットの製作（世田谷区野毛大塚古墳例）

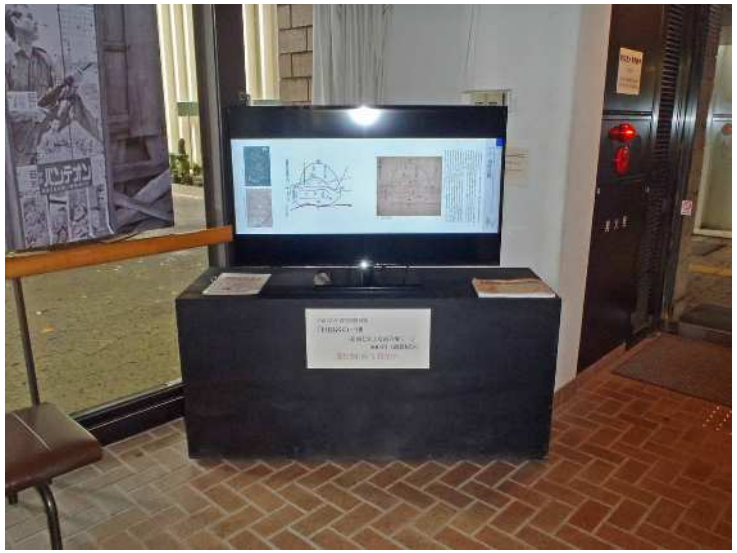
4－(2)．ホームページ等のＩＣＴによる情報提供

デジタルミュージアムの活用（那覇市歴史博物館）



4ー(3・4)．学校授業での活用、動画による解説番組

小学校歴史文化特別授業（世田谷区教育委員会）



動画の公開・展示（世田谷区立郷土資料館）

○地域のための活用

1. 地域での展示解説などの活用

○事例
(1) 案内板・解説板等の設置
(2) 上部空間や既存施設を利用した地域での出土品の展示施設の整備
(3) 周辺小・中学校などでの展示

2. 地域振興としての活用

○事例
・遺跡をイメージした施設整備
(公園・外環関連施設　等)
・遺跡をイメージした商品などの開発や販売
・横穴墓群に関するイベントの開催

1-(1). 案内板・解説板の設置

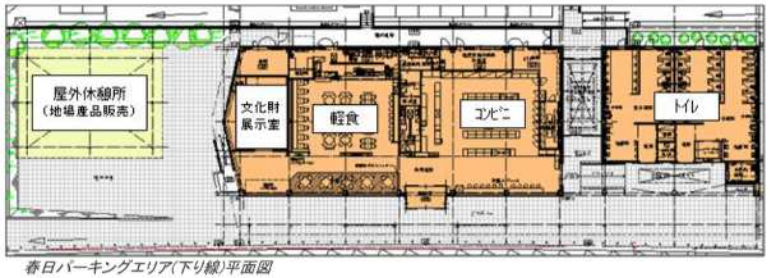
京都府私市丸山古墳　解説板設置例

殿山横穴墓群　現地解説板（イメージ）

1-(2)．上部空間や既存施設を利用した地域での出土品の展示施設の整備

宮城県利府町春日パーキングエリア

春日パーキングエリア(下り線)



春日パーキングエリア(下り線)平面図

春日パーキングエリア内

展示室前

展示室内

1-(3). 周辺小・中学校などでの展示

出張！駅ナカ博物館

平成28年8月13日と14日に甲府駅構内で「駅ナカ博物館」を開催しました。
普段は、博物館でしか見られない土器の展示や縄文土器を触るコーナー、拓本&しおりづくりコーナーなどのブースを2日間にわたって甲府駅で開催しました。
たくさんの方が足をとめて、山梨の縄文土器を観ていって下さいました。

拓本体験のようす（左）
顔出しパネルでの記念撮影（右）

土器見学のようす（左）
土器を触ってみようで、本物の土器に触れる（右）

駅ナカでの展示　（山梨県埋蔵文化財センター）

小学校での展示　（世田谷区教育委員会）

2-(1)．地域振興としての活用

豊島区立南池袋公園でのかつての雑木林をモチーフにした壁面

○フェンスやベンチなどの工作物のデザインに
　遺跡のイメージを採用する
○遺跡をテーマにしたイベントの開催
○遺跡をモチーフにした商品の開発･販売　など

2-(2)．地域振興としての活用　　但馬のまほろば（道の駅）

歴史文化と地域物産の交流ステーション

道の駅「但馬のまほろば」は但馬の玄関口に位置し、歴史と緑豊かな自然を感じることができる交流拠点です。近くには西日本最大級の円墳「茶すり山古墳」があり、柿坪遺跡の建築物を再現したモニュメントや古墳時代の古代政庁をモチーフとした、歴史を感じさせるデザインになっています。施設へは上り下りとも利用でき、一般道からも利用可能です。お食事やお土産、ご休憩など、但馬の旅の「交流と憩いの場」として皆様のお越しを心よりお待ちしています。

朝来市埋蔵文化財センター

隣接した朝来市埋蔵文化財センター「あさご館」では、自動車道整備に伴う遺跡調査により発掘された貴重な埋蔵文化財を保管、展示しています。また、土器づくりや勾玉づくりなどの体験コーナーもあり、古代の生活や文化を家族そろって楽しんで学べるミュージアムです。

【開館時間】9:00～17:00（入館は16:30まで）
【休館日】月曜、祝日の翌日

2-(3)．地域振興としての活用　　野毛古墳まつり

第9回 野毛古墳まつり

玉川野毛町公園内にある野毛大塚古墳、真上から見ると帆立貝の形をしていて、
帆立貝形の古墳としては「日本最大級！」
この貴重な古墳を、たくさんの皆様に知っていただき、大切に保存していくために、
今年も「野毛古墳まつり」を開催します。当日は楽しいイベントが盛り沢山！
ご家族で、お友達と、またおひとりでもお気軽にご来墳ください！

全長 82m

会　場　：　野毛大塚古墳（野毛１丁目２５番　玉川野毛町公園内）
日　時　：　平成28年10月16日（日）　10時～15時30分（小雨決行・荒天中止）
交　通　：　東急大井町線「等々力」駅下車　徒歩１０分
　　バス（田園調布～千歳船橋）「野毛公園前」下車

イベント内容

野毛大塚古墳と古墳群解説

野毛大塚古墳と周辺の古墳群について解説します。
◆解　説：世田谷区学芸員
◆時　間：１０時３０分～１１時
◆受　付：総合案内にて

野毛古墳群散策

野毛大塚周辺の古墳群を歩いて解説します。
野毛大塚古墳→等々力渓谷横穴墓群
　→御岳山古墳→獅塚古墳（当日変更の場合有）
◆解　説：世田谷区学芸員
◆時　間：１３時３０分～１５時３０分
◆受　付：１３時から総合案内にて受付
　　※先着３０名程度

古代体験コーナー

「ミニ土器づくり」や「勾玉づくり」を通して古代の暮らしを体験してみよう♪
◆講　師：昭和女子大学歴史文化学科、世田谷区
◆時　間：１０時～１５時３０分
◆受　付：当日会場へ

古代食を味わう

古代スープ、古墳クッキーの調理実演と試食を行います。
◆時　間：１１時３０分～１３時３０分
◆実　演：昭和女子大学歴史文化学科、世田谷区

町会・商店街・青少年交流センター

屋台が出マス！
◆時　間：１０時～１５時３０分

紙風景コーナー

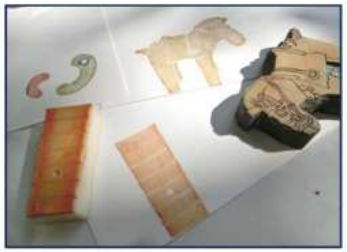
◆時　間：１０時～１５時３０分　　◆随時受付
◆古代をテーマにした紙工作に挑戦してみよう！

展示「野毛古墳群埴輪の生産と供給」

◆時　間：１０時～１５時３０分
◆ご自由にご観覧ください。

古墳にコーフン協会コーナー

古墳消しゴムはんこ押し放題！古墳グッズもあるよ！
◆時　間：１０時～１５時３０分　　◆随時受付



協　力：野毛地区町会　昭和女子大学歴史文化学科　等々力商店街振興組合　　【再生紙を使用しています】

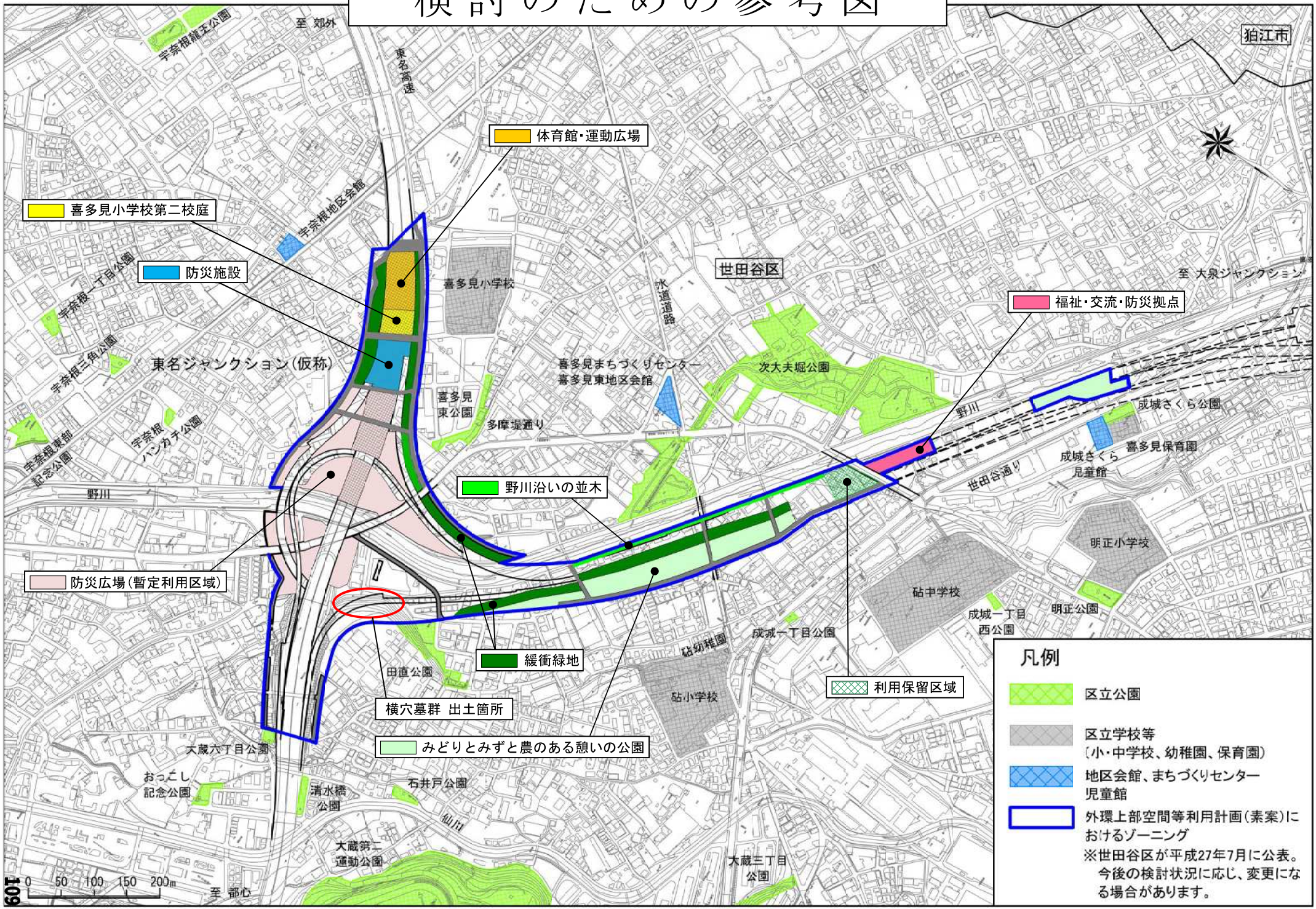
資料 6

検討会のスケジュール（予定）

平成 28 年	7 月　14 日（木） 18：00～20：00	第 1 回検討会
	11 月　17 日（木） 15：00～16：30	第 2 回検討会
平成 29 年	1 月　下旬	第 3 回検討会 （検討内容のとりまとめ）

参考資料1

検討のための参考図



参考資料 2

「東名ジャンクション（仮称）」
殿山横穴墓群に関する活用検討会

とりまとめ（イメージ）

平成 29 年　月

参考資料 2

目　次

1　検討の背景・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

2　検討の対象・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

3　検討の経過等
(1)委員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

(2)検討会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

4　検討の結果（活用の方向性のとりまとめ）
(1)　教育的・文化的な活用
①現地での活用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
②出土品の活用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
③3Ｄデータの活用　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
④教材としての活用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

(2)地域のための活用
①地域での展示解説などの活用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
②地域振興としての活用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

(3)その他の活用

参考資料 2

4　検討の結果（活用の方向性のとりまとめ）

(1) 教育的・文化的な活用

①現地での活用

②出土品の活用

③3Dデータの活用

④教材としての活用

(2) 地域のための活用

①地域での展示解説などの活用

②地域振興としての活用

(3)その他の活用

4　議事概要（第 2 回）

「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会

第 2 回　議事概要

1　日時及び場所
日時：平成 28 年 11 月 17 日（木）15：00～17：00
場所：東京外かく環状国道事務所　喜多見 7 丁目常設会場

2　出席委員（敬称略）
有 識 者：中野恒明、阿部伸太、小泉玲子、砂金伸治
区　　民：中川清史、荒川和茂、八木孝夫
世田谷区：桐山孝義、青山雅夫、工藤郁淳
事 業 者：佐藤眞平、安原正幸、野坂光弘

3　傍聴者数
7 名

4　会議の概要
（1）第 1 回の振り返りについて
第 1 回検討会における活用に関する主な発言（抜粋）について、事務局より説明した。

（2）活用について
①資料 4 に基づき、殿山横穴墓群に関する活用アイディア募集の結果について、事務局より説明した。
主な発言は以下のとおり。
○活用アイディアの応募者の属性について、年齢等の情報はないが、ほぼ近隣にお住まいの方からである。
○応募されたアイディア募集を参考に自由にご発言いただきたい。
○応募された活用アイディアについては、現時点で実現可能性まで検証することを想定していない。
②資料 5 等に基づき、検討のための活用事例等について、事務局より説明した。

（3）議事について
①次第に基づき「活用方法」について、議論がなされた。
主な発言は以下のとおり。
○現場で何かしらわかるという状態、レプリカという意味ではなくて、ここにそういう空間があったという空間作りがされると良い。
○遺跡の情報パネルの展示、写真の展示、リーフレットの設置などを例えば、学校

などの教育機関など既にある施設をうまく利用して、教育的な情報提供をするのが、現実的で良い。
○展示については、郷土資料館ではなく、やはり地元でされると良い。
○地元で活用できる場所を探していく方法もある。
○例えば体育館施設もできるようなので、そこに展示できる可能性もある。この中で無理であれば、近くの公共施設の一角に展示施設を作るという考え方もある。どの施設を利用するかは先の話だと思う。既存施設を使って、展示するという形がある。
○人口 90 万の世田谷区として、郷土資料館が区内に 1 箇所しかないのは、地域性を反映していなさすぎる面がある。本来であれば、この地域になんらかの展示施設があればいいが、箱物はむしろ減らすご時勢だし、維持費のかかる施設をここに作れるのかという議論が次のステップで必要だ。
○遺跡を残せないならレプリカという発想はあるが、レプリカは維持管理がとても大変で、人手と費用がかかることがどこの自治体でも抱えている問題としてある。レプリカではなく地域の方々が、歴史を学べるような、実現可能な活用方法を探れると良い。
○維持管理に費用のかからない方法での屋外展示などが良い。また、3Dの画像があるので、そちらを極力使った方が良い。
○横穴墓群のレプリカやそれに類似するものについては、検討から外しても良い。本来であれば、17 基の横穴墓群を残して欲しかったが、なくなってしまった今となっては、3Dの活用という形で後世に伝えていくのが良い。
○（資料 4 の 2 の（1）にある）3Dデータの活用は、十分可能だと回答があった。
○（資料 4 の 2 の（1）にある）模型については、原寸大はありえないので、作るなら何分の一かの模型になるが、それを作る意味があるのか。寧ろ良い写真が残っているので、写真を見せる方が良い。
○（資料 4 の 2 の（1）にある）地元に展示するという事に関して、本来、文化財の保存展示ということからすると、出土した場所に極力近いところ、同じような条件のところに、展示をするのが基本原則なので、今回の事業の中及び区が管理する田直公園の辺りの中で、なるべく現地に近いところで屋外展示をするなどを検討したらどうか。例えば、タイルのようなものに写真をプリントし、コンクリートで作ったパネルにタイルを設置する。17 基の写真を大小さまざまなパネルにすることが可能だ。
○（資料 4 の 2 の（1）にある）上部利用空間の公園は発掘場所から結構離れている。田直公園の方が、近そうである。ランプの法面が開放されるか公表されてないが、開放されるなら法面に管理用通路を作って、下まで歩いて行けるのであれば、どこかに展示するのは選択肢としてありうる。展示場所はこの検討会では結論は出せないが、なるべく現地に近いところ、分かりやすい位置に分かりやすい展示をすることが良い。
○（資料 4 の 2 の（1）に）見学できる資料館または資料室とあるが、場合によっ

ては小学校やインターネットでというのもある。

○（資料４の２の（1）にある）横穴墓群の出土品は風化してしまうので説明・解説物が、とあるが、前回、パンフレット、インターネット、公園の中での展示などに解説をつけるなどいろんな方法があると発言があった。

○（資料４の２の（1）にある）写真・データ・見学会の様子ということだが、写真パネルにして展示するという方法がある。

○（資料４の２の（1）にある）3D・ＤＶＤというのは、十分可能だと回答をいただいている。

○（資料４の２の（1）にある）小学生などを対象に、当時の生活を表現した校外学習コーナーを設けるとあるが、出土場所の近くで何か展示ができれば良い。

○（資料４の２の（1）にある）小・中学校の教材としての活用も、前回、あると良いと発言があった。

○管理面やセキュリティーの面から近づけない部分もあるかと思うが、換気塔の周辺などを少し広場的にしたり、簡素でも施設を入れたりすることで、公園区域以外にも、展示場所をうまく見つけることができる。少し柔軟性を持って検討されたほうが良い。

○現地に近いところで、そこにあったことがわかるように、風化を避けられるようなパネルの展示があると良い。

○高速道路付近は、安全面から一般的には網目の立入防止柵を設ける。上部空間としての利活用に関する開放の仕方は、これからの検討になるが、高速道路上に人が安易に立ち入れると問題になるので、境界線をどこに持ってくるかは、今後、議論する。

○区画している壁面に、17 基の横穴墓を原寸大でプリントして、この先にあったとわかるような工夫ができないか。縮小するとイメージが伝わりにくいので、壁面が多くありそうなので、17 基あったという壮観な景色をできれば原寸大で再現できると良い。

○田直公園から横穴墓周辺のランプの法面を部分的に開放し、そこに通路を設け、何らかの展示が可能になると良い。ただせっかくなので、いくら展示物であっても、雑草にうずもれる場所には置きたくない。ある程度、人が自由に入れて、安全でかつ人通りのある場所に置くと良い。

○ランプの法面の開放ができなければ、せめて 17 個の銘盤を埋めて、地元の子どもたちが、離れたところの展示パネルを見ながら、どこにあったか探せる分かりやすい展示方法ができると良い。

○換気塔の周辺には、大きな立坑もあり、両者を管理する施設が必要である。今現在、詳細設計中である。有効活用は難しい面があるが、検討はしていきたい。

○Ｇランプの法面に銘盤をおくと、東名高速の利用者からも、西側の道路の利用者からも見えるので、理想的である。

○副葬品の展示は、保存する必要があるので、管理ができるところになる。ただ、地元の要望としては、展示施設が欲しいということで構わないが、できるかどう

かは、文化財行政をどうするかによるところもある。場合によっては、小学校や教育施設が良い場合もある。

○出土品のレプリカの展示は、意外と費用がかかる上に、ＦＲＰなどで作るので、本物と質感が違うものになる。また、時間の経過とともに、陳腐化する。

○地元の学校での展示を考えると、砧小学校が全面改築なので、展示スペースを設計に組み入れてもらうと良い。

○改築に併せた展示スペースの確保については、とりまとめに記載があれば、区の関係所管が可能性を検討するので、現時点では、結論は出せない。議論があったことは事実なので、とりまとめに含ませ、しっかりと繋いでいくことが重要だ。

○剣など錆びるものは、現物ではなく写真の方が良い。須恵器や陶器類を現地に置くかは今後の判断だと思う。

○ジャンクションの名称には、「殿山（とねやま）」と入れてもらいたい。

○上部利用計画とは別に検討すれば良いと思うが、この検討会では、参考資料 1 の事業区域内の白地部分で、開放できる法面とかがあれば、極力地元に開放して、殿山緑地などと名称をつけるのも良い。道路管理者と地元と地域住民が協力して管理することで、管理者も地域住民もメリットがあるので、検討して頂きたい。

○ジャンクションの名称の決め方は、市町村の名称を用いることが原則となっている。決定までの具体的な流れは、高速道路会社と自治体で協議し、名称の案を決定した後、国の機関の審査を経て、決定されるという流れになっている。
また、高速道路の利用者がパネルを見られるようにというご発言があったが、利用者にとっては、標識の視認は非常に緊張感を伴うものであるので、できるだけ標識は減らす配慮なども考える必要がある。

○換気塔の側面を使いたいというのは、開放されるのであれば、足元の広場を活用したいということである。換気塔広場は世界中にあり、その方が管理者としても管理しやすいというのがある。広場的な価値があれば、パネルを置けば良いというご意見があった。換気塔周りの白地部分の設計が進めば、早めに区に開示していただくと良い。

○（資料４の２の（2）にある）田直公園を含めて殿山遺跡公園として住居跡と一緒に整備しとあるが、住居跡が横穴墓群と同じ時代ではないようなので、実物大模型が贋物っぽくなると思うので、少し注意が必要だ。思いは、歴史的な物をここに留めておきたいとか横穴墓があったことを分からしめる物が欲しいということだと思う。

○（資料４の２の（2）にある）地域交流や学びの場とするオープンカフェを併設したミニミュージアムについても、収益の問題、維持管理の問題があるので、今回の議論からはずし、ミニミュージアムを屋外展示のパネルに置き換えて検討したい。

○（資料４の２の（2）にある）道の駅を整備し展示スペースを設けるというのは、今回の議論の中では、道の駅は難しいという認識をしたい。

○（資料４の２の（2）にある）未来の住環境の向上にも寄与する緑の空間という

のは、今後、法面の修景や開放について、事業者と区とで協議し、必要によって住民の意見を聞いていただきたい。

○（資料４の２の（3）にある）東名高速道路や外環道のランプの壁面に横穴墓群の全容が分かる写真パネル等を設置するというのは、これまでの議論のとおり、近傍に写真パネル等を設置することとしたい。

○（資料４の２の（3）にある）ジャンクションの名称については、ご意見として承ることとしたい。

○出土品や横穴墓そのものの活用ではなく、横穴墓群が出てきたという事実を活用する方法もある。

○パネルの展示にあたり、解説に、横穴墓が眠っているという可能性があることも含めると、地元の小学生や地域の人の誇りに繋がると思う。

○客観的に事実だけを示すのではなく、眠っているというロマンのある展示ができると良い。

○ネーミングライツなど手法で企業名を施設につけてもいいなら、スポンサーを探して、空調管理した施設を作ってもらい、精度の高い３D映像、出土品、周辺部分の崖線の解説などを展示するということもある。

○外環事業におけるトンネルの技術力は、諸外国もかなり興味を持っている。こうした技術力の発信とともに、殿山横穴墓群の内容を発信すると良い。

②次第に基づき「とりまとめ」について、議論がなされた。

主な発言は以下のとおり。

○応募された活用に関するアイディアは、参考とするだけではなくて、とりまとめに反映する形が良い。

○とりまとめにあたり、活用方法の実現に関する財源や誰が負担するのかは決めておく必要がある。財政的な裏づけがはっきりしないと、素晴らしい提言がまとまったとしても、実現に至らない懸念がある。

○この検討会としては、実現の可否の議論ではなくて、活用の方向性をまとめるのが重要かと思う。

○検討会のとりまとめを区や外環事業者が受け取った後に、具体的にどう活用するのかはその後のステップだろうと考えている。最初からできるできないを縛ってしまうとなかなかいいアイディアが出てこないと思う。

○外環道の計画段階で、国にここに遺跡と地下水があるのは伝えていた。それを承知で、事業決定をしたのだから、活用に関する予算も含めて計画されたものと地元の皆さんはお考えだと思う。

○地元の方は、事業に協力しているのだから、外環事業者は検討会が終わったからあと知らないと言わないでくれというご趣旨だと思う。その趣旨をぜひご理解いただき、外環事業者もご協力いただきたい。

○第１回の活用検討会では、レプリカではなくてむしろ、維持管理のかからない屋外展示や３Dの画像を極力使ったほうが良いとのことだった。

○展示場所については、発掘場所から近いところを原則とすると検討会はまとめたい。

○地元の要望に配慮し、極力地元に近いところで、なおかつ地元の小学生が教育上利用できるところや小学校で展示できるものは極力、映像展示も含め小学校での展示を検討するとまとめたい。

○外環事業者や区の中でも、文化財だけでなく公園、教育などいろんなセクションがそれぞれ財源確保に努めるよう、とりまとめに含めると良い。また、民間活力を活用する方法もある。財源不足により、陳腐なものとなってしまったり、実現できなくなってしまうのはもったいない話である。

○とりまとめの趣旨を踏まえて、お互いの立場でしっかり持ち帰り、しかるべき責任所管に繋げることが大事である。ここで議論したという記録は間違いなく残るから、それぞれの立場で持ち帰って、誠実に整理し、実現に向けて努力できることを見極めて、実現するべきである。

○観光客がたくさん来るところや都市部であれば、広告宣伝効果があり、イベントで集客できて収益が上がるので、とりまとめに民間活力の活用と書いてもいいが、今後の話からすると、もう少し慎重に議論した方が良い。

○とりまとめから具体的な活用までは、数年程度の時間があると見込んでいるので、財政的な面は十分議論できると思う。

○次回までに、とりまとめの座長案を事務局と調整するので、座長、副座長にご一任いただきたい。

以上の発言を踏まえ、とりまとめ（座長案）を作成し、第 3 回活用検討会で議論することとされた。

（4）その他

第 3 回活用検討会（1 月下旬予定）の日程について、事務局より連絡した。

5　第 3 回(平成 29 年 1 月 24 日)

第 3 回　「東名ジャンクション（仮称）」
殿山横穴墓群に関する活用検討会

次　第

平成 29 年 1 月 24 日（火）午後 2 時から
喜多見 7 丁目常設会場

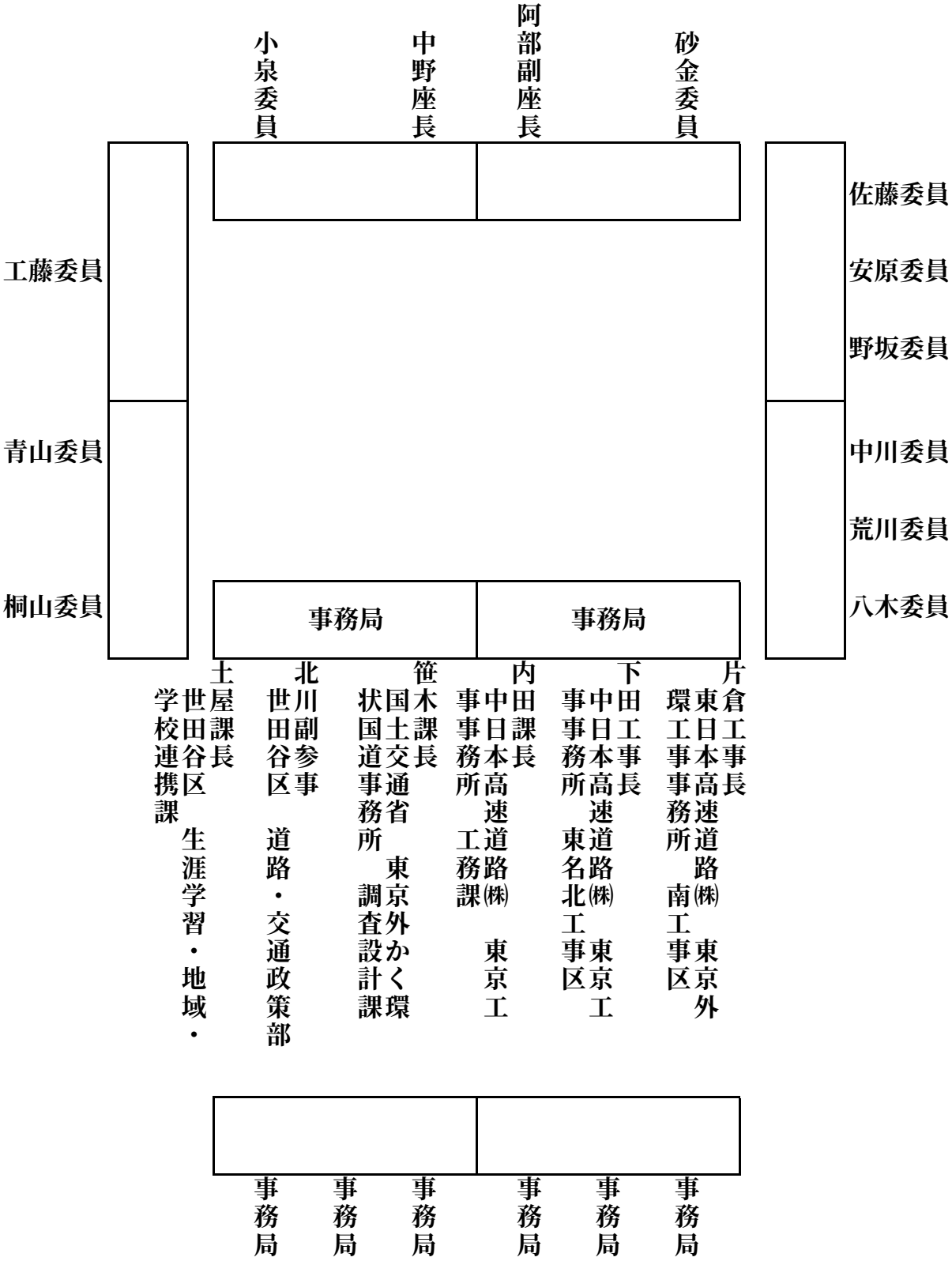
1　開会

2　議事
（1）とりまとめ

（2）その他

3　閉会

第3回　「東名ジャンクション（仮称）」
殿山横穴墓群に関する活用検討会
席次表



第３回「東名ジャンクション（仮称）」

殿山横穴墓群に関する活用検討会

資料一覧

＜資料＞　　「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会とりまとめ（案）

資料

「東名ジャンクション（仮称）」
殿山横穴墓群に関する活用検討会
とりまとめ（案）

平成 29 年 1 月 24 日

目　次

1　とりまとめまでの経緯・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

2　活用の方向性
（1）遺跡の伝承・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

（2）出土品の展示・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

（3）3DデータとＩＣＴの有効利用　・・・・・・・・・・・・・・・・・4

（4）教育資料の提供・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5

（5）外環（周辺）施設などとの連携・・・・・・・・・・・・・・・・・5

（6）地域の魅力の発信・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5

3　活用の具体化にあたって・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6

《参考資料》
（1）委員名簿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7

（2）検討の経過・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8

（3）委員から発言された活用アイディア例・・・・・・・・・・・・・・8

1　とりまとめまでの経緯

東京外かく環状道路は、関越道から東名高速までの約 16㎞ について、国土交通省、東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社が、住民の理解と協力を得ながら、事業を推進している。

こうした中、東名ジャンクション（仮称）予定地では、平成 27 年 6 月に 2 基の横穴墓、同年 7 月に 15 基の横穴墓が相次いで出土し、世田谷区教育委員会と東京都教育委員会の指導に基づき、それぞれ発掘調査された。

同年 10 月 20 日に東京都教育委員会は、外環事業者に対し、発掘調査終了、調査地の引き渡し及び工事に着手して差し支えない旨を通知し、外環事業者は、工事を再開している。

一方、地域住民などから殿山横穴墓群の保存などを求める要望や殿山横穴墓群を地域の街づくりのシンボルにすることを求める陳情が世田谷区や世田谷区議会に出された。また、世田谷区は、殿山横穴墓群を地域の教育的・文化的資源として活用したいと外環事業者に要望した。

こうした経緯を踏まえ、有識者、区民、世田谷区、外環事業者を委員とした「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会を設置し、外環事業者が取得した横穴墓の三次元データなどを含む殿山横穴墓群に関する活用の方向性を検討することとなった。

本検討会においては、まず、外環道事業のこれまでの地域との話し合いによる線形変更の経緯や追加買収による地元の方々への新たな負担を鑑みると、再度線形変更することは現実的でないことから、横穴墓群の現地保存が難しいことを確認した。

また、横穴墓群の移設や実物大レプリカの製作は、水分がなくなると脆くなるという土の性質、更に横穴墓は崖面に掘り込んで作られる点に特徴があることから、現物の土を用いた実物大レプリカではなく、3Dデータ、写真、映像などの活用を検討することが望ましいことを確認した。

その後、区民から活用アイディアを募集するとともに、具体的な活用事例なども踏まえながら議論を重ね、3 回の検討会の中で、6 つの活用の方向性をとりまとめた。

《東名ジャンクション（仮称）》

《殿山横穴墓群の出土位置》

2　活用の方向性

外環事業の進展に伴い発見された殿山横穴墓群そのものは失われてしまったが、横穴墓群が存在したという事実や出土品は、この地域の貴重な財産であることから、この歴史や財産を守り、文化財としての価値を高めていくことが必要である。また、地域の歴史や文化を示す教育的な財産としてのみならず、地域の活性化などに繋がる地域の人にとっての財産として、しっかりと後世に伝えていくことが何より重要である。

そのためには、発掘調査記録の公表に加え事業者が取得した３Ｄデータなどとともに、出土品を適切に保存・管理することが必要である。

その上で、殿山横穴墓群の発見を契機として、地域住民の郷土愛の涵養や地域コミュニティの活性化に寄与するような活用を図ることが望まれる。

検討会では、区民から募集した活用アイディアも採り入れながら、次の６つの活用の方向性をとりまとめた。今後、世田谷区と外環事業者においては、発掘調査記録や出土品などを後世に伝えられるよう、適切に保存・管理・公開するとともに、とりまとめた６つの方向性を元に、積極的な活用を図られたい。

《活用の方向性 1》
遺跡の伝承

《活用の方向性 2》
出土品の展示

《活用の方向性 3》
3ＤデータとＩＣＴの有効利用
注）ICT：情報通信技術

《活用の方向性 4》
教育資料の提供

《活用の方向性 5》
外環(周辺)施設などとの連携

《活用の方向性 6》
地域の魅力の発信

(1) 遺跡の伝承

殿山横穴墓群が存在したという事実や出土品は、地域の歴史や文化を後世に伝える貴重な財産である。

平成 27 年 9 月 25 日に実施された殿山横穴墓群の一般見学会に、専門家だけでなく子どもから大人までの 607 名が参加したことは、区民などの関心が非常に高いことを物語っている。

こうしたことから、地域住民が殿山横穴墓群を身近に感じることができるように、遺跡の銘盤や案内板を発掘場所が見える発掘場所の近傍に設置するなど、訪れた者が安全かつ自由にアクセスできる場所に、殿山横穴墓群がこの地域に存在したことを明示することが重要である。

(2) 出土品の展示

出土品の実物は、適切に温度や湿度管理ができ、セキュリティが確保された博物館施設などで展示されるのが一般的である。

そのため、出土品を地域で展示するためには、出土品のレプリカや写真などを用いて、わかりやすく詳しい解説を加えるなどの工夫を施した上で、展示することが重要である。

なお、展示する場所については、新規の施設に限定せず、既存施設の利用なども含め、様々な工夫が必要である。

(3) 3DデータとＩＣＴの有効利用

外環事業者が取得した 3Dデータを用いて横穴墓をビジュアル化し、まるでその中にいるような体感ができるという利用の仕方が魅力的である。

また、ＩＣＴを用いて、区が取り組むデジタルミュージアムとの連携や区や外環事業者のホームページでの情報提供などができることが望ましい。

こうしたことから、3DデータとＩＣＴを積極的に用いて、誰もが時と場所を選ばずに、殿山横穴墓群や出土品などの情報を得られるようにすることが重要である。

(4) 教育資料の提供

殿山横穴墓群を通じ、地域の歴史や文化を、次世代を担う子ども達に伝えていくことは、我々の責務である。

そのためには、殿山横穴墓群に加え、殿山横穴墓群周辺の地形、地層や地質、当時の文化などの教育的な内容について、リーフレットやＤＶＤを用いて分かりやすく解説することや、小・中学校で展示することなどにより、様々な学習機会を提供することが大切であり、それにより教育の幅も拡がり、子どもたちの教育的興味を湧かせることができる。

こうしたことを通して、地域の子どもたちが歴史教育や校外学習などの学校教育の中で郷土の地誌を学び、郷土への愛着を育むことが重要である。

(5) 外環（周辺）施設などとの連携

外環事業によって生み出される発掘現場付近の空間を工夫することで、殿山横穴墓群をより身近に感じることができる。

そのためには、外環施設と周辺の空間づくりについては、殿山横穴墓群をモチーフにしたデザインを反映させるなど様々な工夫を施すことが望ましい。

こうしたことを通して、殿山横穴墓群や外環施設などを新たな地域資源に位置付け、周辺にある既存の公共施設とも連携させていくことが重要である。

(6) 地域の魅力の発信

外環事業が進められている中、当該地において、約 1,300 年前の歴史が殿山横穴墓群として発見されたという事実は、非常にメッセージ性や発信力が高いものである。

また、外環事業は周辺住民の理解と協力を得ながら進められており、地域の魅力を高める契機となるものである。

こうしたことから、周辺住民に配慮しながらも、歴史と最新技術が交差する場所として外環事業と横穴墓群を合わせて広く区内外にＰＲすること、外環施設などの名称に殿山横穴墓群を用いることや地域のイベントで利用することなど、ソフト面での活用が重要である。

3　活用の具体化にあたって

検討会では、殿山横穴墓群の発見を契機として、地域住民の郷土愛の涵養や地域コミュニティの活性化に寄与するよう６つの活用の方向性をとりまとめた。

世田谷区と外環事業者においては、本とりまとめの趣旨に鑑み、横断的な連携と必要な財源の確保に努められたい。その上で、６つの方向性を踏まえた活用を実現することにより、殿山横穴墓群が存在したという事実や出土品を地域の歴史的・文化的に貴重な財産として、後世に伝えていくよう努められたい。

《殿山横穴墓群の発掘の様子》

《1 号墓玄室の様子》

《出土品（須恵器）の様子》

《参考資料》

(1) 委員名簿

有識者	中野　恒明◎	芝浦工業大学システム理工学部環境システム学科教授
	阿部　伸太○	東京農業大学地域環境科学部造園科学科准教授
	小泉　玲子	昭和女子大学人間文化学部歴史文化学科教授
	砂金　伸治	国立研究開発法人土木研究所つくば中央研究所道路技術研究グループ上席研究員
区民	中川　清史	法人格成城自治会長
	荒川　和茂	喜多見上部自治会長
	八木　孝夫	石井戸会長
世田谷区	桐山　孝義	世田谷区砧総合支所副支所長
	青山　雅夫	世田谷区道路・交通政策部長
	工藤　郁淳	世田谷区教育委員会事務局教育政策部長
外環事業者	佐藤　眞平	国土交通省東京外かく環状国道事務所副所長
	安原　正幸	東日本高速道路株式会社東京外環工事事務所副所長
	野坂　光弘 (岩本　英將)	中日本高速道路株式会社東京工事事務所副所長

◎は座長、○は副座長を表す
かっこ内は前任者を表す

（2）検討の経過

実施内容	開催日	概要
第 1 回検討会	平成 28 年　7 月 14 日	・検討の方向性について
アイディア募集	平成 28 年　9 月 16 日～ 平成 28 年 10 月　7 日	・活用アイディアの募集 （応募者数：11 名）
第 2 回検討会	平成 28 年 11 月 17 日	・活用について ・とりまとめについて
第 3 回検討会	平成 29 年　1 月 24 日	・とりまとめについて

（3）委員から発言された活用アイディア例

【遺跡の伝承】
- 現地付近に横穴墓群や出土品に関する解説板や銘盤の設置
- 周辺の公園内や教育施設内などでの展示

【出土品の展示】
- 勾玉や刀などの出土品、写真、映像などの展示
- 学術的な比較や解釈などの解説をつけたわかりやすい展示
- 民間活力を活用した展示施設の整備

【3DデータとＩＣＴ（情報通信技術）の有効利用】
- 3Dデータを活用した映像の作成
- ＩＣＴやデジタルミュージアムでの展示
- 殿山横穴墓群や出土品などを解説したコンテンツの作成
- 写真などの区や事業者のホームページへの掲載

【教育資料の提供】
・地域の自然、地形、歴史や文化などの学習機会の提供
・殿山横穴墓群や出土品の写真パネルの校外学習コーナーでの展示
・出土品や写真パネルなどの小学校での展示
・学習のためのリーフレット・ＤＶＤなどの作成

【外環（周辺）施設などとの連携】
・周辺にある公共施設との連携
・殿山横穴墓群をモチーフとした話題性や集客性のある関連施設の整備や空間作り
・施設の壁面への表示など横穴墓群の大きさを伝える展示
・立入防止柵などの現地近傍への殿山横穴墓群の写真パネルなどの表示

【地域の魅力の発信】
・外環事業の土木技術のＰＲでの活用
・外環事業の副次的な成果としてリーフレットなどでの紹介
・ジャンクションなど外環施設の名称での使用

案

6　議事概要（第 3 回）

「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会

第 3 回　議事概要

1　日時及び場所

日時：平成 29 年 1 月 24 日（火）14：00～15：40

場所：東京外かく環状国道事務所　喜多見 7 丁目常設会場

2　出席委員（敬称略）

有 識 者：中野恒明、阿部伸太、小泉玲子、砂金伸治

区　　民：中川清史、荒川和茂、八木孝夫

世田谷区：桐山孝義、青山雅夫、工藤郁淳

事 業 者：佐藤眞平、安原正幸、野坂光弘

3　傍聴者数

8 名

4　会議の概要

（1）議事について

資料に基づき「「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会とりまとめ（案）」について、事務局より説明した。

主な発言は以下のとおり。

○　11 月に開催した第 2 回目の活用検討会の最後に、「とりまとめ（座長案）」をこの場で提示する旨を説明したが、座長含め各委員にもヒアリングし、これまでの検討会での委員の発言や応募いただいた活用アイディアを踏まえて、「とりまとめ（案）」として配付している。

○　今回の委員会は、貴重な遺跡が掘り出されて、本来であれば保存したいが、事業の関係で破壊された事実の下にスタートしたものであり、出土した事実を後世にどう伝えていくかということが、最終的にとりまとめるべき内容と考える。

　その点については、とりまとめの『活用の具体化にあたって』の部分や今までなかった『外環（周辺）施設などとの連携』に盛り込むこととしたい。

○　殿山の読みは、「とのやま」と「とねやま」の両方ありで良いか。周知の埋蔵文化財包蔵地として「殿山」という名称で登録されている。その読み方は、機械的に「とのやま」としている。地元の方は長年「とねやま」と呼んでいるとのことなので、今後、掲示するような機会では、地元で「とねやま」と呼称されている旨を併記していきたい。

○　『とりまとめ』全体を通して、「殿山横穴墓群」に出土した 17 基の意味とまだ眠っているかもしれない横穴墓を含む文化財の包蔵地の意味の 2 つがあり、混同して使用されている。

○　『とりまとめまでの経緯』の 10 行目は、「一方、地域住民などから発見され

た殿山横穴墓の保存などを求める要望や殿山横穴墓群として、」とした方が良い。

○　『活用の方向性』の 1 行目は、「群」を取って「発見された殿山横穴墓」とすれば正確な表現になる。

○　『活用の方向性』の最後の行は、「元に」を平仮名にして、「もとに」とした方が良い。

○　『(1) 遺跡の伝承』の 7 行目は、「発掘場所」が繰り返されているので、「発掘場所が見える近傍」とした方が良い。

○　『(2) 出土品の展示』の 3 行目は、「出土品」が繰り返されているので、「出土品を地域で展示するためには、そのレプリカや」とした方が良い。

○　『(4) 教育資料の提供』の 3 行目は、「殿山横穴墓群」が繰り返されているので、「殿山横穴墓群に加え、周辺の」とした方が良い。

○　『(5) 外環（周辺）施設などとの連携』の 7 行目は、「既存の公共施設とも連携させて」となっており、上部空間等利用で新たにできる施設が含まれていない。換気塔などは 3 行目の「外環施設」に含まれるとのことなので、「既存の公共施設や将来の上部空間利用などとも連携させて」とした方が良い。

○　これまで、文言を全員で確認したので、表紙の「案」を取り、この検討会の『とりまとめ』としたいがいかがか。

○　この『とりまとめ』を区長などへ提出したいと思うが、事前に事務局に区長のスケジュールを確認するよう伝えていたところ、検討会終了後に提出する時間が取れるとのことである。各委員にもご同席をお願いしたいがいかがか。

以上の発言を踏まえ、検討会の検討結果がとりまとめられ、同日、区長などに提出することとされた。

(2) その他

検討会の検討結果がとりまとめられたことを受け、各委員より挨拶した。

主な発言は以下のとおり。

○　『とりまとめ』には、細かい部分では、文言として書ききれていない部分があるかもしれないが、この段階では、大局的には方向性は整理できている。今後、さらに具体化していく中で、地元の方々のご意見も含めて、さらに明確にしていくことが大事である。

○　『とりまとめ』の大きな方向性は、この内容で良い。特に、専門の立場から、土の性質、事業の中で墓群が発掘されたように技術と歴史が交差するところであること、事業自体が世界的に注目を浴びていることを述べさせていただいた。今後、どうやって具体化するのか検討されると思うが、全体としてうまくいけばと感じている。

○　今回は、17 基が発見されたが、その周辺にまだいくつか眠っている可能性が無い訳ではない。今後、探査技術が進歩すれば破壊せずに探査できる可能性もあると思う。そうしたロマンをこの地に残しつつ、この周辺を含む国分寺崖線沿いに遺跡がたくさん埋もれ、発見されてきたことを歴史に留め、次の世代に伝える

ことが重要である。

○　今回の横穴墓群の出土は、従来考えられていた出土状況とは異なる部分があり、崖線上に見つかっている横穴墓の中でも、新しい知見を加えることになった遺跡として評価されると思う。

横穴墓群が存在したことを後世に伝え、今後この周辺から関係する若しくは同様の遺跡が出てきた場合に、今回の成果を踏まえて検討できる形を整えることが、この検討会の意義としても重要なものになる。

3 回の検討会を経てまとめられた『活用の方向性』は、遺跡の保存を考えた場合に、今できる最大限の活用の案と言える。

○　レプリカは一時的に人々の関心を引いて、利用されることもあるかもしれないが、実物に勝るものはない。遺物とは異なり、遺構は空間や場所が非常に重要なので、横穴墓群というスケールが大きいものを一部だけ切り取って再現してもその意味が正しく伝わるか非常に懸念がある。

○　今後、様々な設計をしていく中で、『とりまとめ』の趣旨を踏まえて、外環施設や周辺の空間作りと併せて、殿山横穴墓群が発見された事実が分かるように取り組みたい。

また、事業のＰＲをする施設を設置する場合には、展示スペースを設けることやホームページでも情報提供することで、この場所に存在した横穴墓群の歴史について、地域の魅力の発信に繋がるように紹介していきたい。

○　今後とも、関係者と協議・調整しながら、さらなるご協力をしてまいりたい。

○　『とりまとめ』を踏まえ、データ等の活用について、相談をして進めたい。

○　『とりまとめ』にある殿山横穴墓群が存在した事実を後世に伝えることの重大さを改めて認識している。今ある情報や事実関係を正しい考察の下で、ＩＣＴなどを利用し、しっかりと伝えていく努力をしていきたい。

○　『とりまとめ』には、委員の思いだけでなく、区民の方から募集したアイディアも委員で議論して共有できたものが、凝縮された文言として盛り込まれている。引き続き、『とりまとめ』を踏まえ、殿山横穴墓群が将来的に地域のシンボルとなるようにしていきたい。

○　『とりまとめ』の 6 つの活用の方向性には、区民の活用アイディアも踏まえた委員の発言が包括され非常にうまくまとまっている。

「とねやま」という呼称や横穴墓があったことを様々な機会を通して、しっかりと後世に伝承し繋げていきたい。

○　今後の話だが、ジャンクションの名称に「殿山（とねやま）」を使用することで、横穴墓群がここにあったと連想できると良い。

また、地元の方のことを考えると、何か残る施設を整備したいという気持ちがどうしても出てきてしまう。

また、17 基の横穴墓群が一斉に出土したスケールの大きさに、本当に感激した。例えば、今後できる施設の壁面を 17 基の写真などで修景するなどして、あのスケールを将来の子どもたちにも見せて、体感させたい。

成城三つ池でも 6 基の横穴墓が出土した。あの辺りまで崖線上に横穴墓が連な

って存在していると感じているが、その点も含め、子どもたちに伝承できると良い。

○　出土した横穴墓は貴重な財産であるので、本来であれば、保存してもらいたかったが、現物がなくなった中で、この殿山に 17 基の横穴墓が存在したことをいかに後世に残していくかを、第 1 回、第 2 回の検討会で発言した。シンプルではあるが、意に沿った形で、かなりの部分の意見が盛り込まれた『とりまとめ』になっている。

○　横穴墓群の保存もそうだが、横穴墓群によってどれくらい地域が活性化するのかという点であるので、今後、外環周辺の街づくりの取り組みをお願いしたい。

○　地元の方々は、多少ご意見がまだあるかと思うが、『とりまとめ』に今後の可能性を残せて良かったと満足している。

第 3 章

関連資料

1　見学会での配付資料

（平成 27 年 9 月 26 日）

とのやま　おうけつぼ　ぐん
殿山横穴墓群

2015年9月26日（土）

殿山横穴墓群は世田谷区大蔵五丁目にある古墳時代の墓である横穴墓の遺跡です（裏面の図を参考）。武蔵野台地の縁、現野川に面した台地に立地し、武蔵野面と立川面の間の崖面に位置します。

今回の発掘調査は、中日本高速道路株式会社東京支社東京工事事務所が行う東京外かく環状道路の建設事業に先立ち、平成27年8月から公益財団法人東京都スポーツ文化事業団が4,300㎡の範囲で開始しました。横穴墓15基が発見され、現在発掘調査を進めています。

発掘調査中の横穴墓

副葬品

横穴墓の中から、葬られた人の「人骨」とともに、お弔いをするために埋めた「副葬品」が見つかりました。副葬品は、鉄の刀や矢じりなどの「武器・武具」、首飾りなどの装飾品などです。副葬品は葬られた人の地位を象徴するものですが、多くは後の時代に盗掘されてしまい、このように多く出土するのは珍しいようです。

須恵器（提瓶）（4号墓から出土）
（水筒に使われた「提瓶」を模した副葬品）

鉄の刀（3号墓から出土）
0　20cm

玉類（首飾りなどの装飾品）（3・4号墓から出土）
0　10cm

鉄の矢じり（3号墓から出土）
0　10cm

横穴墓

横穴墓は、崖の土をくりぬいて作ったお墓です。今から1300～1400年前の7世紀、古墳時代の終わりごろから国づくりと勢力争いの中で、各地の豪族だけでなくその1ランク下の郷や村の長も墓を作るようになります。古墳時代といえば前方後円墳などの古墳が有名ですが、こうした古墳時代終わりごろの墓には、横穴墓がよくみられます。1ヵ所にまとまって数世代にわたって作る場合が多く、殿山横穴墓群でもまとまっていて、今年6月に世田谷区教育委員会が調査した2基とあわせて計17基になりました。

前庭部から羨道を見る（7号墓）

羨門（切石でふさがれている）（11号墓）

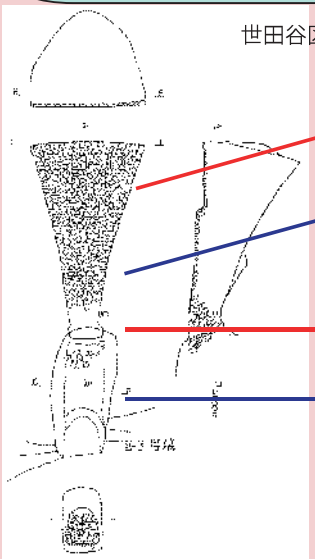
玄室の内部（床に礫が敷かれている）（3号墓）

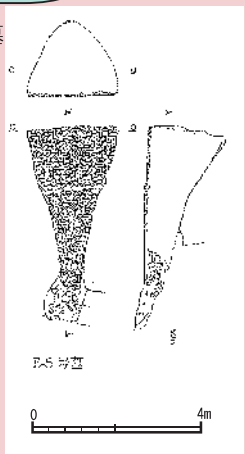
玄室から羨門を見る（3号墓）

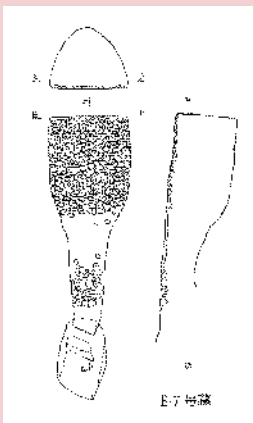
鉄の刀の出土状態（玄室のヘリから出土した）（3号墓）

須恵器（提瓶）の出土状態（玄室のヘリから出土した）（4号墓）

横穴墓の構造（世田谷区内の事例から）





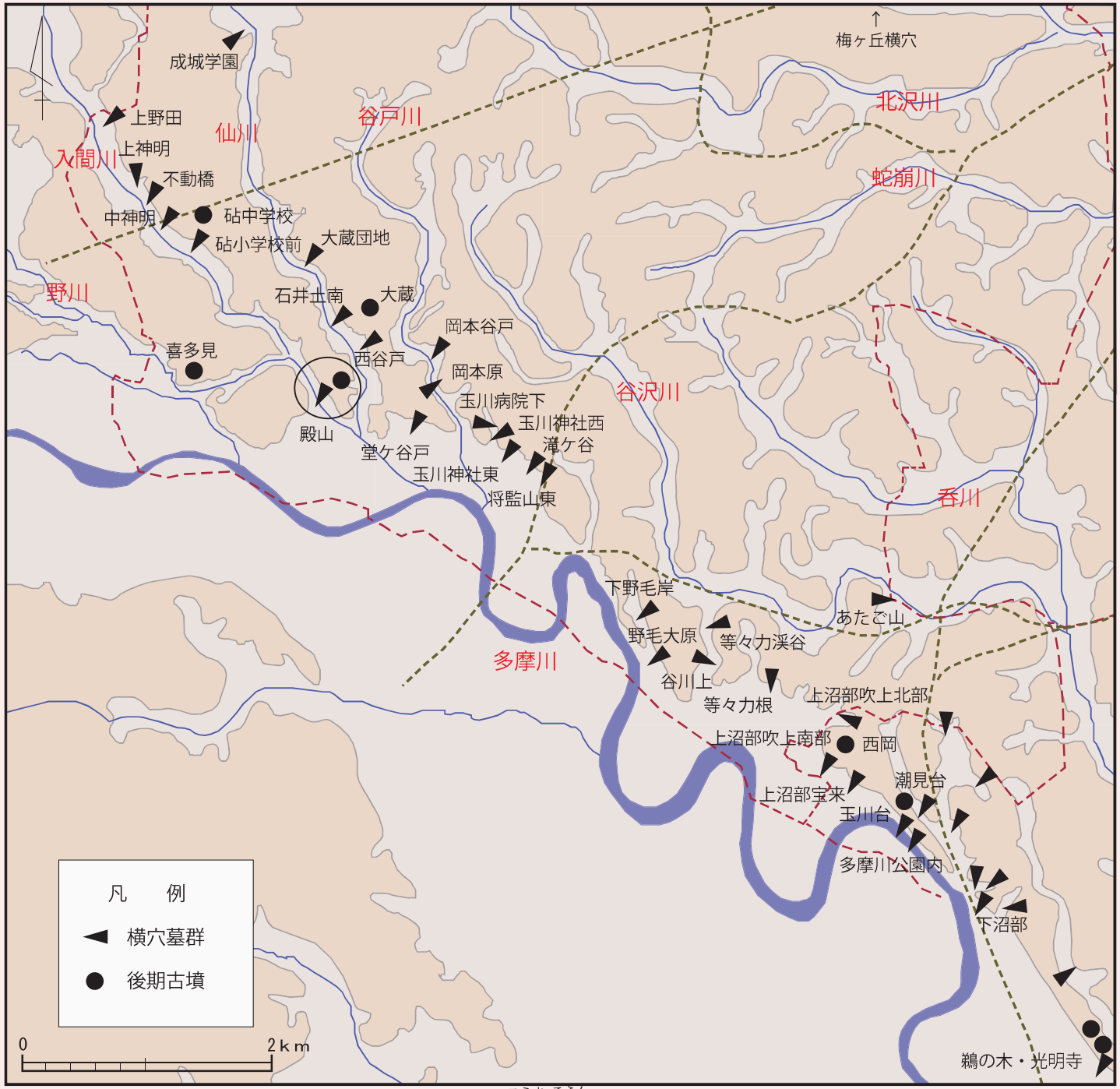


世田谷区教育委員会・西谷戸横穴墓群第4次調査会 1995『西谷戸横穴墓群Ⅱ』より

↑横穴墓は、穴の中の「玄室」「羨道」と穴の外の「前庭部」に分けることができます。

等々力渓谷3号横穴
（世田谷区ホームページより）

世田谷区等々力渓谷公園内にあり、公開されています。



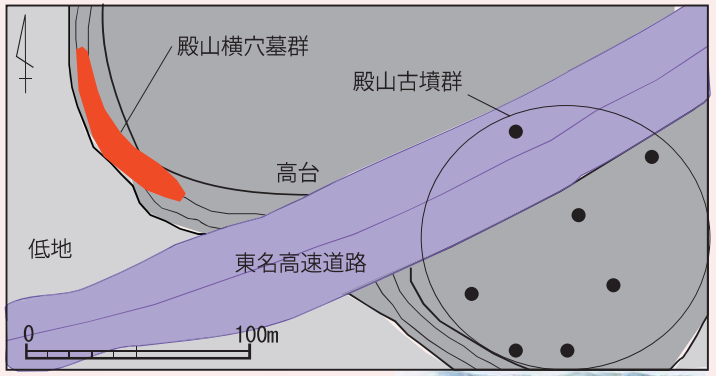
世田谷区の横穴墓・後期古墳（世田谷区教育委員会事務局資料をもとに作成）

世田谷区内では、24ヵ所の横穴墓、4ヵ所の後期古墳が発見されています。多摩川、入間川、仙川などの川沿いの崖中、崖上に多く分布します。この後期古墳とは、7世紀に作られた円形の古墳で、横穴墓とほぼ同時期のものです。

世田谷区の横穴墓一覧表（世田谷区教育委員会事務局資料より）

横穴墓群名	遺跡番号	所在地（東京都）	横穴数	主な出土遺物等
成城学園	21	世田谷区成城六丁目（成城学園）	3	
上神明	20	世田谷区成城四丁目	6	人骨
上野田	286	世田谷区成城四丁目	2	
不動橋	189	世田谷区成城三丁目	15	人骨
中神明	190	世田谷区成城三丁目	7	土師器　須恵器　刀子　人骨
砧小学校前	8	世田谷区成城一丁目	4	人骨
大蔵団地	31	世田谷区大蔵三丁目	7	耳環　人骨
石井土南	197	世田谷区大蔵五丁目	1	人骨
西谷戸	45	世田谷区大蔵四丁目・岡本三丁目	33	土師器　鉄鏃　直刀　刀子　装飾品（玉類他）　赤色顔料　人骨
堂ケ谷戸	50	世田谷区岡本二丁目	5	
岡本谷戸	49	世田谷区岡本一丁目	2	鉄鏃　刀子　鉄製品　人骨　円頭大刀
岡本原	51	世田谷区岡本二丁目	5	
玉川病院下	113	世田谷区瀬田四丁目	6	鉄鏃　刀子　鹿角装刀子　耳環　人骨
玉川神社西	114	世田谷区瀬田四丁目	2	人骨
玉川神社東	109	世田谷区瀬田四丁目	2	
滝ケ谷	110	世田谷区瀬田四丁目	2	人骨
下野毛岸	126	世田谷区野毛二丁目	14	須恵器　人骨
野毛大原	313	世田谷区野毛二丁目	4	人骨
等々力渓谷［都史跡：3号墓］	130	世田谷区等々力一丁目	3	土師器　須恵器　ガラス玉　刀子　耳環　人骨
谷川上	118	世田谷区野毛一丁目	1	人骨
等々力根	297	世田谷区等々力一丁目	1	人骨（別に地下式墓1基あり）
あたご山	120	世田谷区奥沢一・七丁目	1	人骨
梅ケ丘	78	世田谷区代田四丁目	1	ガラス製小玉　人骨
殿山	332	世田谷区大蔵五丁目	現時点で17	鉄刀　鉄鏃　須恵器　玉類　刀子　人骨

世田谷区では、殿山横穴墓群をのぞく23の横穴墓群で、127基の横穴墓が見つかっています。



殿山横穴墓群のすぐ近くには殿山古墳群があります。そのいくつかはすでに発掘調査が行われています。横穴墓と古墳の前後関係、その葬られた人の身分の違いなどに注目が集まります。

古墳のイメージ（嵐山町 web 博物館より）

2　記者発表資料

（平成 27 年 11 月 17 日）

国土交通省 関東地方整備局
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism, Kanto Regional Development Bureau

平成27年11月17日(火)
国土交通省　関東地方整備局　東京外かく環状国道事務所
東日本高速道路株式会社　関東支社　東京外環工事事務所
中日本高速道路株式会社　東京支社　東京工事事務所

記者発表資料

東京外かく環状道路(関越～東名)
(仮称)東名JCT予定地における埋蔵文化財調査について

東京外かく環状道路は、首都圏の渋滞緩和等を実現する上で重要な道路であり、関越道から東名高速までの約16kmについては現在、国土交通省、東日本高速道路(株)、中日本高速道路(株)が事業を推進しています。

(仮称)東名JCT予定地において、古墳時代の横穴墓(おうけつぼ)群が出土したため、公益財団法人東京都スポーツ文化事業団東京都埋蔵文化財センターがその発掘調査を実施※1してきましたが、東京都教育委員会より、発掘調査終了、調査地の引き渡し及び工事に着手して差し支えのない旨の通知を受けました※2。

また、世田谷区から、この横穴墓群を地域の教育的・文化的資源として活用したいとのご意見をいただいたことを踏まえ、最新のデジタル計測技術を活用し、横穴墓群15基について、復元可能とするための3次元データを取得しました。

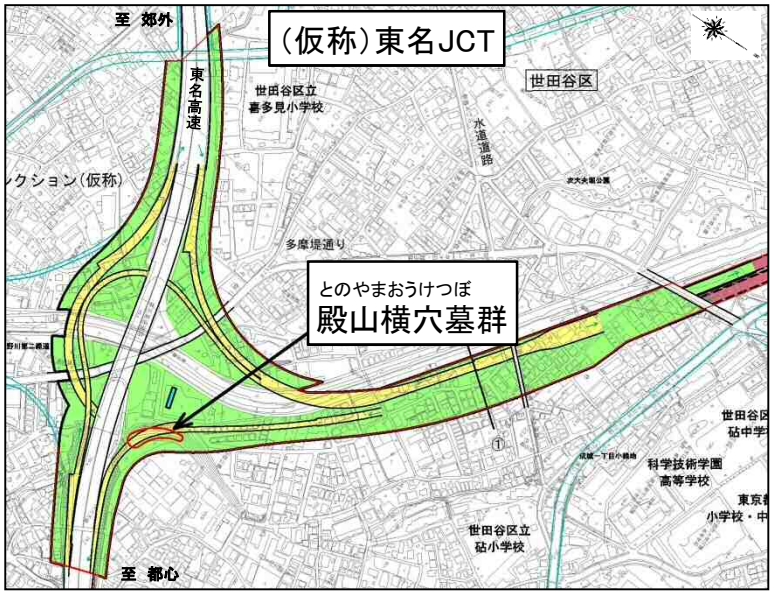
これを受けて、速やかに工事を再開する予定ですが、さらに、当面工事に影響のない1基については保護しつつ、取得したデータ(復元可能な「型」)を含め、世田谷区と共同で有識者などとの検討会を設け、教育的・文化的資源としてのこれらの活用について検討して行く予定であることをお知らせいたします。

※1) 調査期間:H27.8.3～H27.10.19　※2)通知:H27.10.20

発表記者クラブ
竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、都庁記者クラブ

問い合わせ先
国土交通省　関東地方整備局　東京外かく環状国道事務所　TEL 03-3707-3000 計画課長　大畑　俊和（おおはた　としかず） 調査設計課長　森山　祥文（もりやま　よしふみ） 東日本高速道路株式会社　関東支社　東京外環工事事務所　TEL 03-5923-0962 工務課長　藤原　達範（ふじわら　たつのり） 中日本高速道路株式会社　東京支社　東京工事事務所　TEL 03-3770-6280 工務課長　柳野　和也（やなぎの　かずや）

1．（仮称）東名JCT予定地



2．殿山横穴墓群の概要

主な出土品

- 横穴墓　17基
- 須恵器（提瓶）（水筒に使われた「堤瓶」を模した副装品）
- 玉類（首飾りなどの装飾品）
- 鉄の刀
- 鉄の矢じり

3．調査の状況等

- 6月16日（火）　横穴を2基発見（6月22日～26日に世田谷区において調査済）
- 7月14日（火）～27日（月）　横穴15基を確認
- 8月3日（月）～10月19日（月）　東京都埋蔵文化財センターによる調査
- 9月26日（土）　地元住民を対象とした現地見学会を開催（主催：東京都埋蔵文化財センター）
- 10月20日（火）東京都教育委員会教育長より中日本高速道路（株）東京工事事務所長宛
  発掘調査終了通知（事業者へ現場引き渡し）
- 10月22日（木）～10月28日（水）
  復元を可能とするための内部及び全景の3次元データ取得
  ※　一部崩落危険箇所への対策工を実施
- 今後、速やかに工事再開するとともに、検討会を設置予定

3　ホームページでの情報提供

「「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会」を設置します

Tweet

更新日：平成28年6月30日　ページ番号：0146918

東京外かく環状道路の施工に伴い、東名ジャンクション（仮称）予定地において発見された殿山横穴墓群について、地域の教育的・文化的資源としての活用の方向性を検討することを目的として、有識者、区民、世田谷区、外環事業者からなる「「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会」を設置します。

「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会

第1回「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会

日時　平成28年7月14日（木曜日）　午後6時00分～午後8時00分
会場　東京外かく環状国道事務所　喜多見7丁目常設会場
　　世田谷区喜多見七丁目33番18号　※このページ下段の添付ファイルをご参照ください。
傍聴　先着15名　※傍聴を希望される方は、「傍聴にあたってのお願い」　をお読みのうえ、
　　開催日の3日前までに、電話で道路計画課（03-5432-2548）へご連絡下さい。

報道関係者の方へ

取材活動としての撮影は会議の冒頭部分のみ可能です。
また、「傍聴にあたってのお願い」をご理解いただき、会議を傍聴することも可能です。
撮影や傍聴を希望される方は、事前に道路計画課（03-5432-2548）へご連絡ください。

添付ファイルのダウンロード

会場案内図（画像形式（PNG）84キロバイト）

添付ファイルの閲覧方法

関連リンク

東京外かく環状道路（関越～東名）
国土交通省関東地方整備局　東京外かく環状国道事務所　（外環事業者・事業全般）（新しいウィンドウが開きます）

このページについてのお問い合わせ先

（検討会全般について）道路・交通政策部　道路計画課

電話番号　03-5432-2548　ファクシミリ　03-5432-3067

●（殿山横穴墓群に関すること）生涯学習・地域・学校連携課文化財係
電話番号03-5432-2726　ファクシミリ03-5432-3039

●（東京外かく環状道路事業に関すること）国土交通省　関東地方整備局　東京外かく環状国道事務所

みちづくり（道路計画）
- 世田谷のみちづくり（道路新設、拡幅事業）
- 都市計画道路、主要生活道路、地先道路、狭あい道路の拡幅整備
- 東京外かく環状道路
- 計画道路についての相談

区政の窓口・所在地
- 本庁舎・総合支所
- 出張所・まちづくりセンター
- 土曜日の開庁窓口

電話番号　フリーダイヤル（ファクシミリ共通）　0120-34-1491
（平日午前9時15分～午後6時）

世田谷区　世田谷区役所への行き方

〒154-8504　東京都世田谷区世田谷4丁目21番27号　電話番号：03-5432-1111（代表）　ファクシミリ：03-5432-3001（広報広聴課）

Copyright(C) 2012 Setagaya City. All rights reserved.

傍聴にあたってのお願い

Tweet

更新日：平成28年6月30日　ページ番号：0146917

「「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会」の傍聴を希望される方は、下記の留意事項及び遵守事項をご理解いただきますようお願いします。

1. 以下のいずれかに該当する方は、会場への入場をお断りする場合がありますので、ご留意ください。
   - ・銃器、棒、その他人に危害を加え、又は迷惑を及ぼすおそれのある物を携帯している方
   - ・拡声器又は無線機の類を携帯している方
   - ・ビラ、プラカード、旗、のぼり等を携帯している方
   - ・はちまき、たすき、ゼッケン又はヘルメットの類を着用及び携帯している方
   - ・酒気を帯びていると思われる方
   - ・異様な服装をした方
   - ・その他、会議を妨害するおそれがあると認められる方

2. 傍聴される方は、以下に掲げる事項を遵守いただきますよう、お願いします。
   なお、会議中、遵守いただけない場合は、会議の円滑な運営上、会場から退出していただくことがあります。
   - ・会議開催中は、傍聴席において静粛に傍聴することとし、拍手その他の方法による可否の表明または発言しないこと。
   - ・会場において、騒ぎ立てる等により進行を妨害しないこと。
   - ・会場において、食事または喫煙をしないこと。
   - ・会議開催中は、写真撮影、録音及び録画をしないこと。
   - ・その他会場の秩序を乱し、又は検討会の支障となる行為をしないこと。

みちづくり（道路計画）

- 世田谷のみちづくり（道路新設、拡幅事業）
- 都市計画道路、主要生活道路、地先道路、狭あい道路の拡幅整備
- 東京外かく環状道路
- 計画道路についての相談

区政の窓口・所在地

- 本庁舎・総合支所
- 出張所・まちづくりセンター
- 土曜日の開庁窓口

関連リンク

- 東京外かく環状道路（関越～東名）
- 国土交通省関東地方整備局　東京外かく環状国道事務所　（外環事業者・事業全般）（新しいウィンドウが開きます）

このページについてのお問い合わせ先

（検討会全般について）道路・交通政策部　道路計画課

電話番号　03-5432-2548　ファクシミリ　03-5432-3067

● （殿山横穴墓群に関すること）生涯学習・地域・学校連携課文化財係
電話番号03-5432-2726　ファクシミリ03-5432-3039

● （東京外かく環状道路事業に関すること）国土交通省　関東地方整備局　東京外かく環状国道事務所
電話番号　フリーダイヤル（ファクシミリ共通）　0120-34-1491
（平日午前9時15分～午後6時）

世田谷区　世田谷区役所への行き方

〒154-8504　東京都世田谷区世田谷4丁目21番27号　電話番号：03-5432-1111（代表）　ファクシミリ：03-5432-3001（広報広聴課）

Copyright(C) 2012 Setagaya City. All rights reserved.

第1回「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会

Tweet

更新日：平成28年8月24日　ページ番号：0146907

第1回「「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会」を開催しました。

開催日時

平成28年7月14日（木曜日）　午後6時から午後8時00分

会場

東京外かく環状国道事務所　喜多見7丁目常設会場

議題・資料

- 席次表（ＰＤＦ形式：4KB）
- 次第（ＰＤＦ形式：4KB）
- 資料一覧表（ＰＤＦ形式：3KB）
- ＜資料1＞「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会委員名簿（ＰＤＦ形式：6KB）
- ＜資料2＞「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会設立趣意書（ＰＤＦ形式：5KB）
- ＜資料3-1＞「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会規約（案）（ＰＤＦ形式：13KB）
- ＜資料3－2＞「「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会」を傍聴される方へ（ＰＤＦ形式：6KB）
- ＜資料4＞ 検討会のスケジュール（予定）（ＰＤＦ形式：4KB）
- ＜資料5＞殿山横穴墓群に関する状況について（ＰＤＦ形式：6,720KB）

傍聴者

12名

議事概要

- 議事概要（ＰＤＦ形式：46KB）

添付ファイルのダウンロード

- 席次表（ＰＤＦ形式 4キロバイト）
- 次第（ＰＤＦ形式 4キロバイト）
- 資料一覧表（ＰＤＦ形式 3キロバイト）
- ＜資料1＞「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会委員名簿（ＰＤＦ形式 6キロバイト）

みちづくり（道路計画）

- 世田谷のみちづくり（道路新設、拡幅事業）
- 都市計画道路、主要生活道路、地先道路、狭あい道路の拡幅整備
- 東京外かく環状道路
- 計画道路についての相談

区政の窓口・所在地

- 本庁舎・総合支所
- 出張所・まちづくりセンター
- 土曜日の開庁窓口

＜資料2＞「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会設立趣意書（ＰＤＦ形式 5キロバイト）

＜資料3-1＞「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会規約（案）（ＰＤＦ形式 13キロバイト）

＜資料3-2＞「「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会」を傍聴される方へ（ＰＤＦ形式 6キロバイト）

＜資料4＞ 検討会のスケジュール（予定）（ＰＤＦ形式 4キロバイト）

＜資料5＞殿山横穴墓群に関する状況について（ＰＤＦ形式 6,720キロバイト）

議事概要（ＰＤＦ形式 46キロバイト）

添付ファイルの閲覧方法

PDFファイルの閲覧にはAdobe Reader（無償）が必要です。同ソフトがインストールされていない場合には、Adobe社のサイトからAdobe Readerをダウンロードしてください。

関連リンク

東京外かく環状道路（関越～東名）

国土交通省関東地方整備局　東京外かく環状国道事務所　（外環事業者・事業全般）（新しいウィンドウが開きます）

このページについてのお問い合わせ先

（検討会全般について）道路・交通政策部　道路計画課

電話番号　03-5432-2548　ファクシミリ　03-5432-3067

● （殿山横穴墓群に関すること）生涯学習・地域・学校連携課文化財係
電話番号03-5432-2726　ファクシミリ03-5432-3039

● （東京外かく環状道路事業に関すること）国土交通省　関東地方整備局　東京外かく環状国道事務所
電話番号　フリーダイヤル（ファクシミリ共通）　0120-34-1491
（平日午前9時15分～午後6時）

Copyright(C) 2012 Setagaya City. All rights reserved.

殿山横穴墓群の活用に関するアイディア募集

Tweet

更新日：平成28年9月16日　ページ番号：0148209

昨年度、東京外かく環状道路の（仮称）東名ジャンクション予定地で発見された殿山横穴墓群について、地域の教育的・文化的資源としての活用の方向性を検討するために、有識者、区民、世田谷区、外環事業者による検討会を7月から開催しています。

第1回の検討会では、横穴墓群について、現地での保存や移設、現地の土を再利用しての復元は困難であるということを確認し、これらを次世代に引き継ぐため、より身近に感じることができる方法、望ましい方向性をとりまとめていくことになりました。

今後、活用の方向性を議論するにあたり、皆様から活用アイディアを募集します。

アイディアの応募内容

殿山横穴墓群（副葬品を含む）の教育的・文化的資源としての活用アイディア

アイディアの応募期限

平成28年10月7日金曜日必着

アイディアの応募方法

住所、氏名、連絡先を記入して下記の応募先まで、郵送、ファクシミリまたは持参による

応募先

郵送・持参　〒154-8504　世田谷区世田谷4-21-27　城山分庁舎3階
世田谷区役所　道路・交通政策部　道路計画課　外環調整担当

ファクシミリ　03-5432-3067

※上記の他、成城まちづくりセンター、喜多見まちづくりセンター、砧まちづくりセンター及び砧総合支所街づくり課（砧総合支所3階）でもご応募いただけます。

応募いただいたアイディアの取扱い

応募いただいたアイディアは、第2回検討会において「活用の方向性」を議論するための参考資料として使用します。

関連資料

第1回検討会で配布や掲示した資料及び議事概要は以下のリンク先等をご参照ください。
また、議事概要に記載のある用語について、ご参照いただけるリンク先は以下のとおりです。

- 第1回検討会の配布資料・議事概要
- 現地見学会（平成27年9月）での配布資料
- 世田谷区立郷土資料館
- 東名ジャンクション周辺地区の街づくり
- 東名ジャンクション（仮称）上部空間等利用計画
- 国分寺崖線
- 世田谷区立喜多見農業公園
- 世田谷区立次大夫堀公園
- 等々力渓谷3号横穴墓
- 南池袋公園（豊島区）

みちづくり（道路計画）

- 世田谷のみちづくり（道路新設、拡幅事業）
- 都市計画道路、主要生活道路、地先道路、狭あい道路の拡幅整備
- 東京外かく環状道路
- 計画道路についての相談

区政の窓口・所在地

- 本庁舎・総合支所
- 出張所・まちづくりセンター
- 土曜日の開庁窓口

添付ファイルのダウンロード

活用アイディアをお寄せ下さい（ＰＤＦ形式 40キロバイト）
現地見学会（平成27年9月）での配布資料（ＰＤＦ形式 1,224キロバイト）

添付ファイルの閲覧方法

PDFファイルの閲覧にはAdobe Reader（無償）が必要です。同ソフトがインストールされていない場合には、Adobe社のサイトからAdobe Readerをダウンロードしてください。

関連リンク

東京外かく環状道路（関越～東名）
国土交通省関東地方整備局　東京外かく環状国道事務所　（外環事業者・事業全般）（新しいウィンドウが開きます）

このページについてのお問い合わせ先

（検討会全般について）道路・交通政策部　道路計画課

電話番号　03-5432-2548　ファクシミリ　03-5432-3067

● （殿山横穴墓群に関すること）生涯学習・地域・学校連携課文化財係
電話番号03-5432-2726　ファクシミリ03-5432-3039

● （東京外かく環状道路事業に関すること）国土交通省　関東地方整備局　東京外かく環状国道事務所
電話番号　フリーダイヤル（ファクシミリ共通）　0120-34-1491
（平日午前9時15分～午後6時）

Copyright(C) 2012 Setagaya City. All rights reserved.

「「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会」を設置します

Tweet

更新日：平成28年10月25日　ページ番号：0146918

東京外かく環状道路の施工に伴い、東名ジャンクション（仮称）予定地において発見された殿山横穴墓群について、地域の教育的・文化的資源としての活用の方向性を検討することを目的として、有識者、区民、世田谷区、外環事業者からなる「「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会」を設置します。

「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会

第1回「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会

日時　平成28年7月14日（木曜日）　午後6時00分～午後8時00分
会場　東京外かく環状国道事務所　喜多見7丁目常設会場
　　世田谷区喜多見七丁目33番18号　※このページ下段の添付ファイルをご参照ください。

第2回「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会

日時　平成28年11月17日（木曜日）　午後3時00分～午後4時30分
会場　東京外かく環状国道事務所　喜多見7丁目常設会場
　　世田谷区喜多見七丁目33番18号　※このページ下段の添付ファイルをご参照ください。
傍聴　先着15名　※傍聴を希望される方は、「傍聴にあたってのお願い」　をお読みのうえ、
　　開催日の3日前までに、電話で道路計画課（03-5432-2548）へご連絡下さい。

報道関係者の方へ

取材活動としての撮影は会議の冒頭部分のみ可能です。
また、「傍聴にあたってのお願い」をご理解いただき、会議を傍聴することも可能です。
撮影や傍聴を希望される方は、事前に道路計画課（03-5432-2548）へご連絡ください。

添付ファイルのダウンロード

会場案内図（画像形式（ＰＮＧ）84キロバイト）

添付ファイルの閲覧方法

関連リンク

東京外かく環状道路（関越～東名）
国土交通省関東地方整備局　東京外かく環状国道事務所　（外環事業者・事業全般）（新しいウィンドウが開きます）

このページについてのお問い合わせ先

みちづくり（道路計画）
- 世田谷のみちづくり（道路新設、拡幅事業）
- 都市計画道路、主要生活道路、地先道路、狭あい道路の拡幅整備
- 東京外かく環状道路
- 計画道路についての相談

区政の窓口・所在地
- 本庁舎・総合支所
- 出張所・まちづくりセンター
- 土曜日の開庁窓口

（検討会全般について）道路・交通政策部　道路計画課

電話番号　03-5432-2548　ファクシミリ　03-5432-3067

● （殿山横穴墓群に関すること）生涯学習・地域・学校連携課文化財係
電話番号03-5432-2726　ファクシミリ03-5432-3039

● （東京外かく環状道路事業に関すること）国土交通省　関東地方整備局　東京外かく環状国道事務所
電話番号　フリーダイヤル（ファクシミリ共通）　0120-34-1491
（平日午前9時15分～午後6時）

世田谷区　世田谷区役所への行き方

〒154-8504　東京都世田谷区世田谷4丁目21番27号　電話番号：03-5432-1111（代表）　ファクシミリ：03-5432-3001（広報広聴課）

Copyright(C) 2012 Setagaya City. All rights reserved.

第2回「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会

Tweet

更新日：平成28年12月20日　ページ番号：0149883

第2回「「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会」を開催しました。

開催日時

平成28年11月17日（木曜日）　午後3時から午後5時

会場

東京外かく環状国道事務所　喜多見7丁目常設会場

議題・資料

- 席次表（PDF形式：4KB）
- 次第（PDF形式：4KB）
- 資料一覧表（PDF形式：3KB）
- ＜資料1＞「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会委員名簿（PDF形式：6KB）
- ＜資料2＞「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会規約（PDF形式：13KB）
- ＜資料3＞ 第1回検討会における活用に関する主な発言（抜粋）（PDF形式：9KB）
- ＜資料4＞ 殿山横穴墓群に関する活用アイディア（PDF形式：22KB）
- ＜資料5＞ 検討のための活用事例（PDF形式：1,872KB）
- ＜資料6＞ 検討会のスケジュール（予定）（PDF形式：5KB）
- ＜参考資料1＞ 検討のための参考図（PDF形式：1,456KB）
- ＜参考資料2＞「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会 とりまとめ（イメージ）（PDF形式：7KB）

傍聴者

7名

議事概要

- 議事概要（PDF形式：47KB）

添付ファイルのダウンロード

- 席次表（PDF形式 4キロバイト）
- 次第（PDF形式 4キロバイト）
- 資料一覧表（PDF形式 3キロバイト）

みちづくり（道路計画）

- 世田谷のみちづくり（道路新設、拡幅事業）
- 都市計画道路、主要生活道路、地先道路、狭あい道路の拡幅整備
- 東京外かく環状道路
- 計画道路についての相談

区政の窓口・所在地

- 本庁舎・総合支所
- 出張所・まちづくりセンター
- 土曜日の開庁窓口

- ＜資料1＞「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会委員名簿（ＰＤＦ形式 6キロバイト）
- ＜資料2＞「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会規約（ＰＤＦ形式 13キロバイト）
- ＜資料3＞ 第1回検討会における活用に関する主な発言（抜粋）（ＰＤＦ形式 9キロバイト）
- ＜資料4＞ 殿山横穴墓群に関する活用アイディア（ＰＤＦ形式 22キロバイト）
- ＜資料5＞ 検討のための活用事例（ＰＤＦ形式 1,872キロバイト）
- ＜資料6＞ 検討会のスケジュール（予定）（ＰＤＦ形式 5キロバイト）
- ＜参考資料1＞ 検討のための参考図（ＰＤＦ形式 1,456キロバイト）
- ＜参考資料2＞「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会とりまとめ（イメージ）（ＰＤＦ形式 7キロバイト）
- 議事概要（ＰＤＦ形式 47キロバイト）

添付ファイルの閲覧方法

PDFファイルの閲覧にはAdobe Reader（無償）が必要です。同ソフトがインストールされていない場合には、Adobe社のサイトからAdobe Readerをダウンロードしてください。

関連リンク

東京外かく環状道路（関越～東名）
国土交通省関東地方整備局　東京外かく環状国道事務所　（外環事業者・事業全般）（新しいウィンドウが開きます）

このページについてのお問い合わせ先

（検討会全般について）道路・交通政策部　道路計画課
電話番号　03-5432-2548　ファクシミリ　03-5432-3067
● （殿山横穴墓群に関すること）生涯学習・地域・学校連携課文化財係
電話番号03-5432-2726　ファクシミリ03-5432-3039

● （東京外かく環状道路事業に関すること）国土交通省　関東地方整備局　東京外かく環状国道事務所
電話番号　フリーダイヤル（ファクシミリ共通）　0120-34-1491
（平日午前9時15分～午後6時）

Copyright(C) 2012 Setagaya City. All rights reserved.

「「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会」を設置します

Tweet

更新日：平成28年12月26日　ページ番号：0146918

東京外かく環状道路の施工に伴い、東名ジャンクション（仮称）予定地において発見された殿山横穴墓群について、地域の教育的・文化的資源としての活用の方向性を検討することを目的として、有識者、区民、世田谷区、外環事業者からなる「「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会」を設置します。

「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会

第1回「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会

日時　平成28年7月14日（木曜日）　午後6時00分～午後8時00分
会場　東京外かく環状国道事務所　喜多見7丁目常設会場
世田谷区喜多見七丁目33番18号　※このページ下段の添付ファイルをご参照ください。

第2回「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会

日時　平成28年11月17日（木曜日）　午後3時00分～午後4時30分
会場　東京外かく環状国道事務所　喜多見7丁目常設会場
世田谷区喜多見七丁目33番18号　※このページ下段の添付ファイルをご参照ください。

第3回「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会

日時　平成29年1月24日（火曜日）　午後2時00分～午後3時30分
会場　東京外かく環状国道事務所　喜多見7丁目常設会場
世田谷区喜多見七丁目33番18号　※このページ下段の添付ファイルをご参照ください。
傍聴　先着15名　※傍聴を希望される方は、「傍聴にあたってのお願い」　をお読みのうえ、
開催日の3日前までに、電話で道路計画課（03-5432-2548）へご連絡下さい。

報道関係者の方へ

取材活動としての撮影は会議の冒頭部分のみ可能です。
また、「傍聴にあたってのお願い」をご理解いただき、会議を傍聴することも可能です。
撮影や傍聴を希望される方は、事前に道路計画課（03-5432-2548）へご連絡ください。

添付ファイルのダウンロード

会場案内図（画像形式（ＰＮＧ）84キロバイト）

添付ファイルの閲覧方法

関連リンク

東京外かく環状道路（関越～東名）

国土交通省関東地方整備局　東京外かく環状国道事務所　（外環事業者・事業全般）（新しいウィンドウが開きます）

みちづくり（道路計画）

世田谷のみちづくり（道路新設、拡幅事業）
都市計画道路、主要生活道路、地先道路、狭あい道路の拡幅整備
東京外かく環状道路
計画道路についての相談

区政の窓口・所在地

本庁舎・総合支所
出張所・まちづくりセンター
土曜日の開庁窓口

このページについてのお問い合わせ先

(検討会全般について) 道路・交通政策部　道路計画課

電話番号　03-5432-2548　ファクシミリ　03-5432-3067

● (殿山横穴墓群に関すること) 生涯学習・地域・学校連携課文化財係
電話番号03-5432-2726　ファクシミリ03-5432-3039

● (東京外かく環状道路事業に関すること) 国土交通省　関東地方整備局　東京外かく環状国道事務所
電話番号　フリーダイヤル (ファクシミリ共通)　0120-34-1491
(平日午前9時15分～午後6時)

Copyright(C) 2012 Setagaya City. All rights reserved.

第3回「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会

Tweet

更新日：平成29年1月24日　ページ番号：0151037

第3回「「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会」を開催しました。

開催日時

平成29年1月24日（火曜日）　午後2時から午後3時40分

会場

東京外かく環状国道事務所　喜多見7丁目常設会場

議題・資料

- 席次表（ＰＤＦ形式：4KB）
- 次第（ＰＤＦ形式：4KB）
- 資料一覧表（ＰＤＦ形式：3KB）
- ＜資料＞「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会とりまとめ（案）（ＰＤＦ形式：495KB）

傍聴者

8名

議事概要

2月中旬　公表予定

添付ファイルのダウンロード

- 席次表（ＰＤＦ形式 4キロバイト）
- 次第（ＰＤＦ形式 4キロバイト）
- 資料一覧表（ＰＤＦ形式 3キロバイト）
- ＜資料＞「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会とりまとめ（案）（ＰＤＦ形式 495キロバイト）

添付ファイルの閲覧方法

Get ADOBE READER

PDFファイルの閲覧にはAdobe Reader（無償）が必要です。同ソフトがインストールされていない場合には、Adobe社のサイトからAdobe Readerをダウンロードしてください。

関連リンク

みちづくり（道路計画）

- 世田谷のみちづくり（道路新設、拡幅事業）
- 都市計画道路、主要生活道路、地先道路、狭あい道路の拡幅整備
- 東京外かく環状道路
- 計画道路についての相談

区政の窓口・所在地

- 本庁舎・総合支所
- 出張所・まちづくりセンター
- 土曜日の開庁窓口

東京外かく環状道路（関越～東名）

国土交通省関東地方整備局　東京外かく環状国道事務所　（外環事業者・事業全般）（新しいウィンドウが開きます）

トップページへ戻る

このページのトップへ

このページについてのお問い合わせ先

（検討会全般について）道路・交通政策部　道路計画課

電話番号　03-5432-2548　ファクシミリ　03-5432-3067

● （殿山横穴墓群に関すること）生涯学習・地域・学校連携課文化財係
電話番号03-5432-2726　ファクシミリ03-5432-3039

● （東京外かく環状道路事業に関すること）国土交通省　関東地方整備局　東京外かく環状国道事務所
電話番号　フリーダイヤル（ファクシミリ共通）　0120-34-1491
（平日午前9時15分～午後6時）

Copyright(C) 2012 Setagaya City. All rights reserved.

「「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会」で活用の方向性がとりまとめられました

Tweet

更新日：平成29年1月25日　ページ番号：0151038

東京外かく環状道路の施工に伴い、東名ジャンクション（仮称）予定地において発見された殿山横穴墓群について、地域の教育的・文化的資源としての活用の方向性を検討することを目的として設置した、有識者、区民、世田谷区、外環事業者からなる「「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会」が活用の方向性をとりまとめました。

「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会

第1回「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会

日時　平成28年7月14日（木曜日）　午後6時00分～午後8時00分
会場　東京外かく環状国道事務所　喜多見7丁目常設会場
　　世田谷区喜多見七丁目33番18号

第2回「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会

日時　平成28年11月17日（木曜日）　午後3時00分～午後5時00分
会場　東京外かく環状国道事務所　喜多見7丁目常設会場
　　世田谷区喜多見七丁目33番18号

第3回「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会

日時　平成29年1月24日（火曜日）　午後2時00分～午後3時30分
会場　東京外かく環状国道事務所　喜多見7丁目常設会場
　　世田谷区喜多見七丁目33番18号

「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会のとりまとめ

「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会とりまとめ

添付ファイルのダウンロード

「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会とりまとめ（ＰＤＦ形式 421キロバイト）

添付ファイルの閲覧方法

Get ADOBE READER

PDFファイルの閲覧にはAdobe Reader（無償）が必要です。同ソフトがインストールされていない場合には、Adobe社のサイトからAdobe Readerをダウンロードしてください。

関連リンク

東京外かく環状道路（関越～東名）

国土交通省関東地方整備局　東京外かく環状国道事務所　（外環事業者・事業全般）（新しいウィンドウが開きます）

みちづくり（道路計画）

世田谷のみちづくり（道路新設、拡幅事業）
都市計画道路、主要生活道路、地先道路、狭あい道路の拡幅整備
東京外かく環状道路
計画道路についての相談

区政の窓口・所在地

本庁舎・総合支所
出張所・まちづくりセンター
土曜日の開庁窓口

このページについてのお問い合わせ先

(検討会全般について) 道路・交通政策部　道路計画課

電話番号　03-5432-2548　ファクシミリ　03-5432-3067

● (殿山横穴墓群に関すること) 生涯学習・地域・学校連携課文化財係
電話番号03-5432-2726　ファクシミリ03-5432-3039

● (東京外かく環状道路事業に関すること) 国土交通省　関東地方整備局　東京外かく環状国道事務所
電話番号　フリーダイヤル (ファクシミリ共通)　0120-34-1491
(平日午前9時15分～午後6時)

Copyright(C) 2012 Setagaya City. All rights reserved.

「「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会」で活用の方向性がとりまとめられました

Tweet

更新日：平成29年1月30日　ページ番号：0151038

東京外かく環状道路の施工に伴い、東名ジャンクション（仮称）予定地において発見された殿山横穴墓群について、地域の教育的・文化的資源としての活用の方向性を検討することを目的として設置した、有識者、区民、世田谷区、外環事業者からなる「「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会」が活用の方向性をとりまとめました。

「「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会」から区長などにとりまとめが提出されました。

「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会

第1回「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会

日時　平成28年7月14日（木曜日）　午後6時00分～午後8時00分
会場　東京外かく環状国道事務所　喜多見7丁目常設会場
　　世田谷区喜多見七丁目33番18号

第2回「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会

日時　平成28年11月17日（木曜日）　午後3時00分～午後5時00分
会場　東京外かく環状国道事務所　喜多見7丁目常設会場
　　世田谷区喜多見七丁目33番18号

第3回「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会

日時　平成29年1月24日（火曜日）　午後2時00分～午後3時30分
会場　東京外かく環状国道事務所　喜多見7丁目常設会場
　　世田谷区喜多見七丁目33番18号

「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会のとりまとめ

「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会とりまとめ

「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会 とりまとめの提出

日　　時　平成29年1月24日（火曜日）　午後4時00分～午後4時30分
場　　所　世田谷区役所砧総合支所
出 席 者　「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会委員　座長他12名
　　世田谷区長
　　国土交通省関東地方整備局東京外かく環状国道事務所長
　　東日本高速道路株式会社関東支社東京外環工事事務所長
　　中日本高速道路株式会社東京支社東京工事事務所長
提出内容　「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会とりまとめ

みちづくり（道路計画）
- 世田谷のみちづくり（道路新設、拡幅事業）
- 都市計画道路、主要生活道路、地先道路、狭あい道路の拡幅整備
- 東京外かく環状道路
- 計画道路についての相談

区政の窓口・所在地
- 本庁舎・総合支所
- 出張所・まちづくりセンター
- 土曜日の開庁窓口

添付ファイルのダウンロード

「東名ジャンクション（仮称）」殿山横穴墓群に関する活用検討会とりまとめ（ＰＤＦ形式 421キロバイト）

添付ファイルの閲覧方法

PDFファイルの閲覧にはAdobe Reader（無償）が必要です。同ソフトがインストールされていない場合には、Adobe社のサイトからAdobe Readerをダウンロードしてください。

関連リンク

東京外かく環状道路（関越～東名）

国土交通省関東地方整備局　東京外かく環状国道事務所　（外環事業者・事業全般）（新しいウィンドウが開きます）

このページについてのお問い合わせ先

（検討会全般について）道路・交通政策部　道路計画課

電話番号　03-5432-2548　ファクシミリ　03-5432-3067

● （殿山横穴墓群に関すること）生涯学習・地域・学校連携課文化財係
電話番号03-5432-2726　ファクシミリ03-5432-3039

● （東京外かく環状道路事業に関すること）国土交通省　関東地方整備局　東京外かく環状国道事務所

電話番号　フリーダイヤル（ファクシミリ共通）　0120-34-1491
（平日午前9時15分～午後6時）

〒154-8504　東京都世田谷区世田谷4丁目21番27号　電話番号：03-5432-1111（代表）　ファクシミリ：03-5432-3001（広報広聴課）

Copyright(C) 2012 Setagaya City. All rights reserved.

殿山横穴墓群に関する活用検討会の検討結果を外環事業者とともに受け取りました

Tweet

更新日：平成29年1月27日　ページ番号：0151241

区民の皆さんへ

殿山横穴墓群に関する活用検討会の検討結果を外環事業者とともに受け取りました

1月24日（火曜日）に殿山横穴墓群に関する活用検討会の検討結果を外環事業者とともに受け取りました。

殿山横穴墓群は、平成27年6月に、東京外かく環状道路の東名ジャンクション（仮称）の予定地内で発見され、私も現地を見学し、その規模の大きさに驚いたとともに、歴史を感じ、思いを馳せることができました。

検討結果の手交の様子

このようなことから、殿山横穴墓群の教育的・文化的な活用について、有識者や区民、区、外環事業者からなる検討会を設置するよう要望しており、「活用の方向性」がとりまとめられました。

これらの横穴墓群は、外環事業により失われてしまったとのことでございますが、「活用の方向性」にもあるように、存在した事実や出土品は、地域にとっての財産として、後世にしっかりと伝えていくことが大切であると考えております。

今後は、この方向性を踏まえた実現に向けて、それぞれが検討を始めることになります。引き続き、区や事業者が連携し、進めていきたいと考えております。

世田谷区長　保坂展人

このページについてのお問い合わせ先

広報広聴課

電話番号　03-5432-2010　ファクシミリ　03-5432-3001

区長の部屋
- プロフィール
- 区民の皆さんへ
- 庁用交際費
- 記者会見
- 施政方針

区政の窓口・所在地
- 本庁舎・総合支所
- 出張所・まちづくりセンター
- 土曜日の開庁窓口

トップページへ戻る　このページのトップへ

このホームページのもくじ　ホーム | くらしのガイド | お知らせ | イベント | 施設 | 世田谷の魅力 | 問い合わせ・よくある質問

世田谷区　世田谷区役所への行き方

〒154-8504　東京都世田谷区世田谷4丁目21番27号　電話番号：03-5432-1111（代表）　ファクシミリ：03-5432-3001（広報広聴課）

Copyright(C) 2012 Setagaya City. All rights reserved.

４　検討会の開催周知

殿山横穴墓群に関する活用検討会を開催します

昨年度に東名ジャンクション（仮称）予定地で発見された殿山横穴墓群について、地域の教育的・文化的資源としての活用の方向性を検討することを目的として、有識者、区民、世田谷区、外環事業者により検討会を開催します。

【第１回検討会について】

※申し込みにより傍聴ができます。

（１）日時　平成 28 年 7 月 14 日（木）午後 6 時～午後 8 時まで
（２）会場　喜多見 7 丁目常設会場（喜多見七丁目 33 番 18 号）
（３）内容　殿山横穴墓群に関する状況、検討の方向性など

検討会の資料、議事の概要は、区のホームページにてお知らせする予定です。

検討会の傍聴について

- 申し込みにより、会議の傍聴ができます。（先着15人）
- ご希望の場合は、開催日の3日前までに、**電話で下記までご連絡ください**。
- なお、**傍聴にあたっては、留意事項及び遵守事項がございます**。詳しくは、下記までお問い合わせ下さい。
（世田谷区ホームページでもお知らせしています。）

【お問い合わせ・傍聴のお申し込み】

世田谷区　道路・交通政策部 道路計画課（担当：塩井、渡邉）
電話番号　03-5432-2548
ファクシミリ　03-5432-3067

殿山横穴墓群に関する活用検討会を開催します

昨年度に東名ジャンクション（仮称）予定地で発見された殿山横穴墓群について、地域の教育的・文化的資源としての活用の方向性を検討することを目的として、有識者、区民、世田谷区、外環事業者により検討会を開催します。

【第 2 回検討会について】

※申し込みにより傍聴ができます。

（1）日時　平成 28 年 11 月 17 日（木）午後 3 時～午後 4 時 30 分まで
（2）会場　喜多見 7 丁目常設会場（喜多見七丁目 33 番 18 号）
（3）内容　活用の方向性について、とりまとめの方法についてなど

検討会の資料、議事の概要は、区のホームページにてお知らせする予定です。

検討会の傍聴について

- 申し込みにより、会議の傍聴ができます。（先着15名）
- ご希望の場合は、開催日の3日前までに、**電話で下記までご連絡ください**。
- なお、**傍聴にあたっては、留意事項及び遵守事項がございます**。詳しくは、下記までお問い合わせ下さい。
（世田谷区ホームページでもお知らせしています。）

【お問い合わせ・傍聴のお申し込み】

世田谷区　道路・交通政策部 道路計画課（担当：塩井、渡邉）
電話番号　03-5432-2548
ファクシミリ　03-5432-3067

殿山横穴墓群に関する活用検討会を開催します

昨年度に東名ジャンクション（仮称）予定地で発見された殿山横穴墓群について、地域の教育的・文化的資源としての活用の方向性を検討することを目的として、有識者、区民、世田谷区、外環事業者により検討会を開催します。

【第３回検討会について】

※申し込みにより傍聴ができます。

（１）日時　平成 29 年 1 月 24 日（火）午後 2 時～午後 3 時 30 分まで
（２）会場　喜多見 7 丁目常設会場（喜多見七丁目 33 番 18 号）
（３）内容　とりまとめについてなど

検討会の資料、議事の概要は、区のホームページにてお知らせする予定です。

検討会の傍聴について

- 申し込みにより、会議の傍聴ができます。（先着15名）
- ご希望の場合は、開催日の3日前までに、**電話で下記までご連絡ください**。
- なお、**傍聴にあたっては、留意事項及び遵守事項がございます**。詳しくは、下記までお問い合わせ下さい。
（世田谷区ホームページでもお知らせしています。）

【お問い合わせ・傍聴のお申し込み】

世田谷区　道路・交通政策部 道路計画課（担当：塩井、渡邉）
電話番号　03-5432-2548
ファクシミリ　03-5432-3067

5　区のお知らせ「せたがや」（抜粋）

（平成 28 年 10 月 25 日号）

たまがわ 総合支所

等々力渓谷みかん狩り体験

対区内在住の小学生と保護者
日11月26日㈯午前10時～正午（荒天の際は27日㈰に順延）
場等々力渓谷公園芝生広場
担当＝地域振興課地域振興・防災担当　申11月7日までに、電話またはファクシミリ（記入例参照）でせたがやコールへ　抽選50組

▶とれたてのみかんを味わおう！

講演会「統合失調症をよく知ろう～自分らしく生活するコツ」

対区内在住・在勤の方　日11月30日㈬午後2時～4時　場玉川総合支所4階集会室　講堀内慶子（精神科医）　申電話またはファクシミリ（記入例参照）で健康づくり課（☎3702－1982FAX3702－1520）へ　先着80人

玉川地域児童館子育て交流会「WAになっておどろう♪」

内容／コンサート、各館あそびコーナーほか　対玉川地域在住の乳幼児と保護者　日11月25日㈮午前10時30分～正午　場・問上用賀児童館▶☎3426－2196FAX3426－1969

認知症高齢者の家族の会

日11月18日㈮午後1時30分～3時30分　場玉川総合支所4階集会室　申電話で保健福祉課（☎3702－1894FAX5707－2661）へ　先着20人

マンション交流会地域別勉強会＆相談会（玉川地域）

内容／区の地域防災計画とマンションの防災対策　対分譲マンション居住者、管理組合役員等
日11月6日㈰午後1時20分～4時20分　場玉川総合支所4階集会室
担当=住宅課　申11月2日までに、電話またはファクシミリ（記入例参照）で、住まいサポートセンター（☎5432－2532FAX5432－3040）へ　先着80人

古着・古布回収（リサイクル）▶

日時等	会場等
11月12日㈯午前9時～11時30分（荒天中止）	京セラドキュメントソリューションズ㈱駐車場（玉川台2－14）、天神公園　担当＝用賀まちづくりセンター
11月20日㈰午前9時～正午（荒天中止）	深沢まちづくりセンター、桜新町区民集会所、深沢地区会館、深沢公園、駒沢地区会館　担当=深沢まちづくりセンター

備洗濯済みの衣類等を透明または半透明の袋（45ℓ以下）に入れて持参して下さい。ぬいぐるみなども可。汚れたものは不可。衣類、靴、鞄は別々の袋に入れて下さい。
問せたがやコール

ふれあいサービス協力会員説明会（高齢者等への家事等の支援）

日11月17日㈭午前10時～正午
場中町ふれあいの家　備活動内容等詳しくは、お問い合わせ下さい。
申電話で社会福祉協議会上野毛地区事務局（☎070－3946－9799FAX6733－7984）へ

まちづくりセンターから

	内容・日時・問合せ先等
九品仏	1普通救命講習会 内容／心肺蘇生法、AEDの使用方法ほか　日12月10日㈯午前9時～正午　場九品仏地区会館　参加費／500円 2冬の寄せ植え講習会 日12月12日㈪午前10時～11時30分　場九品仏まちづくりセンター　参加費／1800円　備新聞紙1枚と大きめのビニール袋、作業用手袋を持参。 3あるこう会～林試の森公園 日12月6日㈫午前9時30分・自由が丘駅正面口広場集合～林試の森公園（品川区小山台2－6－11）～午前11時30分・現地解散（約5キロ・小雨実施） 備小学生以下は保護者同伴。交通費は自己負担。 対いずれも玉川田園調布・奥沢4～8丁目在住の方優先　申いずれも電話またはファクシミリ（記入例参照）で九品仏まちづくりセンター（☎3703－2341FAX5707－7026）へ　先着1 3各30人2 35人
上野毛	胃がん・大腸がん検診 対上野毛・野毛・中町在住で40歳以上の方　日・場①12月12日㈪～15日㈭＝上野毛地区会館②12月21日㈬＝野毛青少年交流センター③12月27日㈫＝玉川中学校　いずれも午前9時～11時30分　費用／胃がん検診1000円、大腸がん検診200円　申11月10日までに、電話またはファクシミリ（記入例参照。検診の種別、希望日を明記）でせたがやコールへ　抽選各日35人
用賀	二子玉川大山みちフェスティバル 内容／絵とうろうの点灯（11月3日まで二子玉川商店街で実施）、大山コマ回し大会、縁台将棋、篤籠、すごろく、模擬店、伊勢原市物産展ほか　日10月29日㈯午後0時30分～3時　場二子玉川小学校▶　問せたがやコール
深沢	クリスマス寄せ植え講習会 対深沢・新町・桜新町・駒沢3～5丁目在住の方　日12月9日㈮①午前10時30分～正午②午後1時30分～3時　場深沢まちづくりセンター　参加費／1700円　申11月1～18日に電話またはファクシミリ（記入例参照）でせたがやコールへ　先着①②各30人

きぬた 総合支所

祖師谷あんしんすこやかセンターの移転

11月28日㈪から祖師谷センター内に移転します。移転準備のため11月26日㈯は休業します。
問介護予防・地域支援課☎5432－2953FAX5432－3085

第2回殿山横穴墓群に関する活用検討会

日11月17日㈭午後3時～4時30分　場喜多見7丁目常設会場（喜多見7－33－18）　申傍聴希望の方は11月14日までに、道路計画課（☎5432－2548FAX5432－3067）へ　先着15人

鎌田区民センターから

1川場村りんご狩りと周辺散策

対砧総合支所管内在住の方　日11月21日㈪鎌田区民センター午前7時15分集合～午後6時40分解散予定　参加費／5500円（バス・昼食代含む）

2安全・防犯講座～鎌田・喜多見地域の犯罪の特徴とその対策▶

日11月26日㈯午後2時～4時
講成城警察署駐在所勤務員

3クリスマス＆お正月のアートフラワーアレンジメント

日12月1日㈭午後1時30分～3時30分　材料費／3000円　講富樫佐絵（ドライフラワーアーティスト）
申1 3は午前9時～午後5時に電話で鎌田区民センター（☎3709－4311FAX3709－4322）へ　抽選1 32人　先着2 40人3 24人

認知症の人とのつきあい方

対認知症の方を介護しているご家族　日11月8日㈫午後1時30分～3時30分　場成城ホール　講五島シズ（認知症ケアアドバイザー）　申電話で保健福祉課（☎3482－8193FAX3482－1796）へ　先着30人

第23回きぬたとしょかんまつり

内容／①おはなしの部屋②つくってあそぼう③おひざでだっこのおはなし会　日11月6日㈰①午前9時30分から②午前10時から③午前11時から　場・問砧図書館▶☎3482－2271FAX3482－4603

だんらん男性料理講習会（初級）和食の煮・焼・蒸・揚（全4回）

対区内在住・在勤でおおむね65歳以上の男性　日11月14日、12月12日、29年1月16・30日いずれも月曜午前10時30分～午後2時
場食事サービスサポートセンターだんらん（鎌田3－13－1）　講習費／各回1500円（当日支払）　講フリー栄養士会ぱせり　申11月4日までに、往復ハガキ（記入例参照）で食事サービス活動推進の会（〒157－0077鎌田3－13－1）へ
抽選12人　問高齢福祉課☎5432－2407FAX5432－3085

古着・古布回収（リサイクル）

洗濯済みの衣類等を透明または半透明の袋に入れて持参して下さい。

日時等	会　場	問合せ先
11月12日㈯ 午前9時～11時（荒天の際は13日㈰に順延）	①祖師谷地区会館②ふれあい遊歩道③塚戸公園④笠森公園	祖師谷まちづくりセンター ☎3482－2201 FAX5490－7029
11月16日㈬～18日㈮ 午前10時～午後3時（雨天実施）	砧まちづくりセンター	砧まちづくりセンター ☎3417－3405 FAX5494－7016
11月19日㈯ ①～④午前9時～正午 ⑤⑥午前9時～11時 （いずれも雨天実施）	①大蔵住宅11号棟ピロティ・20号棟横駐車場②岡本地区会館③大蔵氷川神社④横根稲荷神社⑤砧六丁目公園⑥観音公園	
11月20日㈰ 午前9時30分～11時30分（雨天実施）	①成城学園前駅西口パーキング隣②都営成城8丁目団地集会所横	成城まちづくりセンター ☎3482－1348 FAX5490－7030
11月27日㈰ ①～⑥午前9時～正午 ⑦午前9時～11時 （いずれも雨天実施）	①都営喜多見2丁目団地集会所②喜多見小学校西門前③滝下橋緑道④喜多見地区会館⑤宇奈根氷川神社⑥鎌田南睦会会館前⑦鎌田天神社	喜多見まちづくりセンター ☎3417－3401 FAX5494－7015

まちづくりセンターから

	内容・日時・申込方法等
船橋	第27回船橋ふれあいまつり 日11月3日㈷午前10時～午後2時（雨天の際は内容変更）　場希望丘公園ほか▶　問船橋まちづくりセンター☎3482－0341FAX5490－7031
喜多見	1第37回喜多見地区区民まつり 日11月3日㈷午前9時30分～午後2時30分（雨天中止）　場喜多見中学校▶ 備駐車場はありません。車での来場はご遠慮下さい。 2秋の歩行会「ふれあいの森から泉の森へ」 対喜多見・鎌田・宇奈根在住の方　日11月23日㈷午前10時30分・小田急線大和駅集合～午後2時ごろ解散（約6キロ・雨天中止）　保険料／50円 備交通費は自己負担。 申2は電話で喜多見まちづくりセンター（☎3417－3401FAX5494－7015）へ　先着40人 問1喜多見まちづくりセンター ▶紅葉を楽しみながら歩きましょう

6　区のお知らせ「せたがや」（抜粋）

（平成 28 年 12 月 25 日号）

たまがわ 総合支所

認知症高齢者の家族の会

日1月20日㈮午後1時30分～3時30分　場玉川総合支所4階集会室
申12月26日から電話で保健福祉課（☎3702－1894 FAX5707－2661）へ　先着20人

玉川区民講座「一筆添える、心遣いを」（全2回）

日1月17・24日いずれも火曜午後1時30分～3時30分　場玉川総合支所4階集会室　講鈴木真衣子（手紙文化振興協会認定講師）　備保育可（要予約）。　担当＝地域振興課
申1月9日までに、電話またはファクシミリ（記入例参照）でせたがやコールへ　抽選30人

第29回上原せいとの晩

内容／もちつき、模擬店　日1月15日㈰正午～午後2時ごろ（模擬店は午後0時30分ごろから。品切れ次第終了）　場等々力3－32▶　問地域振興課☎3702－1603FAX3702－0942

上野毛まちづくりセンターから

1第44回上野毛地区新春マラソン大会出場者募集

対上野毛・野毛・中町に在住・在勤・在学で小学3年生以上の方　日1月15日㈰受付＝午前8時15分～8時30分、開会式＝午前9時から（荒天中止）　場玉川小学校

2さぎ草植え込み講習会

対上野毛・野毛・中町在住の方優先　日2月9日㈭午後2時～3時30分　場上野毛地区会館　参加費／700円
申1は1月11日までに、所定の申込書（上野毛まちづくりセンターにあり。小・中学生は保護者の署名と押印が必要）を持参で、2は12月26日～1月25日に電話で上野毛まちづくりセンター（☎3705－1361FAX5707－7028）へ　先着2 40人

九品仏まちづくりセンターから

1第29回新春もちつき大会

内容／もちの販売、もちつき体験、模擬店、バザー、遊びコーナーほか　日1月21日㈯午前11時～午後2時（雨天実施）　場浄真寺参道（奥沢7－34先）、九品仏広場、九品仏地区会館▶

2さぎ草植え込み講習会

対玉川田園調布・奥沢4～8丁目在住の方優先　日2月4日㈯午前10時～11時30分　場九品仏まちづくりセンター　参加費／800円　申2は12月26日～1月20日に、九品仏まちづくりセンター（☎3703－2341FAX5707－7026）へ　先着30人　問1九品仏まちづくりセンター

2R（ツーアール） NOW（ナウ） in（イン） 世田谷

内容／2R（リデュース・リユース）に取組む団体の紹介と、家庭で余った食品を集めて福祉団体等に寄附する活動（フードドライブ）　日1月14日㈯午後1時～3時30分　備集める食品の条件等詳しくは、お問い合わせ下さい。　場東京都市大学二子玉川夢キャンパス（玉川2－21二子玉川ライズ・オフィス8階）▶　問清掃・リサイクル部事業課☎5432－2929FAX5432－3058

都立園芸高校「バラ園緑のボランティア養成」受講者募集

対年間（29年4月～30年3月）を通じて毎週木曜午後に受講できる方
問都立園芸高校バラ園担当☎3705－2154FAX3705－1808

二子玉川公園「しぜんプログラム」

内容／生きものの観察や草花クラフトなど　日毎週水・土・日曜、祝日＝①午前11時から②午後2時30分から　※第2・4土曜は②のみ開催（いずれも40分程度）。　備未就学児は保護者同伴。　場・問二子玉川公園ビジターセンター▶☎3700－2735FAX6805－7591

第35回新春奥沢地区まつり

内容／もちつき、模擬店、吹奏楽演奏、大道芸ほか　日1月22日㈰午前9時～午後2時（雨天中止）　場東玉川小学校▶
問奥沢まちづくりセンター☎3720－3111FAX5499－7046

▶前回の様子

区民センターから

	内容・日時・申込方法等
奥沢	1初笑い「新春奥沢寄席（よせ）」 日1月8日㈰午後1時30分～3時30分　出演／杵柄（きねづか）会 2音楽のひととき「召し上がれ、音楽のフルコーラスを！」 日2月5日㈰午後1時30分～3時30分　出演／石塚瑞枝（ピアノ）、田中詩乃（ソプラノ）、板倉葉由子（チェロ） 申1 2とも12月26日午前9時から電話で奥沢区民センター（☎3720－1973 FAX3726－9485）へ　先着1 2各80人
玉川台	1新春玉川台落語　遊興亭福し満　新春独演会 演目／「時そば」「茶の湯」　日1月20日㈮午後1時30分～3時 2お正月あそべあそべまつり▶ 内容／お正月あそび、手作りコーナー、もちつき、豚汁販売ほか　日1月22日㈰午前11時～午後2時30分　備お椀（わん）とお箸を持参して下さい。 申1は午前9時から電話で玉川台区民センター（☎3709－4161FAX3708－9534）へ　先着1 60人　問2玉川台区民センター
深沢	名画鑑賞「キューポラのある街」～古き良き昭和へと誘（いざな）います 日1月25日㈬午後1時30分～3時30分　申午前9時から電話またはファクシミリ（記入例参照）で深沢区民センター（☎3705－4761FAX3705－2577）へ　先着50人

きぬた 総合支所

第3回殿山横穴墓群に関する活用検討会の傍聴

日1月24日㈫午後2時～3時30分　場喜多見7丁目常設会場（喜多見7－33－18）　申12月26日～1月20日に電話で道路計画課（☎5432－2548FAX5432－3067）へ　先着15人

健康づくり課から

1精神保健講座　穏やかなコミュニケーション～SSTから体験する

対精神障害やひきこもりの方を抱える家族等　日1月27日㈮午前10時～正午　講高森信子（SSTリーダー）

2子育て講演会「親子でイライラしないですむ方法」

対砧総合支所管内で1～4歳くらいのお子さんがいる方（初めての方優先）　日1月31日㈫午前10時～正午　講山下洋子（心理相談員）
備保育可（要予約、先着20人程度）。

3健康づくり講座「親子ではじめよう！歯と口の健康づくり」

日2月7日㈫午前10時～正午
講桐原仁子（歯科医師）　備保育可（要予約、1歳以上、先着10人程度）。
場いずれも砧総合支所
申いずれも12月26日から電話で健康づくり課（1☎3483－3166 2 3☎3483－3161いずれもFAX3483－3167）へ　先着1 40人2 30人3 50人

苔玉（こけだま）づくり講習会

対喜多見・宇奈根・鎌田在住の方
日1月24日㈫午後2時～3時30分
場喜多見東地区会館　受講料／300円　講フラワーランド友の会
申12月26日～1月10日に電話で喜多見まちづくりセンター（☎3417－3401 FAX5494－7015）へ　先着30人

▶手軽に苔玉が作れます

きぬたぬきおはなし会▶

対3歳以上の幼児　日1月15日㈰午後3時～3時30分　場・問砧図書館☎3482－2271FAX3482－4603

ちいさないのちを守るいつもの暮らしの中の防災講座

対乳幼児・小学生の保護者または関心のある方（子ども同伴可）
日1月21日㈯午前10時～午後0時30分　場山野児童館
講あんどうりす（アウトドア流防災ガイド）　申午前10時から電話または直接山野児童館（☎3417－8217FAX3417－9793）へ　先着35組

第5回ぴょんぴょんクラブ（未就園児遊びの会）▶

日1月30日㈪午前9時40分～11時（雨天中止）　備自転車での来園はご遠慮下さい。　場・問塚戸幼稚園☎・FAX3309－5575

認知症高齢者の家族の会

対認知症の方を介護している家族
日1月10日㈫午後1時30分～3時30分　場成城ホール　申12月26日から電話で保健福祉課（☎3482－8193FAX3482－1796）へ　先着30人

鎌田区民センター料理講座～手軽にできる家庭料理

日1月12・19日いずれも木曜午前10時～午後1時　材料費／各回1500円　場鎌田区民センター
講堀江ひろ子（料理研究家）
申午前9時～午後5時に電話で鎌田区民センター（☎3709－4311FAX3709－4322）へ　各回先着15人（両日参加可）

▶家庭料理のプロからテクニックを学びましょう

砧区民講座「『砧』を学ぶ～地域の歴史と能楽へのトビラ」

内容／①わがまち「砧」の始まりから今日②「砧」で能楽入門
対両日参加できる方　日①2月8日②2月15日いずれも水曜午前10時～11時30分　場成城ホール
講①田中宣一（成城大学名誉教授）②梅若長左衛門（能楽師）　担当＝地域振興課生涯学習・施設担当
申1月19日までに、電話またはファクシミリ（記入例参照）でせたがやコールへ　抽選50人

高齢者と介護者のための料理講習会～健康寿命を延ばそう

対高齢者及び介護者　日2月14日、3月14日いずれも火曜午前10時～午後2時　場食事サービスサポートセンターだんらん（鎌田3－13－1）　受講料／各回1500円
講中谷敏美（料理研究家）
申1月31日までに、往復ハガキ（記入例参照。希望日も明記）で食事サービス活動推進の会（〒157－0077鎌田3－13－1）へ　抽選各回15人　問高齢福祉課☎5432－2407FAX5432－3085

成城ホールから

1桂春蝶独演会「約束の海～エルトゥールル号物語」

日1月13日㈮午後7時から
料金／前売3000円（全席指定）

2立川談笑「落語外伝」第1回お題　文七元結

日1月24日㈫午後7時から
料金／前売3500円（全席指定）
備いずれも抽選で各5組10名様ご招待。招待希望の方は1月4日（必着）までに往復ハガキまたはファクシミリ（記入例参照）で成城ホール事務室（〒157－8501成城6－2－1☎3482－1313FAX3482－7832）へ。

7　活用アイディア募集の周知

殿山横穴墓群に関する活用検討会

「活用アイディア」をお寄せ下さい

昨年度、東京外かく環状道路の（仮称）東名ジャンクション予定地で発見された殿山横穴墓群について、地域の教育的・文化的資源としての活用の方向性を検討するために、有識者、区民、世田谷区、外環事業者による検討会を 7 月から開催しています。

第 1 回の検討会では、横穴墓群について、現地での保存や移設、現地の土を再利用しての復元は困難であるということを確認し、これらを次世代に引き継ぐため、より身近に感じることができる方法、望ましい方向性をとりまとめていくことになりました。

今後、活用の方向性を議論するにあたり、皆様から ***活用アイディア*** を募集します。

【参考例】第 1 回の活用検討会で出された主な活用アイディア

- 世田谷の国分寺崖線だけで 144 基出ていることから、歴史的な部分も比較対照した解説が地元にあると良い。
- 小学校 4 年生くらいの地域を知る教育の時間で、横穴墓群を子どもに分かりやすいように解説するといったソフト面での活用もある。
- 副葬品を集約し、比較して、説明される博物館などのような場所があると良い。

出土品の例
（須恵器）

復元可能とするための
3 次元データの取得状況

【活用アイディアの募集について】

《応募内容》殿山横穴墓群（副葬品を含む）の教育的・文化的資源としての活用アイディア
《応募期限》平成 28 年 10 月 7 日（金）必着
《応募方法》住所・氏名・連絡先を記入して下記の応募先まで、郵送、ファクシミリまたは持参により応募してください。（書式は自由です。）

※ 応募いただいたアイディアは、第 2 回の検討会において「活用の方向性」を議論するための参考資料とさせていただき、それ以外には使用いたしません。

【お問い合わせ・アイディアの応募先】

〒154－8504　世田谷区世田谷4－21－27　城山分庁舎3階
世田谷区役所　道路・交通政策部 道路計画課（担当：塩井、渡邉）
TEL：03-5432-2548　FAX：03-5432-3067

◎ 第 1 回の検討会の資料・議事概要は世田谷区のホームページに掲載しています。

トップページ＞住まい・街づくり・交通＞道路・土地・水道＞みちづくり（道路計画）＞東京外かく環状道路

参考書式（下記に記入してご提出いただいても構いません。）

住　　所	
氏　　名	
連　絡　先	

活用アイディア（簡潔にご記入ください。）

８　検討会等の様子（写真）

《検討会の様子》

《委員による事業地内の視察の様子》

《とりまとめの手交式の様子①》

《とりまとめの手交式の様子②》